

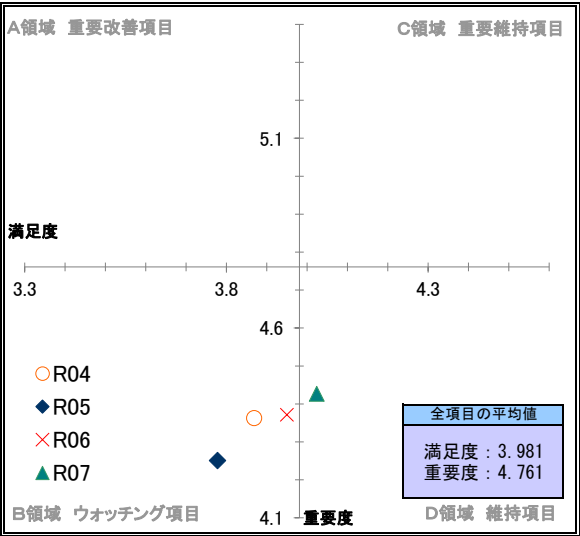
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月3日
課名	おおたPR戦略課
所属長氏名	鹿目 隆史

総合計画 基本構想	施策分野	関係人口
	施策方針	太田市の認知度・ブランド力の向上

設問	問22	市民参加によるまちづくりについて				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4カ年推移
	満足度	3.869	3.778	3.950	4.024	↓↑↑
	重要度	4.363	4.251	4.372	4.427	↓↑↑
市民認識		D領域		維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。

(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

シティプロモーションとして、ガイドブックやふるさと納税、SNSなどの媒体を複層的に活用した発信を行うとともに、昨年度は太田市20周年記念事業として、第九コンサートや実行委員会による各種事業などを実施し、関係人口の獲得に努めた。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。

(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

満足度及び重要度ともに前年から上昇し、引き続き維持項目となっている。自由意見では、新市長の活躍や市の変化を期待する意見等がみられることから、市の取り組みやあらたな魅力を幅広く周知できるよう情報発信を強化する必要がある。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

ウェブリリース配信を積極的に活用し本市の魅力を情報発信しているが、イベント周知やお知らせだけでなく、市の特徴的な政策についても配信を行った。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

新たな市政への期待や現状の課題など多くの意見が寄せられていることから、市の取り組みやあらたな魅力を幅広く情報発信できるよう、ウェブリリース配信や動画、SNSなども活用し情報発信力の強化を進めていきたい。

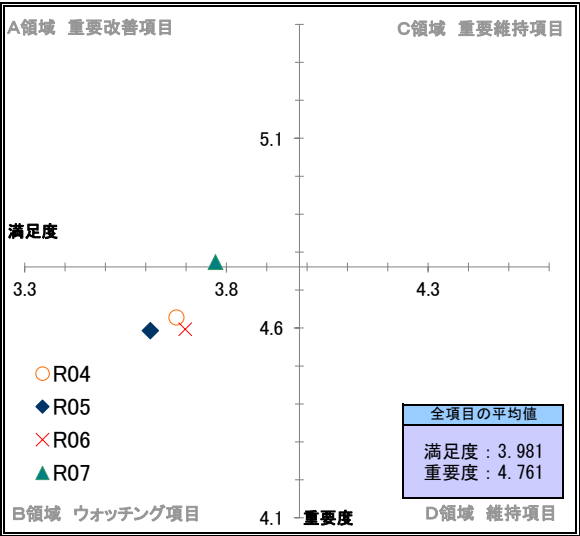
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月30日
課名	行革推進課
所属長氏名	鎬木 堅介

総合計画 基本構想	施策分野	行政経営
	施策方針	組織・機構の最適化

設問	問24	効率的な行政運営について				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4カ年推移
	満足度	3.676	3.611	3.698	3.773	↓↑↑
	重要度	4.628	4.593	4.597	4.774	↓↑↑
市民認識		A領域		重要改善項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。

(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

市民ニーズを的確に捉え、効率的な行政サービスが提供できる組織、限られた人材を最大限活用できる組織の構築を目指した。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。

(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

市民の求める効率的な行政運営と質の高いサービスについて、今後も引き続き多様化する市民ニーズに的確に応えられるよう、既存組織の見直しまたは行政課題に柔軟に対応できる組織の構築を図っていく。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

市民ニーズに的確に応えられる柔軟な組織、行政サービスのさらなる向上を図るため「市民課」については、戸籍のカナ表記への対応などを所掌する「戸籍係」の新設、窓口証明発行、住民記録の各業務を再編するため「管理証明係」と「住民記録係」に名称を変更した。「市街地整備課」については、東矢島土地区画整理事業終了に向けた事務を進めるため「清算係」を新設するなどの対応を図った。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

今年度は、満足度・重要度ともに増加しているため、今後も小さな改善の積み重ねが、満足度・重要度ともに実績として現れるよう、引き続き効率的な行政サービスが提供できる組織の構築を検討していきたい。

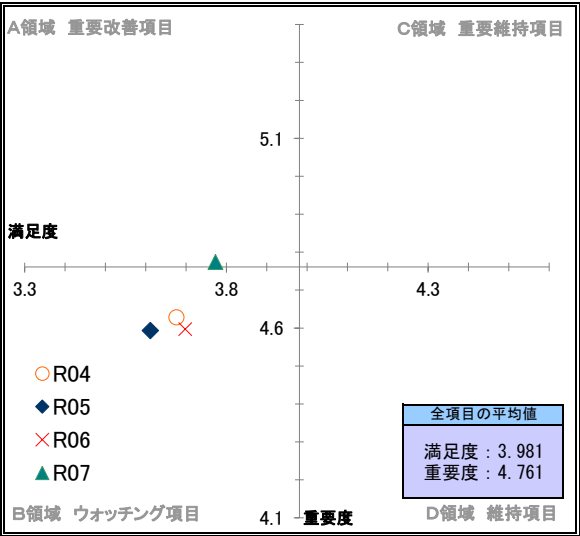
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月10日
課名	人事課
所属長氏名	清水 俊明

総合計画 基本構想	施策分野	行政経営
	施策方針	組織・機構の最適化

設問	問24	効率的な行財政運営について				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	3.676	3.611	3.698	3.773	↓↑↑↑
	重要度	4.628	4.593	4.597	4.774	↓↑↑↑
市民認識		A領域		重要改善項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。

(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

人材育成基本方針に掲げる「市民の目線で、自ら考え行動し、組織力の向上を目指す職員」を理想像として、各種職員研修や人事評価制度の運用等を行い、職員一人ひとりの能力を最大限に引き出し、誇りややりがいを持って働ける組織づくりに努めています。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。

(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

満足度の順位は昨年度から変化はありませんが、平均値は増加しました。重要度については昨年度より平均値が増加し、順位は2位上昇しました。市民認識が重要改善項目になったことから、市民がより強く、健全な行財政運営を求めていることがわかります。職員の対応については、感謝や激励など温かい言葉をいただく一方、態度や対応に対する厳しい意見もいただいております。様々な状況でお越しになる市民の立場に立ち、その気持ちに寄り添い、真摯に向き合う職員が求められていると考えます。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

市民力、職員力、組織力の向上を目指し、まず若手職員の基礎力の向上を図ります。新規採用職員に対しては、公務員として必要な基礎知識にとどまらず、コミュニケーション能力や接遇力、協調性、説明力等を養う研修を実施しています。また、入職6年目の職員を対象にCS向上研修を行い、相手に伝わる話し方や気持ちを汲み取る聴き方の習得を行いました。主事級職員、課長級職員、参事に対し、人事評価研修を実施し、人材育成の促進と組織としての成果の創出につなげました。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

どの業務においても、それを行う職員の資質向上が重要であると考えます。「法制執務研修」で公務の基本となる法制の理解を深め、市民へ説明責任を果たす能力を涵養し、「クレーム対応研修」や「CS向上研修」で対人対応力を身につけます。また、新規採用職員の職場体験研修では、様々な経験を通して、市民の目線で業務を行う大切さを学ぶとともに、コミュニケーション能力の向上を図ります。併せて、適正な人事配置を行うとともに、公務員として適格性の高い人材を確保できるような採用試験の方法を研究してまいります。

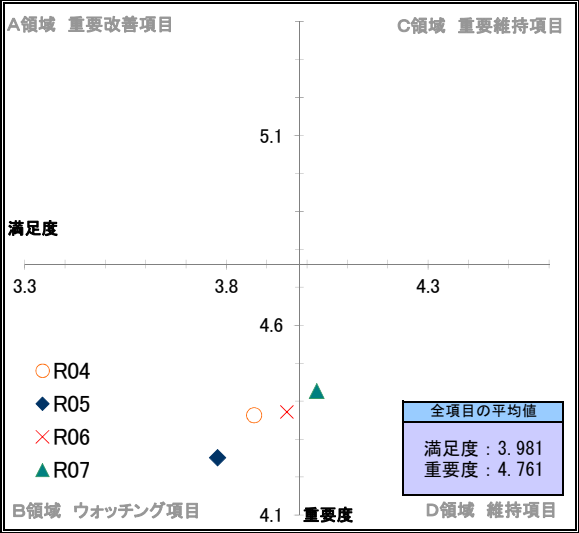
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月2日
課名	国際課
所属長氏名	澁澤 浩之

総合計画 基本構想	施策分野	関係人口
	施策方針	国内外交流の推進

設 問	問22	市民参加によるまちづくりについて				
設 問 結 果		R04	R05	R06	R07	4カ年推移
	満足度	3.869	3.778	3.950	4.024	↓ ↑ ↑
	重要度	4.363	4.251	4.372	4.427	↓ ↑ ↑
市民認識		D領域		維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。
(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

- 多言語による行政情報の発信
・広報紙ダイジェスト版：ポルトガル語・スペイン語・中国語・英語・ベトナム語・やさしい日本語版を毎月1回発行。
・各課における外国人市民への案内文や配布物等の翻訳。
- 外国人市民相談相談窓口ワンストップセンターの開設
・ポルトガル語・スペイン語・中国語・英語・ベトナム語の相談員を配置。
・その他言語は、音声翻訳機器やタブレット端末を用いたオンライン三者間通訳等に対応。
- 市民ボランティア団体「あゆみの会」による日本語教室の開講（実績）令和6年度 25ヶ国 546名受講
- 国際姉妹都市交換学生受入派遣事業
・ホストファミリーや通訳等について、市民ボランティアの協力を得て推進。
- 多文化共生センターおおたを開設（令和6年12月）

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。
(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

外国人と日本人の比較から、外国人市民の方が満足度・重要度ともに高い傾向にあることが認識できた。
太田市人口の内訳を見ると日本人市民が減少し外国人市民が増加しており、アンケート結果から重要度が上昇していることから、日本人市民と外国人市民が相互理解を高められるような事業を検討し、地域における多文化共生の更なる推進によるまちづくりが必要と考える。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

多文化共生の推進をより一層図るため、多文化共生センターおおたを開設、ボランティア団体が主催する日本語教室や多文化共生に資する団体の活動場所として活用されている。また、開設に合わせて新規事業「外国にルーツを持つ児童生徒放課後学習支援事業」をスタートするなどの取り組みを行った。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

満足度・重要度ともに上昇していることから、引き続き広報おおたダイジェスト版や国際交流協会ホームページ・Facebookを活用した情報発信を行うとともに、外国人市民相談窓口ワンストップセンターにおいては相談者への丁寧な対応に努めます。また、自由意見にも記載されていた「生活におけるルール」「文化の違いの周知」に関しての周知が不足している場面もあることが見受けられることから、関係課の多言語対応を支援し、より一層多文化共生の推進に努めます。

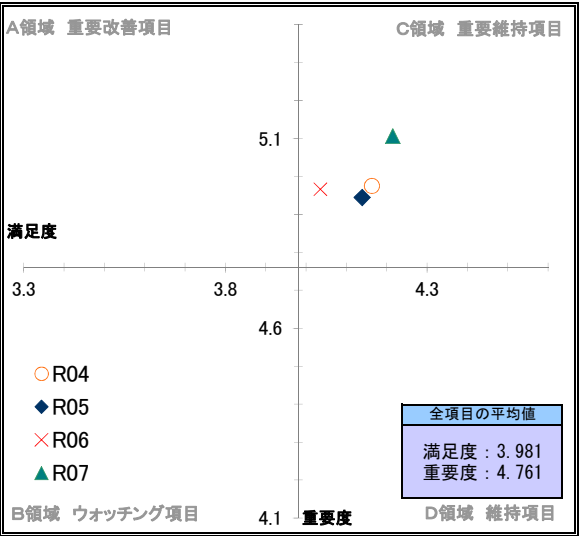
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月2日
課名	情報管理課①
所属長氏名	高澤 英二郎

総合計画 基本構想	施策分野	I T教育
	施策方針	I T人材育成

設 問	問17	児童生徒の育成について				
設 問 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	4.163	4.139	4.036	4.215	↓↓↑
	重要度	4.975	4.945	4.966	5.106	↓↑↑
市民認識		C領域		重要維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。

(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

プログラミングを通じて将来あらゆる課題に対して適用できるようなIT人材の育成を目的に「おおたプログラミング学校」を運営している。本事業は太田市の特色ある施策として、令和4年6月に開校した。
小学校3～6年生を対象に、3年にわたってプログラミングの基礎から、本格的なテキストプログラミングまでを学び、最終的にはオリジナル作品を大会等に出品し、入賞までを目指す。
令和4年度にⅠ課程を、令和5年度にⅡ課程を、令和6年度にⅢ課程を順次開校、令和7年度は一部カリキュラムを見直し、定員拡大を図った。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。

(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

重要度が高い位置で推移していることから、カリキュラムの充実や受講機会の拡大などにより、満足度の向上を図る必要がある。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

Ⅰ・Ⅱ課程の定員拡大と、夏休み中のスポット講座「出張tsukurun」を綿打行政センターと休泊行政センターで実施した。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

子供たちや保護者からの意見を参考に、より有効なカリキュラムの構築や目標設定などについての改善を図りながら、充実した学びの場を提供していきたい。

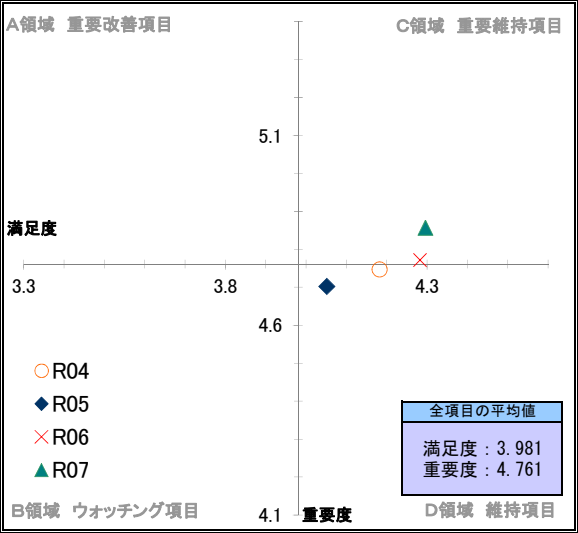
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月2日
課名	情報管理課②
所属長氏名	高澤 英二郎

総合計画 基本構想	施策分野	行政経営
	施策方針	情報化の推進

設 問		証明・届出業務のサービス向上について				
設 問 結 果		R04	R05	R06	R07	4カ年推移
	満足度	4.182	4.052	4.282	4.296	↓ ↑ ↑
	重要度	4.747	4.702	4.772	4.857	↓ ↑ ↑
市民認識		C領域		重要維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。

（本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。）

令和4年8月から全国のコンビニエンスストア等でマイナンバーカードを利用して5種類の証明書を発行するサービスを開始している。手数料は窓口と同額。
市役所の混雑緩和につながるサービスとして、また市役所が閉庁している時間帯でも各種証明書が取得できるサービスとして、システムの安定稼働に努めて継続していきたい。
発行可証明書：①住民票の写し、②印鑑登録証明書、③所得・課税証明書、④戸籍の附票の写し、⑤戸籍全部（個人）事項証明書
令和6年度実績：①20,492、②13,979、③1,542、④329、⑤3,449 計39,791枚

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。

（満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。）

マイナンバーカードを所有しているが、市役所での証明発行に来庁するケースが多いことから、継続した周知・啓発が必要と言える。
現在交付できる証明書が限られている。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

広報おおた・LINEの配信による周知を図ると共に、外国人住民向けに、証明書申請システムの多言語化（英語、中国語、韓国語など）を実施しました。
また、本庁舎内や各地区振興課において、コンビニ交付PR動画の放映を実施しました。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

引き続き広報や市ホームページ、各行政施設などでの周知を行い、他証明書の交付に関して他自治体の動向を注視していきたい。
また、窓口混雑緩和という観点から、コンビニ交付対応行政キオスク端末の本庁舎内への導入も検討していきたい。

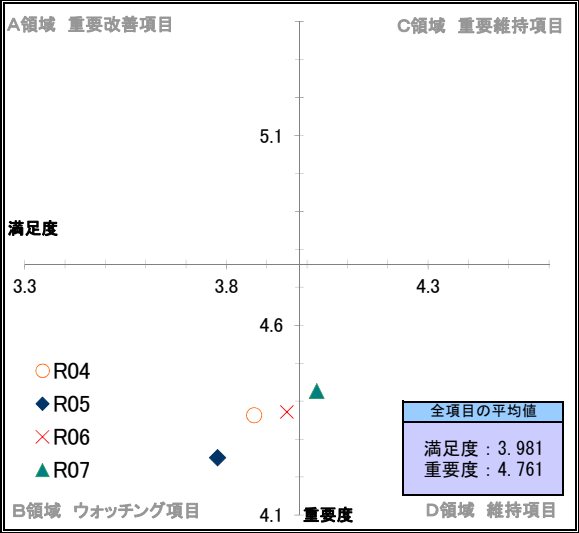
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月2日
課名	情報管理課③
所属長氏名	高澤 英二郎

総合計画 基本構想	施策分野	行政経営
	施策方針	情報化の推進

設問	問22	市民参加によるまちづくりについて				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4カ年推移
	満足度	3.869	3.778	3.950	4.024	↓↑↑
	重要度	4.363	4.251	4.372	4.427	↓↑↑
市民認識		D領域		維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。

(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

市民の普及率が高いLINEを活用し、市公式LINEの機能強化を行っている。
友だち登録者数は県内12市で1位である。(52,310 令和7年7月末現在)
下記のようなLINEを使った様々な機能を取り入れ、市民への効果的な情報提供に務めている。
・災害時の特別メニュー設定
・必要な人に必要な情報を提供するプッシュ型配信やセグメント配信機能
・各種けんしんの予約機能
・道路損傷報告の機能
・保育園施設入園の予約機能
・スタンプラリー など

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。

(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

LINEの掲載メニューから必要な情報へたどり着きづらいとの意見がある。一方コンテンツの情報配信媒体については、必ずしもLINEが有効というわけではないため、発信する内容を見定めて対応していく必要がある。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

令和4年10月に市公式LINEの全面リニューアルを行い、その後市民ニーズに併せて道路損傷通報や各種予約等様々な機能を追加してきた。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

LINEの各種機能を利用してもらうためには、市公式LINEの友だち登録者数を増やす必要があるため、LINE主管課である広報課と連携して友だち登録者数が増えるよう周知を図りたい。併せて利用しやすいメニューづくりを研究していきたい。

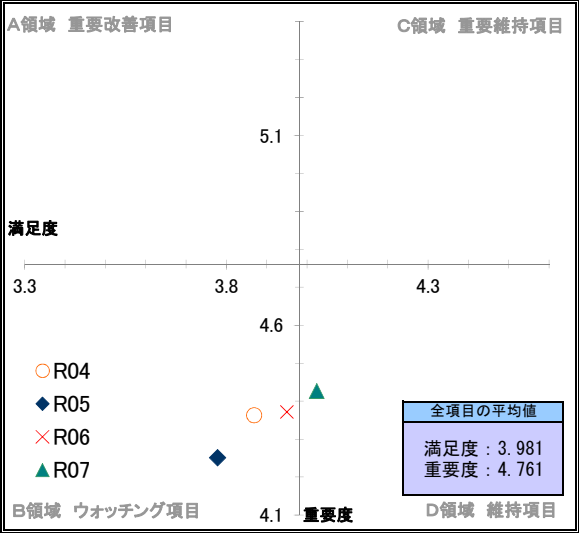
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月25日
課名	広報課
所属長氏名	星野 悦子

総合計画 基本構想	施策分野	広報・広聴
	施策方針	広報活動の充実

設問	問22	市民参加によるまちづくりについて				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	3.869	3.778	3.950	4.024	↓↑↑
	重要度	4.363	4.251	4.372	4.427	↓↑↑
市民認識		D領域		維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。
(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

- 市長エッセイを中心に、太田市の20年間の歩みや取組みを紹介した広報おおた特別冊子「太田市20周年記念事業 こんにちは市長です」を発行した。
- 複層的な情報発信の実施
一人でも多くの市民に情報を届けるため、広報おおた、市公式ホームページ、市公式LINE、市公式X、プレスリリースでの報道機関への積極的な情報提供など、複層的に情報発信媒体を活用して市政情報の発信を行った。
- 広報おおたの掲載記事について、若年層向けの情報は二次元コード（QRコード）により詳細を市公式ホームページへ誘導、高齢者向けの情報は紙面上で内容を詳細に掲載するなどの工夫を行った。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。
(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

- 昨年度と比較して全体の満足度・重要度共に向上した。今年は10代の満足度及び70代の満足度・重要度が微減したが、その他の年代においては満足度・重要度ともに向上した。市政情報を広報おおた（紙媒体）、市公式ホームページ、市公式LINEや市公式X（SNS媒体）、群馬テレビdボタン、プレスリリースでの報道機関への情報提供（新聞等への掲載）など、全世代が市政情報に触れられるように複層的に発信したことによるものであると考える。今後も継続していきたい。
- 外国人のアンケート結果では、満足度が低下し、重要度は微増した。外国人に市政情報を届けるため、「広報おおた」令和6年11月1日号よりPDFファイルから10言語の翻訳ページを自動生成するツール「カタログポケット」を導入した。今後も周知活動を継続していきたい。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

- 広く市民に市政情報を発信するために、市公式LINEの利便性を向上させてお友達登録者数を増やす取組みを実施した。結果として令和6年度は約7千人お友達登録者を増やすことができた。（令和6年度末の登録者数50,667件）
- 情報発信サポート（伴走事業）を実施
情報発信力を向上させることで市民サービスの向上が期待できる主要事業等（6事業）について、事業担当課と連携し、年間を通じて継続的・複層的に情報発信を支援した。
- 定例記者会見案件提出の強化
報道による市政情報発信強化のため、市の主要事業や太田市20周年記念事業、市主催事業など担当課に積極的に提出するよう促し、前年度比約2.5倍の59件提出した。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

- 市公式ホームページについては、各種情報発信媒体と連携を図っていることから、引き続き新鮮かつ正確で分かりやすい情報発信を行っていく。
- 広報おおたの購読率が上昇したことから、紙媒体での発行に加え、電子版（市公式ホームページ・市公式LINE、市公式X）での配信を継続する。
- 広く市民に市政情報を発信するために、市公式LINEのお友達登録者数を増やす取組みを継続する。
- 市政情報を分かりやすく伝える動画配信の強化を行う。

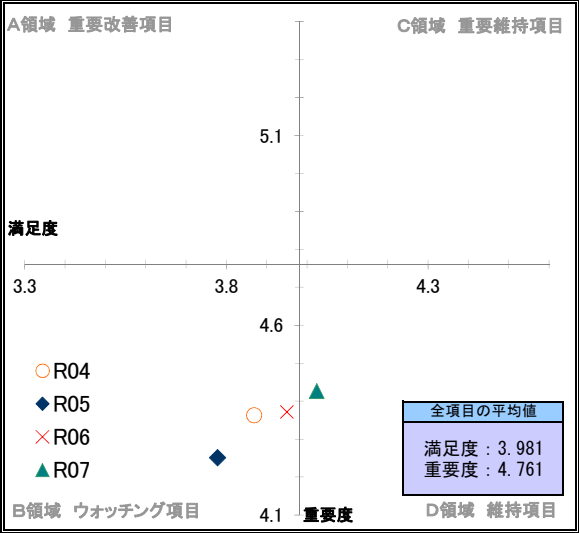
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月3日
課名	総務課
所属長氏名	久保田 康弘

総合計画 基本構想	施策分野	行政経営
	施策方針	-

設問	問22	市民参加によるまちづくりについて				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4カ年推移
	満足度	3.869	3.778	3.950	4.024	↓↑↑
	重要度	4.363	4.251	4.372	4.427	↓↑↑
市民認識		D領域		維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。

(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

・公文書の迅速な検索等に資するため、太田市情報公開条例（平成17年太田市条例第9号）第17条の規定に基づき、各所属の公文書目録（ファイル基準表）を本庁舎1階の総合案内に備え置いている。
・「太田市長が保有する情報の提供に関する要綱」（平成22年4月1日施行）により、公表した行政資料等に記載されている情報や法令、条例、規則、規程、要綱等に基づき公表した情報等については、太田市情報公開条例の規定に基づく開示請求によることなく、情報提供することができる。
・教育委員会においても「太田市教育委員会が保有する情報の提供に関する要綱」を制定（平成23年8月1日施行）。
・「広報おおた（8月1日号）」において、前年度の「開示請求などの状況報告」を掲載している。
・「太田市ホームページ」において、情報公開制度の概要や手続きを説明するとともに、「開示請求等の状況」を掲載している。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。

(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

・開示請求件数について、近年増加傾向にあり2,000件以上であったが、令和5年度以降は大幅に減少し、500件程度となっている。これは主に契約検査課発注の造園関連業務委託の金入り設計書をホームページに掲載したことにより開示請求手続きにやらない行政情報の積極的な情報提供に寄与することが要因と考えられる。情報公開制度自体は適切に運用されていると考えるが、今後も市民等への制度周知を継続していく必要がある。
・各課においても、情報公開制度に関するより一層の理解が求められるとともに、開示請求への迅速かつ適切な対応と、市民が必要とする情報の積極的な公開・発信が課題である。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

・公文書の開示請求について、ホームページからの申し込みができるようにした。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

・引き続き「太田市ホームページ」で情報公開制度の概要や手続き、開示請求状況等を周知・説明するとともに、掲載内容についても、より分かりやすくなるよう検討したい。
・各課で所管する情報について、今後も積極的な情報公開（発信）を行うよう様々な面からサポートするとともに、必要に応じ、本制度の趣旨の再徹底を図りたい。

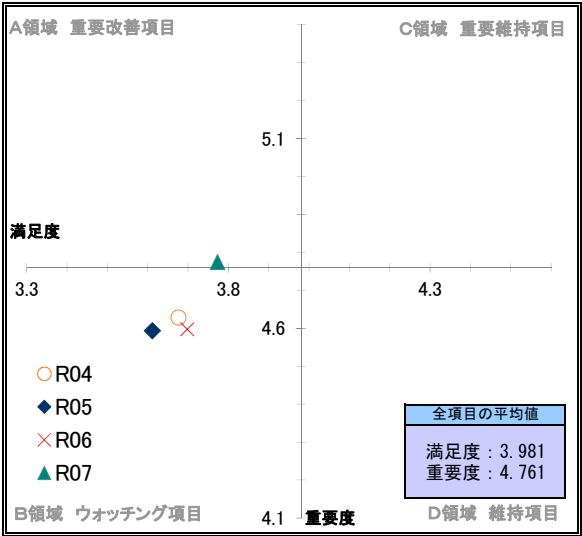
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月16日
課名	財政課
所属長氏名	青木真彦

総合計画 基本構想	施策分野	行政経営
	施策方針	持続可能な財政運営

設問	問24	効率的な行政運営について				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	3.676	3.611	3.698	3.773	↓↑↑
	重要度	4.628	4.593	4.597	4.774	↓↑↑
市民認識		A領域		重要改善項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。
(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

- ・ 枠配分予算の導入により経常経費の抑制を図っている。
- ・ 新年度予算の概要、特徴などをわかりやすくまとめた「予算のあらまし」を作成し、地区懇談会で一般市民への新年度予算の説明に用いているほか、学校を通して市内中学生への配布を行っている。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。
(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

- ・ 市債現在高の推移や財政健全化判断比率等からも分かるとおり、健全財政を堅持しつつ重要改善項目を中心に積極的な投資を図っている。市民の重要度は高まっているが、市民に対する周知がまだ不足しているため、当該設問自体の満足度向上にはつながっていないものと思われる。広報やホームページを通して、市民がより理解しやすい情報提供を行う必要がある。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

- ・ 広報やホームページでの積極的な情報提供を行った。
- ・ 経常経費の積極的な削減や事業見直しを行うとともに、満足度の低い道路網の整備に関する予算を拡充した。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

- ・ 今後も引き続き、広報やホームページ、予算のあらましなどを活用し、市民にとって身近でわかりやすい予算となるよう、積極的な情報発信の改善に努めていく。

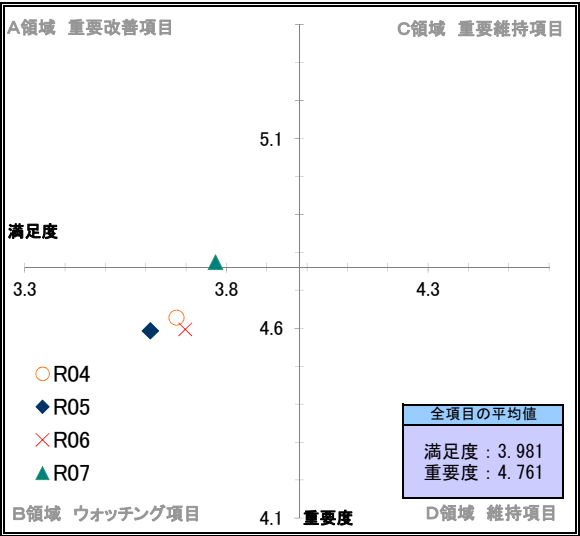
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月4日
課名	管財課
所属長氏名	櫻木 修

総合計画 基本構想	施策分野	行政経営
	施策方針	市有財産の管理と利活用

設 問	問24	効率的な行財政運営について				
設 問 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	3.676	3.611	3.698	3.773	↓ ↑ ↑
	重要度	4.628	4.593	4.597	4.774	↓ ↑ ↑
市民認識		A領域		重要改善項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。

(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

- ・事務の効率化、経費の節減を目的として、本庁舎ほか市内公共施設の電力調達及びエレベーター・自動ドアの保守点検をメーカーごとに管財課で一括契約をしている。
- ・用途廃止された公共施設跡地等について、速やかに売却又は貸付けを行い、未利用地の削減及び財源確保に努めている。
- ・脱炭素社会に向けた取り組みの一環として、本庁舎事務室等の照明2,300台をLEDに更新し、高騰する電気料を削減したほか、各行政センターへ電気自動車を導入し、公用車の省エネと防災拠点としての機能向上を図った。
- ・循環型社会の実現、環境教育の充実、新たな雇用機会の創出等を目指し、セイコーエプソン社「新型PaperLab」によるコピー用紙の再資源化事業に取り組んでいる。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。

(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

- ・ウォッチング項目から重要改善項目となったことから、財産処分による税外収入の確保についてより積極的に取り組まなければならないと認識した。
- ・市役所の窓口混雑に関する改善要求が自由意見として多数挙げられているほか、待ち時間における託児スペースの設置やサービス充実といった庁舎に関連する意見も寄せられていることから、庁舎1階の混雑解消については、喫緊の課題として全庁的に取り組む必要性を認識し、管財課として出来ることについても検討していきたい。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

- ・庁舎設備の保全については、引き続き保全計画に基づき適切に更新を行ったほか、南庁舎の福祉拠点化に向けた改修工事を実施し、長寿命化を図った。
- ・庁舎1階にデジタルサイネージを導入したことで、庁舎案内に係るお客様の利便性向上のほか、設置使用料による収入増が期待される。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

- ・未利用地の処分については、引き続き積極的な売却手続きを進めるとともに、売却できずにいる未利用地が増加傾向であることから、市HPや広報のほか新たな周知方法を検討し、より広く財産処分に向けた取り組みを周知していきたい。
- ・庁舎1階の混雑解消については、他部局とも連携して課題解決に向けた取り組みを模索していきたい。

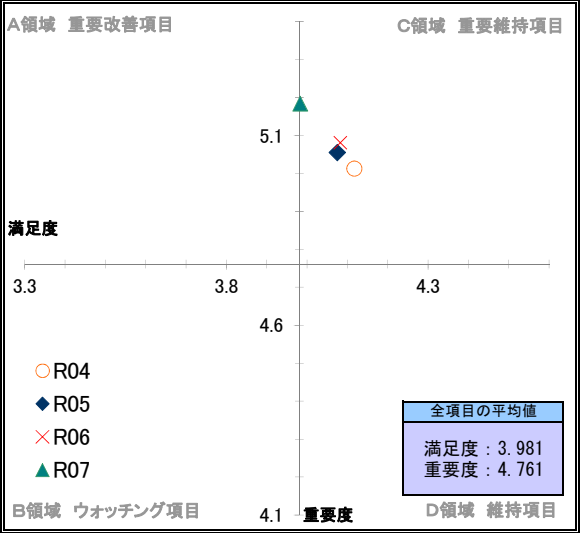
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月8日
課名	危機管理室
所属長氏名	渋澤 直美

総合計画 基本構想	施策分野	防災 防犯体制
	施策方針	災害に強い体制づくりの推進 防犯設備の整備と維持管理

設問	問1	安全・安心なまちづくりについて				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	4.118	4.075	4.082	3.983	↓↑↑
	重要度	5.013	5.055	5.081	5.184	↑↑↑
市民認識		C領域		重要維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。

(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

- 【防災】・総合防災訓練にて、本市初のペット避難訓練を実施し、災害時応援協定先との連携確認を行うとともに、参加市民のペット避難に関する意識向上に寄与できた。
- ・市民の防災意識啓発を目的とし、マイ・タイムライン作成講習会や地区での防災講習会などに講師として参加した。また、広報おおた(防災特集号)の発行や太田市HP、LINEなどで様々な防災の情報発信に努めている。
- ・避難所機能の強化を目的とし、中学校体育館や行政センター等での避難所開設運営訓練を実施した。
- ・庁内の防災力向上を目的とし、災害警戒本部訓練及び災害対策本部訓練を実施した。
- 【防犯】・各地区の防犯委員が、下校時に合わせて子ども見守り防犯パトロールを行っている。
- ・わんわんパトロール隊員制度があり、隊員が愛犬の散歩時に子どもたちの見守り活動を実施している。
- ・太田警察署と連携しておた安全・安心メールを活用した犯罪情報の周知及び防犯啓発を行っている。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。

(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

- ・満足度が下向きに転じ、重要度が上昇していることについては、自然災害による各地での被害や犯罪集団による凶悪な犯行などを受けて、市民の防災及び防犯への関心が高まりつつあることの表れであると考えられる。
- 【防災】・防災は引き続きC領域に位置し、市民から高い関心が寄せられる項目であり、特に令和元年東日本台風を契機に、近年では全国的にも集中豪雨などによる被害も多発していることから、風水害に対する質問や意見が多く寄せられていると感じている。
- ・「自らの命は自らが守る」という意識のもと、市民・地域・市が一体となって、「自助・共助・公助」の意識を高め、それぞれが主体的に防災・減災対策に取り組むことが重要となる。
- 【防犯】・「防犯灯(街灯表現も含む)」が「少ない」や「詐欺や泥棒が心配」などの意見が寄せられており、全国的に刑法犯認知件数が増加傾向にある中で、本市においても犯罪被害に対する関心が高まってきていることを認識した。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

- 【防災】・自助意識向上に向けた取り組みの一環として「マイ・タイムライン作成講習会」を未実施の地区に対し実施した。また、土砂災害からの避難を考える住民懇談会を実施し、該当地区住民の自主避難計画を作成した。
- 【防犯】・防犯灯については、令和6年度に不審者対策事業として、地区から情報提供を受けた危険箇所へ139灯の増設を実施した。また、開発事業に伴う寄附が8灯あり、合計で147灯の大幅な増加となった。
- ・増加傾向にある住宅侵入窃盗への対策として、令和7年度から家庭用防犯カメラ購入助成事業を開始し、各家庭での防犯力の向上を後押ししている。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

- 【防災】・職員の防災力向上のために、今後も引き続き訓練・研修等を実施していく。
- ・マイ・タイムライン作成講習会を通して地域住民の方への自助啓発を図っているところではあるが、今後は自主防災組織を様々なアプローチにより育成していきたいと考えている。また、防災マップや群馬県のデジタル避難訓練なども活用し、引き続き市民への周知、啓発を図っていく。
- 【防犯】・防犯委員会を中心とした地域における防犯活動の支援やおた安全・安心メールなどを活用した啓発活動など、犯罪の未然防止につながる取り組みを引き続き行っていく。
- ・防犯カメラについては、犯罪抑止に効果的な場所への整備を行うとともに耐用年数を経過したカメラの更新についても警察と協議を行いながら計画的に進めていく。防犯灯については、今後も地区の協力を得ながら既存防犯灯の移設を基本とした整備により住環境の変化に対応していく。

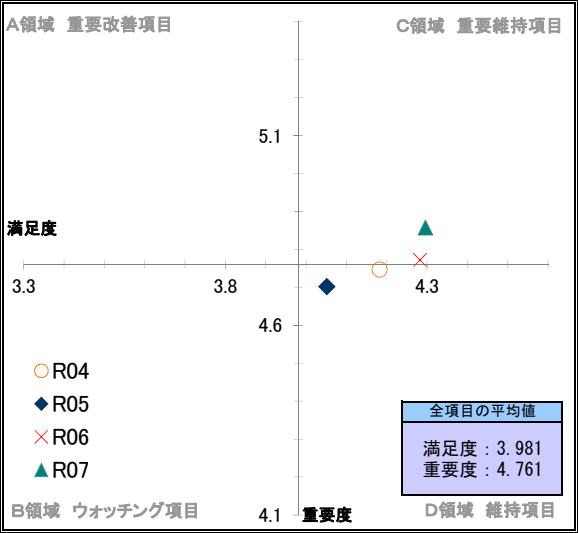
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月24日
課名	市民税課
所属長氏名	小島 孝行

総合計画 基本構想	施策分野	行政経営
	施策方針	-

設 問		証明・届出業務のサービス向上について				
設 結 問 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	4.182	4.052	4.282	4.296	↓↑↑
	重要度	4.747	4.702	4.772	4.857	↓↑↑
市民認識		C領域		重要維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。
(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

- ・毎年4月上旬、転入者に対し、窓口業務研修を実施している。
研修後も経験を積んだ職員をサポート役として1名配置し、常時2名での窓口対応としている。
手引きも常時窓口を設置しており、不明点が生じた際、すぐに確認できる環境も整えている。
- ・証明書発行業務では郵送申請にも応じており、現在の郵便事情を考慮し、速やかに対応し処理している。
- ・税関連部署（市民税課、資産税課、収納課）と連携を取り、税3課として証明発行についての擦り合わせを行った。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。
(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

- ・令和5年度以降、重要度のポイント数が年々増加しているため、サービス向上が求められている。
- ・利便性を考え、コンビニ交付の周知も引き続き必要である。
- ・市民から重要度が高いことを改めて職員が意識し、対応していくことが必要である。
- ・不慣れなスタッフもいるということから、研修の強化や対応した不慣れなスタッフと担当職員との連携が必要である。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

- ・窓口対応職員のみでなく、疑義が生じる内容は市民の不安が残らないよう担当者と十分に協議した後、その結果の対応を取るようになっている。
- ・コンビニ交付の窓口、電話での周知や書かない窓口の開始など

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

- ・窓口対応時に疑義が生じる内容の改善を図るため、その内容を含めた研修が必要と考える。
- ・疑義発生時、特に不慣れな職員が確認しやすい職場環境を整える。

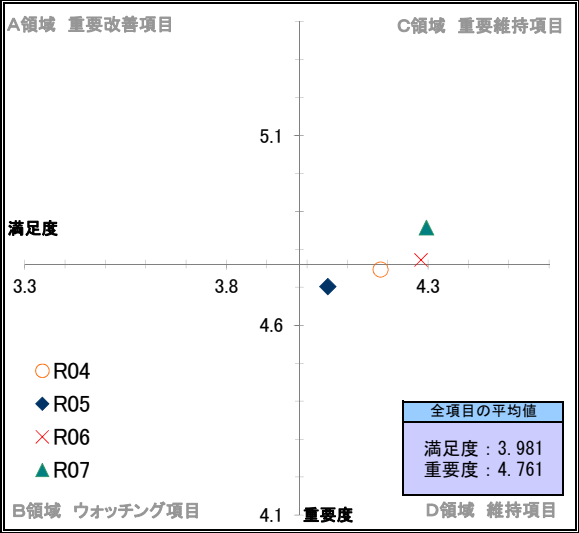
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月30日
課名	資産税課
所属長氏名	竹内 宏敏

総合計画 基本構想	施策分野	行政経営
	施策方針	-

設問	問21	証明・届出業務のサービス向上について				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	4.182	4.052	4.282	4.296	↓↑↑
	重要度	4.747	4.702	4.772	4.857	↓↑↑
市民認識		C領域		重要維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。
(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

資産税課の証明については、すべての証明について郵送でも対応しています。発行件数の多い資産（評価）証明書・評価額通知書（登記用）・公課証明書・税額計算書については、前年度と現年度分の発行を行政センター・サービスセンターでも行っており、サービスセンターにおいては土日・祝日の証明発行も行っています。
近傍価格入りの資産（評価）証明書・評価額通知書（登記用）については、資産税課でしか把握できませんが、職員同士の連携により行政センターでも取り扱えるようにしています。
証明書発行マニュアルについては、資産税課用と行政センター・サービスセンター用を作成し、事務の迅速化に努めています。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。
(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

両項目とも比較的高い水準にあり、重要度・満足度ともに前年度より上昇しています。年齢別では40歳代の満足度が低い傾向となっています。自由意見において、当課への窓口業務に対する意見はありませんでしたが、他の窓口に対する意見で職員が勉強不足であるという意見が見られました。当課では、内部研修や外部研修を積極的に行っていますが、来庁者に安心していただくためには、職員同士のOJTや職員の自己研鑽、情報共有も重要であると再認識しました。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

証明書取得に要する市民の負担を考え、問い合わせ等に対し、親切・丁寧な対応を心掛けました。証明書の郵送申請は通年で対応していますが、固定資産の縦覧・閲覧期間においては、閲覧のみ郵送による申請も受け付けることを周知しました。また、固定資産税に関してよくある問い合わせ等についてQ&Aを作成し、市のホームページへ掲載することで便宜向上を図りました。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

市民満足度の維持・向上を目指し、正確・適切・迅速・丁寧な対応を課員全員で心掛けていきます。また、窓口業務の質の向上を目指し、研修の機会を確保するとともに、情報共有を積極的に行っていきたいと思います。

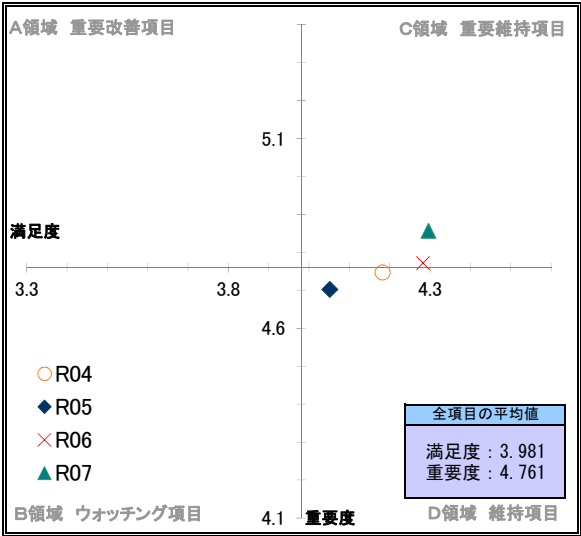
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月2日
課名	収納課①
所属長氏名	金井 一磨

総合計画 基本構想	施策分野	行政経営
	施策方針	-

設問	問21	証明・届出業務のサービス向上について				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	4.182	4.052	4.282	4.296	↓↑↑
	重要度	4.747	4.702	4.772	4.857	↓↑↑
市民認識		C領域		重要維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。
(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

・収納課の窓口は証明書の申請交付業務だけではなく、市税の収納業務も行っているため、市税の納期限日や年金支給日、滞納者への督促状や催告書等の通知が発送された時などに窓口が混雑します。
市民を長時間待たせないように、窓口の混雑時には対応職員を増やし速やかな対応を実践しています。また、セルフレジを導入し混雑の解消に努めております。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。
(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

・満足度、重要度ともにわずかながら上昇しました。
・若年層に比べて、50歳代・60歳代の満足度・重要度が低い傾向にあります。
・窓口での待機時間を縮小することが課題となっています。併せて、市民に分かりやすい対応をすることも心掛けていきます。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

・窓口での待機時間を縮小するため、混雑時の応援体制を整え、金銭のやり取り時間を短縮するセルフレジを令和6年度に導入し、混雑解消の一定の効果が見受けられます。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

・挨拶や声掛けを積極的に行いながら、迅速かつ丁寧な受付対応を行います。
・職場研修を通して職員の窓口対応の向上を図ります。

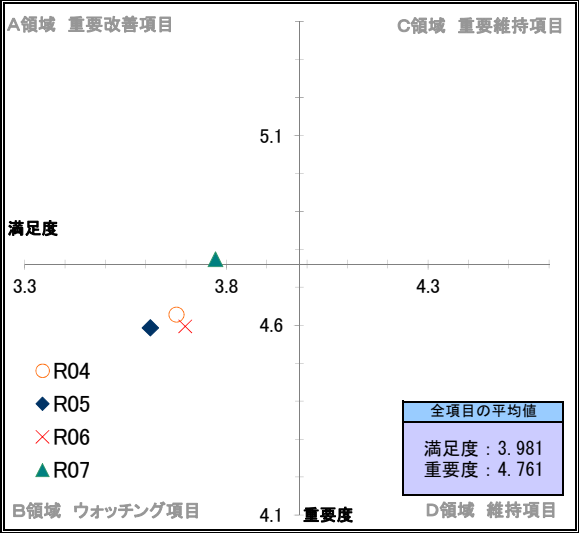
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月2日
課名	収納課②
所属長氏名	金井 一磨

総合計画 基本構想	施策分野	行政経営
	施策方針	-

設問	問24	効率的な行財政運営について				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	3.676	3.611	3.698	3.773	↓↑↑
	重要度	4.628	4.593	4.597	4.774	↓↑↑
市民認識		A領域		重要改善項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。

(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

・納税における市民の利便性の向上と納期限内に納めていただくため、キャッシュレス決済による納税を推進するとともに、口座振替を促進するために、市の受付窓口で口座振替の手続きができるペイジー口座振替を令和6年10月から国民健康保険税で導入し、令和7年4月から全税目で導入済です。また、令和7年7月からWebによる口座振替の申込を開始しスマホによる口座振替の申込も可能となりました。周知を図るためナッジ理論に基づくしおりを各種通知に同封しています。
・滞納者に対しては、継続的に一括催告や納付書付き催告書を発送して自主納付を促すとともに、催告に応じない場合は、財産調査のうえ預貯金・給与等の差押、搜索や公売の実施により滞納税の縮減に努めました。
・納税の理解が乏しい外国人については、令和7年4月から東京出入国在留管理局の協力を得て、ビザ更新時に市民税のほか国民健康保険税の納税証明書添付をお願いすることにより、折衝の機会を増やしました。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。

(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

・満足度・重要度ともに微増となっています。
・税金は、納税者が納期限までに自主的に納めていただくものであることの理解を一層浸透させるような取り組みを意識していきたい。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

・口座振替の促進のため、口座振替申込の利便性の向上を図り納税環境を整備しました。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

・継続して広報やホームページ等で、市税等の納期の周知や、口座振替の利用促進に向けた取組を行い、納期内納付の推進を図ります。
・滞納者の早期完納に向けた電話催告・納税相談とその後の指導(納期内納付)を行います。また、催告に応じない滞納者へは徹底した財産調査のうえ積極的に滞納処分を行います。
さらに高額滞納案件に対しては搜索を執行し、「徴収すべきか」「滞納処分の執行停止をすべきか」を判断しながら適切に処分執行することで収納率の向上を目指します。
・職員の資質向上のため、各種研修に参加し、個々のスキルアップと全体のレベルアップに励みます。

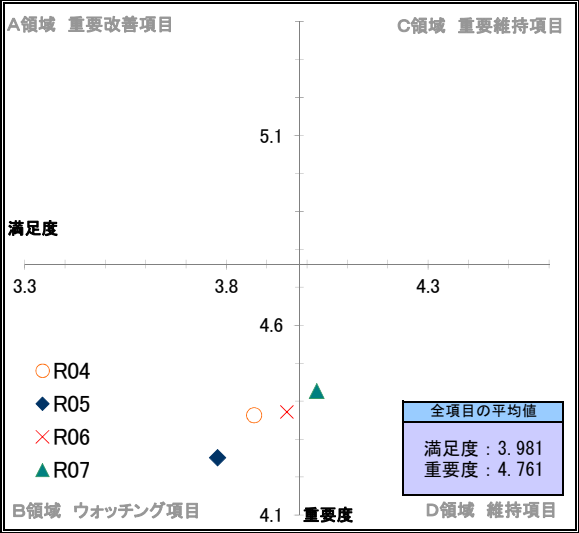
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月26日
課名	市民そうだん課
所属長氏名	荻野 美枝

総合計画 基本構想	施策分野	広報・広聴
	施策方針	広聴機能の強化

設問	問22	市民参加によるまちづくりについて				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	3.869	3.778	3.950	4.024	↓↑↑
	重要度	4.363	4.251	4.372	4.427	↓↑↑
市民認識		D領域		維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。
(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

陳情、市長への手紙・Eメール・FAX、市へのEメール、市民サービスアンケート、フリーダイヤルなど、様々な手段で市民からの意見・要望等に対応している。
広聴業務としては、令和6年度中は市長の縁台トークを実施したが、令和7年度より市長オンライン広聴業務「ほづみーと・オンライン」を実施している。
オンラインにすることで、どこからでも参加ができて、幅広い世代の方の参加が期待できる。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。
(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

調査において満足度が上昇したことは、市民の意見や相談などを真摯に聞き入れ適切な対応が出来ており、市民からの理解が得られているものと考えられる。また法律相談や各種相談を利用して、解決への方向性や助言を得ることで安心し満足感が得られていると考えられる。
(市民そうだん課での相談終了後アンケートの満足度 弁護士相談 92%、司法書士相談 93%)
昨年度に引き続き重要度が上昇したことは、日常生活において相談を利用して解決したい事項が、増えているものと考えられるが、市民が市政に参加しより良いまちづくりをしたいという気持ちの表れと考えられる。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

- 市民からの様々な意見・要望等を、的確・迅速に対処する。
- 市長への手紙や市へのEメール等を広く周知する。
- 令和7年度より司法書士相談を開始し、市民の相談によりそう取り組みを行っている。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

- 市長への手紙や市へのEメール等を広く周知し、市民から幅広い意見・要望を求めたい。
- 幅広く市民の声に耳を傾ける機会として、市長のオンライン広聴事業の充実を図る。

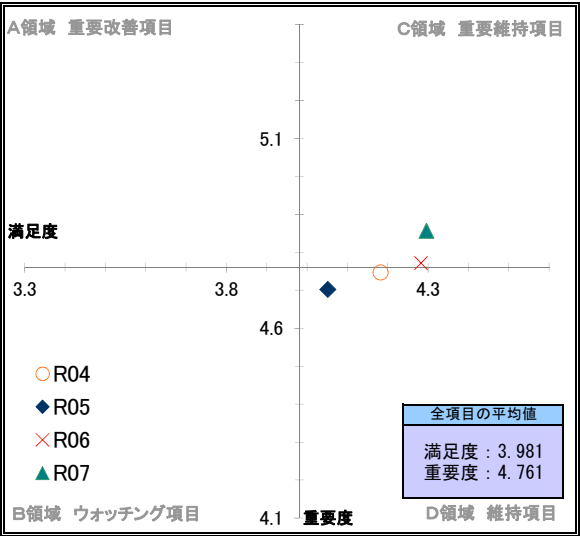
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月30日
課名	市民課
所属長氏名	中澤 文孝

総合計画 基本構想	施策分野	行政経営
	施策方針	-

設 問	問21	証明・届出業務のサービス向上について				
設 問 結 果		R04	R05	R06	R07	4カ年推移
	満足度	4.182	4.052	4.282	4.296	↓↑↑
	重要度	4.747	4.702	4.772	4.857	↓↑↑
市民認識		C領域		重要維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。

(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

戸籍・住民票・印鑑登録・マイナンバーカード手続き等においては、市民課（東・西サービスセンター及び藪塚本町サービス係を含む）及び行政センター職員が、市役所の顔としての自覚を持って業務を遂行していることで、高い満足度を維持しているものと考えています。
証明書のコンビニ交付、らくらく窓口、セミセルフレジや書かない窓口の活用により、市民の利便性が向上されていると認識しています。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。

(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

待ち時間の長さ。オンライン申請によるサービスの拡充を求めるご意見が多くありました。また、子育て世代や高齢者、障がい者への配慮について、地域間格差の不満についても改善する必要があります。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

窓口対応においては、市民課本庁窓口で受付等に当たる人員等の確保など、待ち時間の短縮に向けた取り組みをしました。
また、混雑緩和のため、業務改善により窓口時間の短縮を図るとともに、マイナンバーカードを利用したコンビニ交付の周知及び利用促進などの分散化に努めているところです。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

窓口業務のDX化をより一層推進し、マイナンバー制度など新しい技術の恩恵を市民と職員が共に享受できるよう目指してまいります。
職員の窓口対応について、引き続き混雑緩和を図り、親切丁寧な対応に努めてまいります。

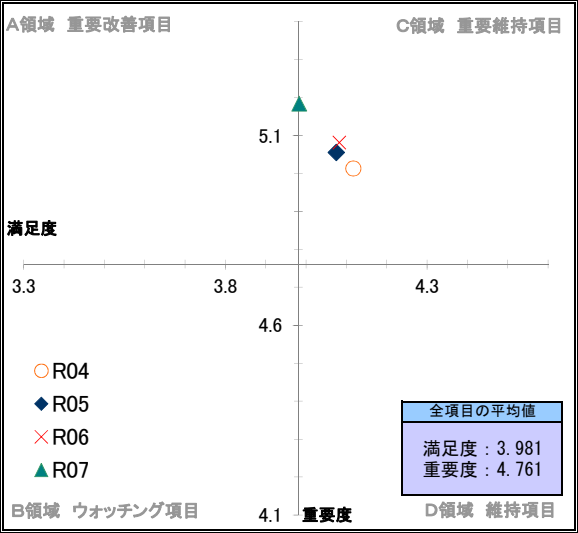
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月30日
課名	交通対策課①
所属長氏名	中島 伸幸

総合計画 基本構想	施策分野	交通安全
	施策方針	交通安全意識の普及・啓発

設問	問1	安全・安心なまちづくりについて				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4カ年推移
	満足度	4.118	4.075	4.082	3.983	↓↓↓
	重要度	5.013	5.055	5.081	5.184	↑↑↑
市民認識		C領域		重要維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。

(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

①交通安全運動期間中(春・夏・秋・冬の10日間)に早期巡回広報活動や交通指導員による児童生徒の登校指導を実施したほか、太田警察署や太田交通安全協会と連携しドライバーに向けて安全運転を呼びかけ、交通安全意識の高揚と交通安全運動の周知を行った。また、新入学期の交通安全防止運動として、太田警察署や交通指導員と連携し新入学を迎えた一年生の道路横断指導を行った。
②通学路や信号機のない交差点及び交通事故多発地点における交通事故を未然に防ぐため、歩行者やドライバーへの注意を促す啓発看板を設置したほか、「交通事故多発マップ」を作成し学校や施設及び病院のほか、商工会議所に協力を依頼し、地元企業等に配布して交通事故防止の啓発を行った。
③交通安全マナーやルール等、幼少期における交通安全啓発活動を重視し、幼稚園や保育園などで交通安全教室を積極的に開催した。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。

(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

街頭指導や巡回広報等を実施し、自動車運転者や自転車利用者等に向けて交通安全を呼びかけているが、依然として自動車の運転マナーや自転車利用者の交通マナーが守られていない現状がある。
市民が安心して暮らせる交通事故のない社会の実現に向けて、引き続き時間と心に余裕を持った安全運転と、自転車利用時のヘルメット着用促進及び交通ルール順守を働きかけていく必要がある。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

交通安全運動の推進のため、太田警察署や交通安全協会と合同で市民に交通安全を促すイベントを実施した。
通学路の危険箇所については、太田市通学路安全推進会議で合同点検を実施したうえで、当課において対応要望のあった箇所に啓発看板を設置(令和6年度:34か所49枚)し事故防止に努めた。
地元企業やプロバスケットチームと合同で太田駅での交通安全の啓発活動を実施したほか、大型商業施設や高等学校、太田駅高架下駐輪場においても交通安全啓発活動と自転車マナーアップ啓発を行い、交通ルールの順守について広く周知した。
近年、高齢ドライバーが絡む死亡事故が発生したことを受け、高齢者向け交通安全教室(6回:行政センター、地区集会所等)や高齢者ミーティング(強戸行政センター)を開催し、事故防止に向けた啓発を行った。
令和7年7月より、自転車運転者の安全意識向上を促すため、模範的な自転車の運転をした方に対して「グリーンカード」を配布する取り組みを太田警察署と連携して開始した。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

市民が安心して暮らせる交通事故のない社会の実現のため、市民一人ひとりが交通社会の一員として交通安全意識を高めることが大切となる。引き続き関係部署や団体と相互連携の下、交通安全教室や交通安全運動など、様々な機会を通じて交通ルールを守ることの大切さを啓発する活動を増やしていきたい。

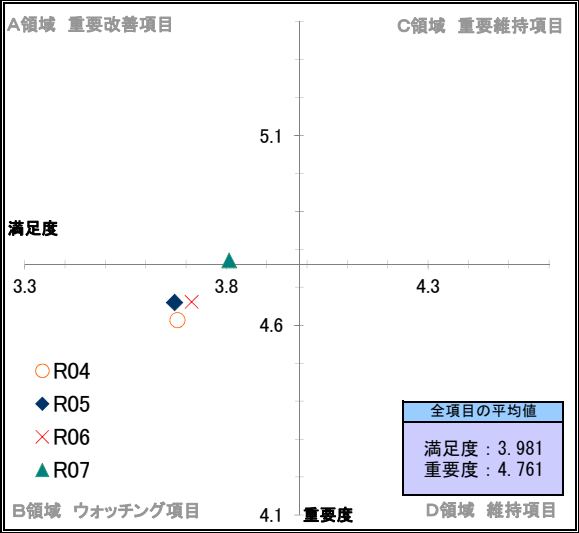
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月30日
課名	交通対策課②
所属長氏名	中島 伸幸

総合計画 基本構想	施策分野	交通
	施策方針	交通弱者の移動手段の確保

設 問		より良い生活環境づくりについて				
設 問 結 果		R04	R05	R06	R07	4カ年推移
	満足度	3.679	3.672	3.714	3.807	↓ ↑ ↑
	重要度	4.613	4.660	4.662	4.771	↑ ↑ ↑
市民認識		A領域		重要改善項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。
(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

令和5年度には、高齢者や障害のある方に対する移動手段の支援として運行する「おうかがい市バス」において課題とされていた電話予約受付体制の見直しを行った。
令和6年度には、利用登録要件の緩和と、運行車両の増車（令和6年8月～2台増車）により、より利用しやすい交通手段となるよう見直しを行った。
令和7年度は市内を運行する路線バスの路線図と時刻表を網羅した「おおたBUSマップ」を作成し、市ホームページに掲載したほか、交通対策課窓口及び各行政センターにて配布した。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。
(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

市民が求める利便性の高い公共交通の充実には、多額の財源が必要となり、市内全地区を網羅する公共交通網の整備を望む声がある一方で、自宅近くに停留所がない交通弱者にとっては路線バスの必要性を感じない方もいる。他市の現状をみても年々運行事業費の赤字補填に苦慮している状況にある。
今回重要度が高く満足度が低い結果となった要因としては、高齢者の運転免許証返納対策を求める声が多くせられていることから、超高齢化社会に対応すべき移動手段の確保に向けた対策が課題である。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

おうかがい市バスの電話受付業務は、令和4年度までタクシー事業者が運行事業を含め受託し実施していたが、利用状況や稼働状況、予約状況などを把握するため、令和5年度からは市が直接業務を行っている。また、令和4年度からは車両を1台増車し対応している。
令和6年度には利用登録要件を緩和し高齢者が利用しやすい制度とし、それによる利用者増加に対応するため車両を2台増車（令和6年7月～）した。
令和7年度には、バスがどこを走っているのかわかりづらいとの声を受け、市内を運行する路線バスの路線図と時刻表を網羅した「おおたBUSマップ」を作成し、市ホームページに掲載したほか、交通対策課窓口及び各行政センターで配布した。また、運転経歴証明書の交付手数料助成制度（1,100円）に代わり、運転免許返納者に5,500円分のバス回数券を交付する事業を開始した。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

バスの本数が少ないとの意見を踏まえ、朝の混雑が激しくなっているシティライナーおおた 新田線について、令和8年1月より朝の時間帯の増便を実施する予定である。
令和6年度にて計画期間が終了した「太田市地域公共交通網形成計画」に代わり、令和8年度末までに新しいマスタープランとなる「太田市地域公共交通計画」の策定を進める。
市内の人流調査を実施し、市民の移動需要を正確に把握したうえで、路線バス（シティライナーおおた・市営無料バス）の路線網の再構築やおうかがい市バスの運行体制の見直しを実施する。

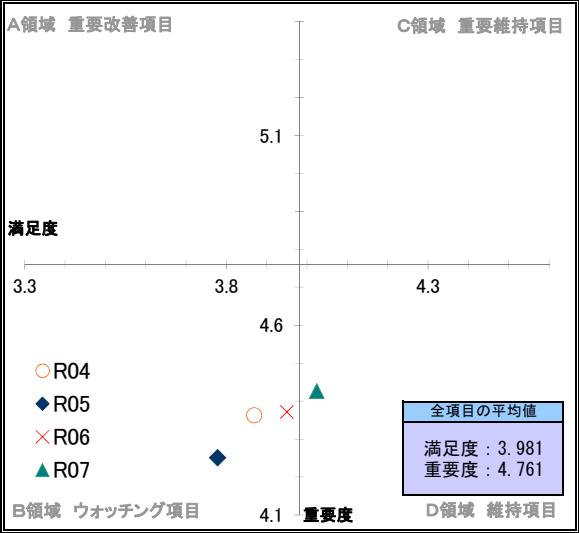
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月19日
課名	地域総務課
所属長氏名	小堀順久

総合計画 基本構想	施策分野	住民活動・協働
	施策方針	コミュニティ活動への支援

設 問	問22	市民参加によるまちづくりについて				
設 問 結 果		R04	R05	R06	R07	4カ年推移
	満足度	3.869	3.778	3.950	4.024	↓ ↑ ↑
	重要度	4.363	4.251	4.372	4.427	↓ ↑ ↑
市民認識		D領域		維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。
(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

1%まちづくり事業は、市長のマニフェスト事業として、平成18年度より実施している事業であります。また、太田市まちづくり基本条例の基本趣旨である「参画と協働」の実践事業として、地域の自主的な発想とコミュニティの活性化を目指した事業です。太田市の1%まちづくり事業は全国的にも先進的は取り組みとして注目されております。令和6年度の実績は、応募件数140件、採択件数140件、決算額44,301千円となっております。

次に予算のあらまし地区懇談会は、新年度予算成立後、予算の概要について市民に説明し理解を得るとともに、市民の参画と協働のまちづくりを進めるため、市長と市民との自由対話の機会を設け、住民の意向を可能な限り生かすことを目的に行っています。令和6年度は14会場において実施し1,418人が参加しました。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。
(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

今回のアンケート回答結果において、非常に満足、満足、やや満足を合計した場合は全体の71.5%であり、前年度と比較して満足度は0.07ポイント、重要度においては0.05ポイント増加した。また、自由意見については地域により1%まちづくり事業を実施している地区と実施していない地区があり一部の人だけが参加しているとの意見があることから、1%まちづくり事業の更なる周知が課題であることを認識した。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

地域社会づくりの支援のひとつとして、住民と行政が一緒になってまちづくりを行う1%まちづくり事業について、より多くの市民の方々に活用していただくため、各行政センターでも申請の相談や受付ができるように全行政センターを順次まわり、1%まちづくり事業の申請方法等の職員向け説明会を実施している。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

1%まちづくり事業の市民への周知に関しては、既存媒体のHPや広報はもちろん、SNS等をより活用して幅広い年代の方へ周知していきたい。また、各地区区長会への事業説明の充実をはかり、具体的な実施例を紹介していくなどして、PRの機会を増やしていきたい。

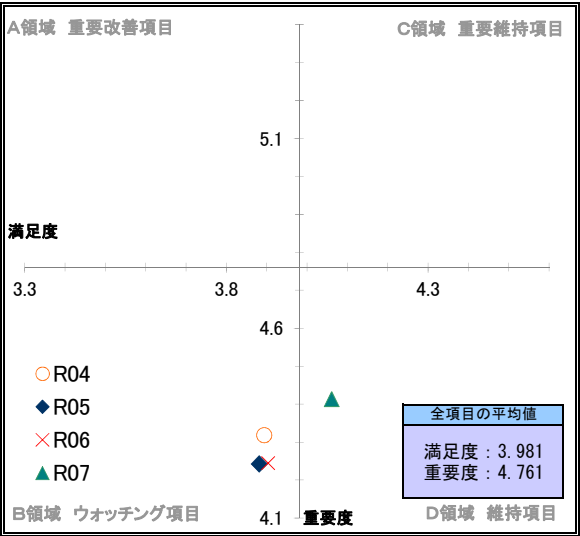
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年10月7日
課名	太田地区振興課
所属長氏名	平賀 英夫

総合計画 基本構想	施策分野	生涯学習
	施策方針	生涯学習機会の充実

設問	問20	生涯学習の推進について				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	3.894	3.881	3.904	4.061	↓↑↑
	重要度	4.318	4.243	4.245	4.413	↓↑↑
市民認識		D領域		維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。
(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

- ・太田地区生涯学習推進協議会や区長会と協働した事業実施
(地区内清掃活動、公民館利用団体による発表会、三世代交流を対象として取り組んだ八瀬川清掃の実施、おた夏まつり)
- ・市民教室や高齢者学級の開催

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。
(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

健康に関する問い合わせが多いことから、高齢者の日常生活に役立つ、講座の実施を試みたい。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

市民教室の開催にあたり、高齢者だけでなく、勤労者でも参加できるような時間帯の講座を設けた。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

講座参加者のアンケート結果を参考とし、要望のあった講座を実施し、参加しやすい日時の設定に努めたい。
また、参加者ターゲットを定め、その年齢に興味のある講座を開催することで、市民満足度の向上に努めたい。

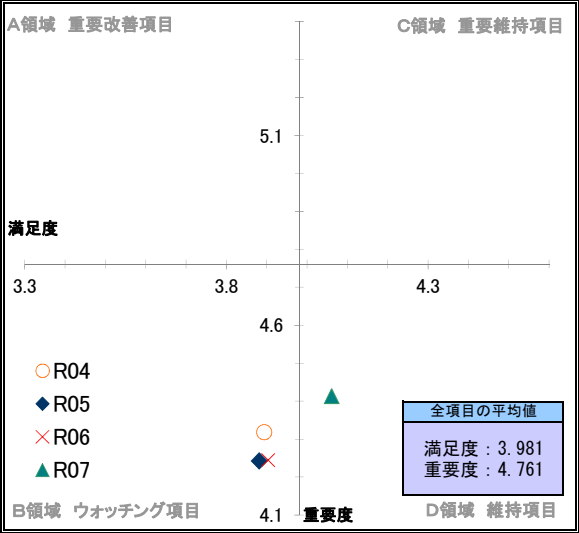
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月12日
課名	九合地区振興課①
所属長氏名	田端 あい子

総合計画 基本構想	施策分野	生涯学習
	施策方針	生涯学習機会の充実

設問	問20	生涯学習の推進について				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	3.894	3.881	3.904	4.061	↓↑↑
	重要度	4.318	4.243	4.245	4.413	↓↑↑
市民認識		D領域		維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。
(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

当課は、市民が生涯にわたり主体的に学習する機会を提供するため、市民教室、高齢者学級（さわやか学級）、家庭教育学級（すまいる学級）を開催しています。令和6年度におきましては、市民教室では、陶芸教室（3回）、コーヒー教室（温冷各1回）、阿波踊り教室、リース作り教室、バランスボール教室、寄せ植え教室など6講座、計9回の教室を開催しました。九合地区在住の65歳以上の方を対象とした高齢者学級では、心身の健康増進と日常生活の向上に寄与する講話や実技、鑑賞などを開催しました。家庭教育学級では、市内在住・在園の3歳～6歳児の保護者を対象として、子育てのヒント等を各分野の講師から学んだり、情報交換する機会を提供するため8回の講座を開催しました。また、サークル活動の成果発表や地域住民の交流の場として、九合地区文化祭を開催しました。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。
(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

市全体の調査結果は2年連続して満足度・重要度ともに上昇しており、その上昇率は昨年より大きくなっています。九合地区においても満足度の上昇が見られましたが、全体平均値を下回る結果となりました。調査結果では「社会人も参加しやすい土日や夜間の講座開催」「講座回数の増加」を望む声が多く寄せられている状況が窺えます。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

昨年度ご好評をいただいた講座については、開催回数を増やして計画し、より多くの方にご参加いただけるようにしました。また、3歳から6歳児の保護者を対象としていた家庭教育学級においては、募集要件を緩和し幅広い子育て世代の学習機会提供のため、一部を中学生以下までの子どもを持つ親に対象を広げました。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

調査結果で多数のご意見をいただいている「社会人も参加しやすい土日や夜間の講座開催」「講座回数の増加」等のご意見を参考に様々な世代が公平に生涯学習の機会を得られるよう、魅力ある講座を研究してまいります。

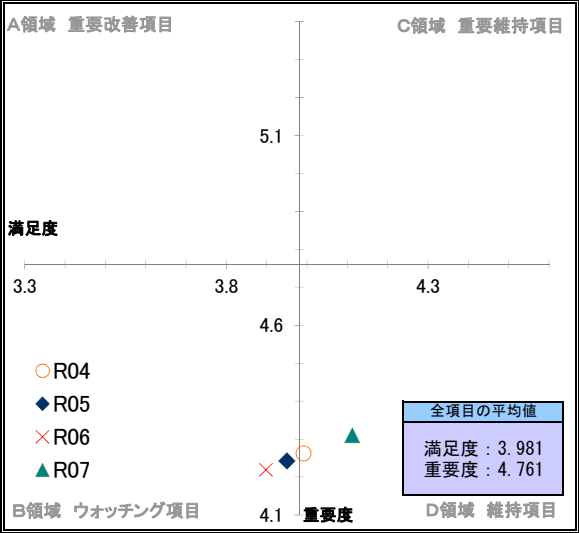
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月26日
課名	文化財課
所属長氏名	静野 勝信

総合計画 基本構想	施策分野	芸術文化
	施策方針	文化財の保存活用

設問	問18	芸術と文化の振興について				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	3.992	3.950	3.898	4.112	↓↓↑
	重要度	4.262	4.242	4.219	4.310	↓↓↑
市民認識		D領域		維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。

(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

文化財の保護として、次のような取り組みを行っている。
まず、文化財の保護では、日常管理として文化財管理者に委託し保護管理に取り組んでいただく一方、史跡や文化財施設の下草刈りを実施するなど日常管理に取り組んだ。
文化財の活用では、夏休み期間中に文化財スタンプラリーを実施し世代を超えた多くの参加者に太田市の文化財を訪れる機会をつくった。また、埋蔵文化財の発掘調査や遺物整理で得られた成果を「最新情報展」を開催することで広く市民に公開した。各資料館では、それぞれの施設で企画展や各種イベントを実施した。
令和6年9月からは千姫にゆかりのある自治体から構成される大河ドラマ「千姫」誘致の会に太田市が参加したことをうけ、満徳寺資料館を中心に大河ドラマ誘致への署名活動を始めた。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。

(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

満足度・重要度の数値はともに前年度を上回り、満足度については平均値を上回ることができた。
令和6年度から文化財課独自のInstagramによる情報発信を新たに始め、その効果が出ていると思われる。
また、昨年東京国立博物館で行われた特別展「はにわ」では太田出土の埴輪が注目を浴び、埴輪に対する市民の関心も高まっていることが感じられ、埴輪を活用して文化財についての理解を深めるような取り組みを検討する必要があると感じた。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

昨年度から新たに始めたInstagramでの情報発信の他、OTAマルシェに文化財課のブースを出店し、スポーツイベントの来場者にも本市の文化財のことを知ってもらえるよう積極的な情報発信に努めた。
史跡の環境整備については自走式草刈機を導入し除草作業の効率化を図った。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

埴輪に対する注目が高まっていることを受け、埴輪を活用した企画の実施を検討する。またOTAマルシェへの出店を引き続き行い、普段文化財に興味を持たない層に対して少しでも関心を持ってもらえるような取り組みを実施する。
文化財課Instagramによる情報発信についても引き続き積極的に行い、太田市の文化財を広くアピールしていきたい。

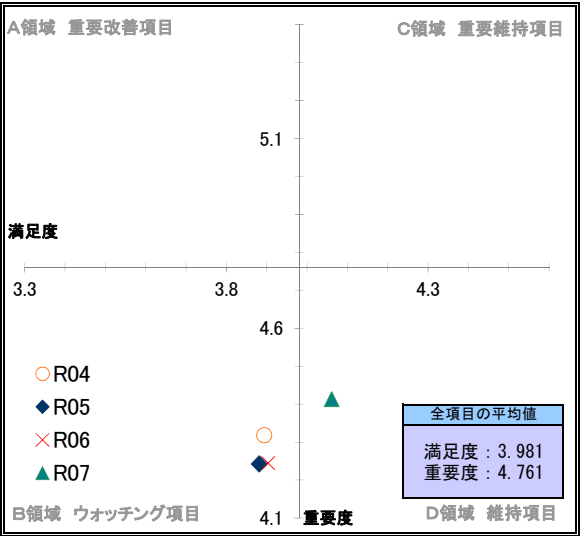
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月5日
課名	沢野地区振興課①
所属長氏名	大澤 昌彦

総合計画 基本構想	施策分野	生涯学習
	施策方針	生涯学習機会の充実

設 問		問20 生涯学習の推進について				
設 問 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	3.894	3.881	3.904	4.061	↓ ↑ ↑
	重要度	4.318	4.243	4.245	4.413	↓ ↑ ↑
市民認識		D領域		維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。

(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

生涯学習活動としては、本行政センターが実施する市民教室があり、幅広い年齢層が参加できるように企画実施した。令和6年度の市民教室については、夏休み宿題ポスター教室、スマートフォン講座、ゴスペル教室、アクセサリ作り、コーヒーセミナーを開催した。
また、行政センターを利用している地域サークルは、毎年11月に開催される「ふれあい文化祭」において団体活動を発表したり、子供たちと世代間交流を図ることができた。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。

(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

高齢者のIT教育の充実を希望する意見があった。生涯教育の一環として新しい学びの場を設けて行きたい。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

好評な講座は翌年度の計画にも取り入れ、希望する多くの市民が参加できるように工夫した。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

結果報告から、20歳代の満足度に比べ60歳代の満足度が低いので、より多くの60歳代以上が参加し、満足度が向上していくような魅力ある講座を開催して行きたい。

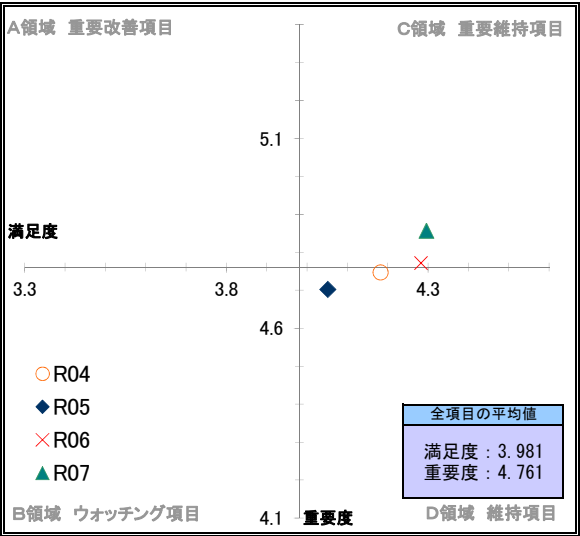
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月5日
課名	沢野地区振興課②
所属長氏名	大澤 昌彦

総合計画 基本構想	施策分野	行政経営
	施策方針	-

設 問	問21	証明・届出業務のサービス向上について				
設 問 結 果		R04	R05	R06	R07	4カ年推移
	満足度	4.182	4.052	4.282	4.296	↓↑↑
	重要度	4.747	4.702	4.772	4.857	↓↑↑
市民認識		C領域		重要維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。
(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

来館されるお客様を職員一同常に笑顔で迎え、市民の目線に立って親切丁寧な分かり易い説明を心がけている。申請書記入時に、お客様がスムーズに手続きできるよう声掛けを行っている。また、不明な点がある場合には、独自に判断せず、必ず本庁の主管課に相談や確認をとりながら、誤りのない業務を遂行している。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。
(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

窓口業務職員の親切な対応を賞賛するご意見があった。引き続き満足度の向上のため親切丁寧な窓口対応を遂行したい。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

市民課にて対応する案件において、おおよその待ち時間を事前に伝えるなど、市民に対して親切・丁寧な対応をした。また、担当外の問い合わせ・相談に対して担当課を調べ必要書類の確認を行うなど、市民がその後不便のないよう対応した。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

待ち時間短縮を希望する意見があったので、市民に一番身近な市役所として、市民に寄り添い、親切・丁寧で迅速な対応を心がけたい。

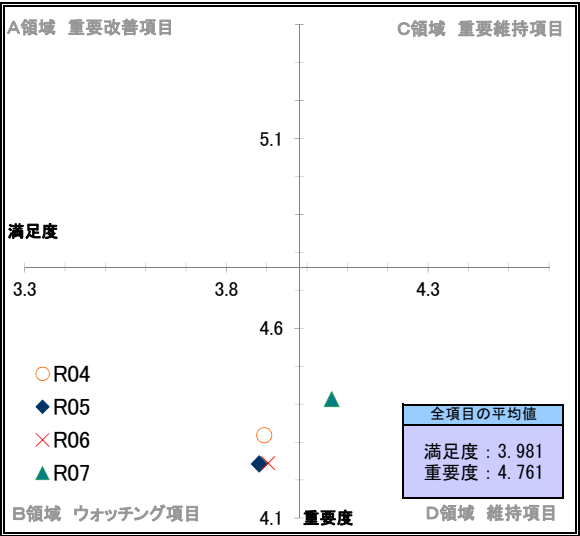
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月22日
課名	韮川地区振興課①
所属長氏名	小林茂之

総合計画 基本構想	施策分野	生涯学習
	施策方針	生涯学習機会の充実

設問	問20	生涯学習の推進について				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	3.894	3.881	3.904	4.061	↓↑↑
	重要度	4.318	4.243	4.245	4.413	↓↑↑
市民認識		D領域		維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。
(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

市民教室、チャレンジアカデミー及び高齢者学級など各種学級の内容については市民の各年齢層や生活に合わせた各種講座を開催しており、企画内容もこれまでの参加者アンケートによる分析をもとに、住民ニーズを把握することで新しい講座の実施にも繋げるよう努めている。
また太田市広報、行政センターだより及びホームページ掲載や館内掲示等をはじめとする様々な広報媒体により、より多くの市民参加を目指している。参加申し込みもロゴフォームを利用した方法を採用し、利用者の利便性を考慮した。
地域においても、地区生涯学習推進協議会により健康増進や地域の世代間交流も図りながら、各種事業を幅広く実施していくための情報提供や講座の実施、ならびに研修視察等への支援を継続的に行っている。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。
(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

令和7年度の結果については満足度及び重要度ともに上昇する結果となったているが、さらに、当該アンケート結果を糧としつつ、担当職員や行政センターレベルでの体感による評価の分析等も合わせながら、今後もや各行政センター間での情報共有を行い、魅力ある講座を企画する必要があると考えられる。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

講座によっては、幅広い層の方の申し込みがあるため、その年代にあった申し込み方法を採用することで、参加意欲を高めることができた。
参加者へのアンケートにおいても、参加者の要望を反映できるような、項目を設け、より要望に沿うよう改善に努めた。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

今回の市民満足度アンケート結果について検証するとともに、引続き講座参加者によるアンケート結果の分析や他行政センター等との情報交換などに努め、市民の要望に合った講座を企画開催したい。

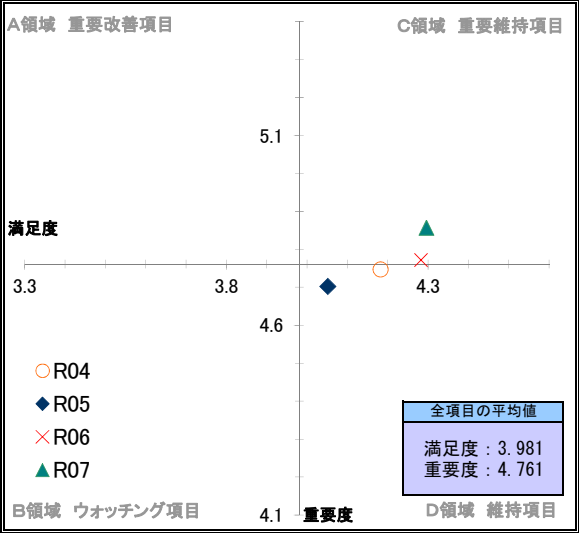
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月22日
課名	菰川地区振興課②
所属長氏名	小林茂之

総合計画 基本構想	施策分野	行政経営
	施策方針	-

設 問	問21	証明・届出業務のサービス向上について				
設 問 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	4.182	4.052	4.282	4.296	↓ ↑ ↑
	重要度	4.747	4.702	4.772	4.857	↓ ↑ ↑
市民認識		C領域		重要維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。
(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

窓口業務では、正確かつ迅速、丁寧な対応を心掛け、証明書を交付する際は、複数の職員が確認し、申請者との確認も必ず実施している。また、不明な点はその都度主管課へ確認し、主管課での処理が必要なものについては、予め目安となる処理時間等を申請者へ伝えて待ち時間への理解を求めるなど、市民の疑問や不満を減らすよう配慮している。丁寧な聞き取りを心掛け、内容によっては市役所庁舎内の担当課など適切な対応先をご案内するなど、できるだけ来庁者に寄り添い、必要とする書類の入手や手続きができるよう努めている。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。
(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

毎年、満足度と重要度ともに前年を上回っており、今後も、引き続き正確かつ迅速、丁寧な対応を心掛け、改善に取り組むなど、満足度の向上に繋がるよう努めていきたい。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

窓口対応に関して不満に感じる利用者があることも考慮に入れ、正確かつ迅速丁寧という、利用者に寄り添ったサービスを引き続き心掛けていきたい。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

引き続き、接遇における丁寧な対応や適切な勤務態度を維持し、満足度の高いサービスを提供し、職員のスキルを向上させていきたい。

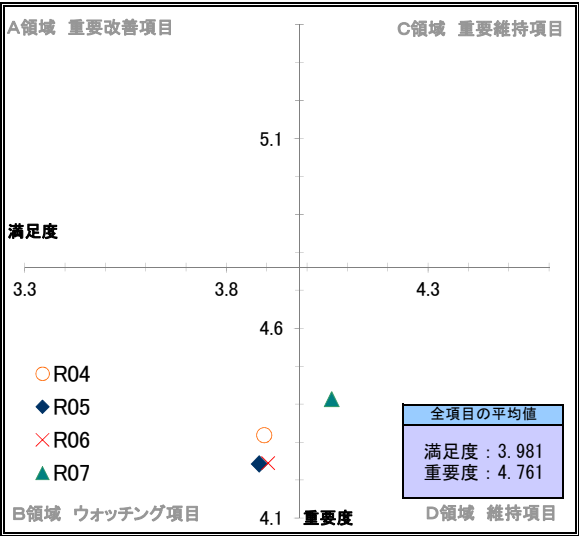
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月22日
課名	鳥之郷地区振興課①
所属長氏名	林 正和

総合計画 基本構想	施策分野	生涯学習
	施策方針	生涯学習機会の充実

設問	問20	生涯学習の推進について				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	3.894	3.881	3.904	4.061	↓↑↑
	重要度	4.318	4.243	4.245	4.413	↓↑↑
市民認識		D領域		維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。

(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

現在の市民ニーズに合わせて数多くの講座を実施したところ、ほとんどの講座において定員以上の申し込みがあり、中には定員の倍以上の申し込みがあった講座もあった。また講師とも綿密に打ち合わせを行い講座を行ったことにより、充実した内容の講座を開催することができ、参加者の満足度も高かった。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。

(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

前年度人気だった講座を行うことにより、前年度に抽選で落選した人に対してのフォローを行うことが出来たが、毎年同じ内容の講座を行うことには少し抵抗を感じる。また、参加者の年齢層が高いため、もう少し幅広い年齢層に参加してもらえるような講座の開催も必要だと感じた。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

毎年同じような講座ばかりにならないように新しい分野の講座（料理等）を開催した。また、抽選になった場合の連絡方法を従来の電話連絡からSMSによる連絡方式に変えたことにより、速やかに一斉に抽選の可否を伝えることができた。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

毎年新たな分野の講座を開催し参加者の幅を広げていきたい。また人気のなかった講座（定員割れ）については次年度の継続を止める方向で考えたい。講座だけで終わらずにサークル化するなど、生涯学習がより活性化することを促していきたい。

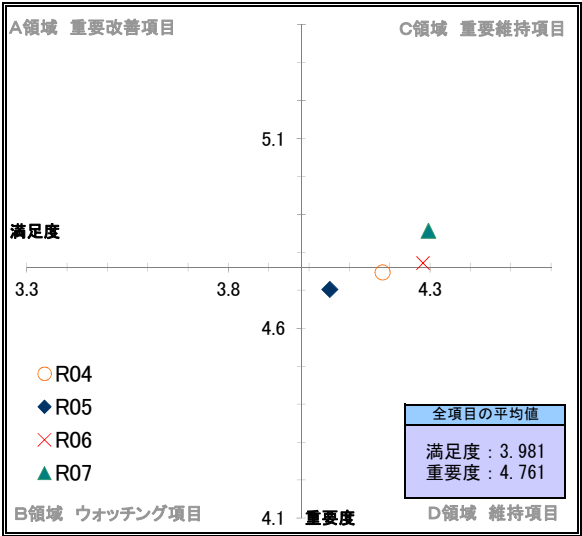
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月22日
課名	鳥之郷地区振興課②
所属長氏名	林 正和

総合計画 基本構想	施策分野	行政経営
	施策方針	-

設 問	問21	証明・届出業務のサービス向上について				
設 問 結 果		R04	R05	R06	R07	4カ年推移
	満足度	4.182	4.052	4.282	4.296	↓↑↑
	重要度	4.747	4.702	4.772	4.857	↓↑↑
市民認識		C領域		重要維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。
(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

窓口対応は常時2人での対応とし、間違えのない証明発行を徹底し実践することができた。また、親切丁寧な窓口対応、お客様を待たせることのない迅速な対応を心掛けた結果、市民からの窓口対応への苦情がほぼなかった。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。
(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

課員全員が同レベルでの窓口対応ができていない部分もあるため、個々のスキルアップを図るとともに、責任感をもって窓口対応を行えるようにしていきたい。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

出来る限りお客様を待たせないよう、迅速な対応を心掛けた。また、どんな相手に対してもわかりやすい説明をして理解してもらえよう心掛けた。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

個々の不得意や部分については周りがレクチャーすることにより、個々のレベルアップを図った。また、数多く窓口対応をすることにより、覚えていく業務もたくさんあるため、それぞれが積極的な窓口対応を心掛けた。

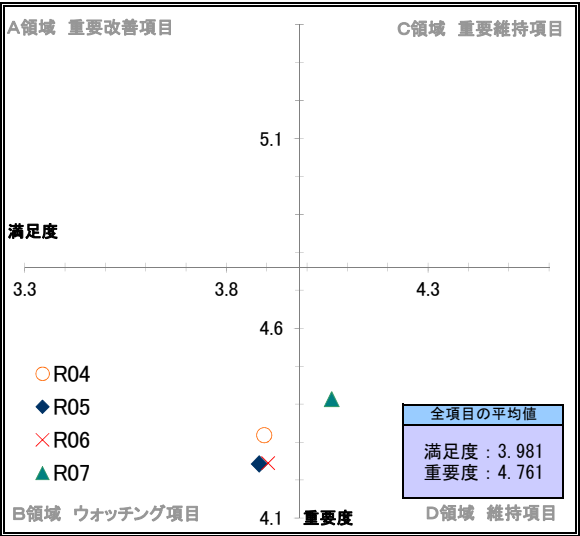
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月30日
課名	強戸地区振興課①
所属長氏名	大竹 義幸

総合計画 基本構想	施策分野	生涯学習
	施策方針	生涯学習機会の充実

設問	問20	生涯学習の推進について				
設問 結果		R04	R05	R06	R07	4カ年推移
	満足度	3.894	3.881	3.904	4.061	↓↑↑
	重要度	4.318	4.243	4.245	4.413	↓↑↑
市民認識		D領域		維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。

(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

強戸地区では、市民教室で「しめなわ作り講座」を実施し、主に60歳代から80歳代までの男女が参加した。シニア大学は、R4年度までは開講前に1度だけの募集だったが、R5年度から講座単位で受講可能とし参加者の利便性を図った。R6年度に引き続き、R7年度も全10回の講座数とした。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。

(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

満足度では、平均値4.061に対して強戸地区は3.967と0.094ポイント下回った。
重要度では、平均値4.413に対して強戸地区は4.351と0.062ポイント下回った。
市民教室などの受講アンケートを参考にして、市民のニーズにあった講座の開催に努めたい。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

シニア大学では、昨年度最も高評価だった「芸能鑑賞会」を1回目を実施し集客に努めた。また、高評価の講座「バイオリンとピアノ」「ポッチャ体験会」をR7年度にも継続して開催。新企画として「スローイングビンゴ体験会」「フラダンス鑑賞とみんなで歌う」等開催。
市民教室の募集にQRコードを導入し利便性を図った。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

市民は何に関心があるのか、引き続き情報収集に努めたい。

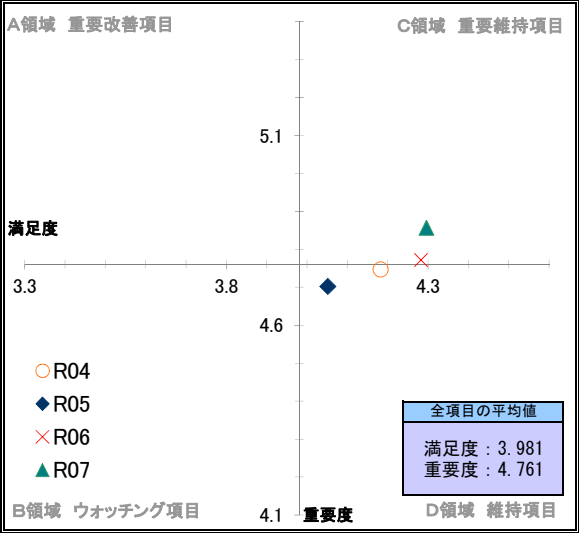
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月30日
課名	強戸地区振興課②
所属長氏名	大竹 義幸

総合計画 基本構想	施策分野	行政経営
	施策方針	-

設 問	問21	証明・届出業務のサービス向上について				
設 問 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	4.182	4.052	4.282	4.296	↓ ↑ ↑
	重要度	4.747	4.702	4.772	4.857	↓ ↑ ↑
市民認識		C領域		重要維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。
(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

市民が必要としている証明書を取るために何度も足を運ぶことのないよう、分かりやすい言葉で正確に聞き取りすることを心がけている。また来客には積極的に挨拶をして、声をかけやすい雰囲気作りに努めている。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。
(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

満足度では、平均値4.296に対して強戸地区は4.425と0.129ポイント上回った。
重要度では、平均値4.857に対して強戸地区は4.675と0.182ポイント下回った。
新事業、新制度について、行政センターに所定の範囲で業務依頼があるので職場研修等で認識の統一を図る必要がある。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

担当業務を行いながら、職員全員で窓口を意識し、来客を待たせないよう対応している。
また他部署への問い合わせが必要な場合は、時間を要する旨を事前に伝え、回答待ちの間も声かけを行う等配慮している。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

丁寧な聞き取りをすることで市民が求めていることを把握できるので、今後も引き続きわかりやすい言葉を使い、市民の立場に立った窓口対応を行っていきたい。

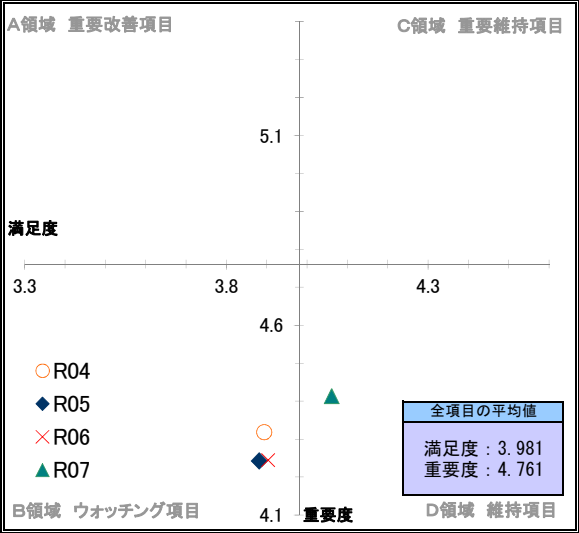
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月17日
課名	休泊地区振興課①
所属長氏名	久保田 修

総合計画 基本構想	施策分野	生涯学習
	施策方針	生涯学習機会の充実

設問	問20	生涯学習の推進について				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	3.894	3.881	3.904	4.061	↓↑↑
	重要度	4.318	4.243	4.245	4.413	↓↑↑
市民認識		D領域		維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。
(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

市民教室の参加者アンケートによる分析を基に、他の行政センター等から収集した情報などを参考とし、多面的に住民ニーズを把握することで、新しい講座の実施にも繋げるよう努めている。また、太田市広報、行政センターだより及びホームページへの掲載や館内掲示をはじめとする様々な広報媒体により、より多くの市民参加を目指している。地域においても、地区生涯学習推進協議会が、健康増進や地域の世代間交流も図りながら各種生涯学習事業を幅広く実施していくための情報提供や講座開設、研修視察等の支援を継続的に行っている。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。
(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

前年度より満足度、重要度とも上昇しており、地区別では休泊地区が最も満足度の高い地区となっている。今後、参加者へのアンケート結果分析等を重視しつつ、さらに幅広い市民が参加していただける魅力ある講座を企画開催する必要があると考えている。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

引き続きアンケート結果に基づき、参加希望の多い分野の講座の企画、開催の検討を行い、より要望に沿うよう努めるとともに、今まで行っていない新しい市民教室を企画し、幅広い市民に参加していただけるよう努めている。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

多種多様な市民教室開催することにより、多くの市民の方のニーズに答えることができるので、新しい魅力ある市民教室の開催について検討していきたい。また、SNSの活用による市民周知等、新しい情報伝達についても積極的に取り組んでいきたい。

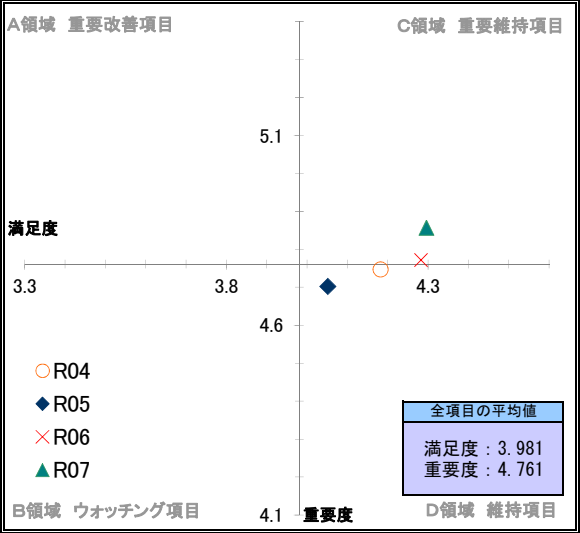
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月17日
課名	休泊地区振興課②
所属長氏名	久保田 修

総合計画 基本構想	施策分野	行政経営
	施策方針	-

設 問	問21	証明・届出業務のサービス向上について				
設 問 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	4.182	4.052	4.282	4.296	↓ ↑ ↑
	重要度	4.747	4.702	4.772	4.857	↓ ↑ ↑
市民認識		C領域		重要維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。

(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

窓口業務では、正確かつ迅速、丁寧な対応を心掛け、証明書発行の際は複数の職員で確認を行い、かつ申請者との確認も実施することで、ミスの発生を未然に防いでいる。また、不明な点はその都度主管課へ確認し、主管課での処理が必要なものについては、予め目安となる処理時間等を申請者へ伝えて待ち時間への理解を求めるなど、市民の疑問や不満を減らすよう配慮している。手続きに不慣れな方も多いため、丁寧な聞き取りを心掛け、内容によっては市役所庁舎内の担当課など適切な対応先をご案内するなど、できるだけ来庁者に寄り添い、必要とする書類の入手や手続きができるよう努めている。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。

(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

全体としては、前年度に比べて、満足度、重要度ともに上がっている。休泊地区については重要度が昨年度より下がっているが、重要とする回答が最も多いことから、高い水準を保っている。市民から重要度が高いという評価をいただいていることから、今後も、引き続き正確かつ迅速、丁寧な対応に努めたい。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

窓口対応に不満を感じる市民がいることに配慮し、親切・丁寧な対応を行うことを徹底するとともに、正確で誤りのない業務遂行を目指している。主管課が混雑している場合には、待ち時間がわかりにくいことから、処理に時間がかかるケースがあることを丁寧に説明している。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

引き続き、接遇における親切・丁寧な対応や、適切な勤務態度を維持し、満足度の高いサービスを提供し、窓口対応への不満を減らしていくため、職員のスキルを向上させてまいりたい。

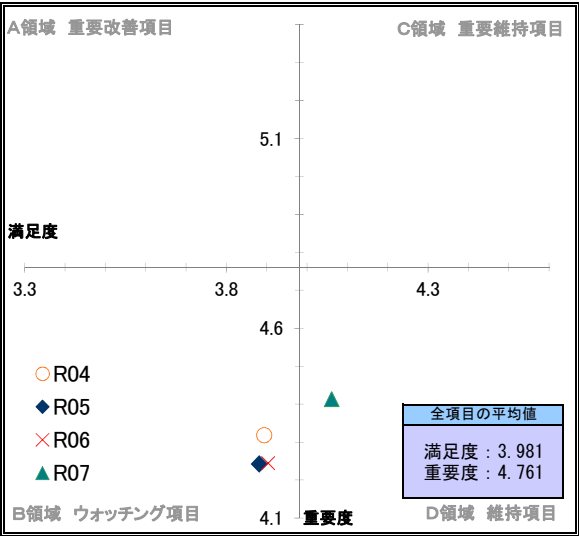
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月10日
課名	宝泉地区振興課①
所属長氏名	空井 智

総合計画 基本構想	施策分野	生涯学習
	施策方針	生涯学習機会の充実

設問	問20	生涯学習の推進について				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	3.894	3.881	3.904	4.061	↓↑↑
	重要度	4.318	4.243	4.245	4.413	↓↑↑
市民認識		D領域		維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。
(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

宝泉地区振興課では生涯学習の拠点として「高齢者学級」「女性学級」「家庭教育学級」「市民教室」を開催することにより、子どもから高齢者まで受講できる様々な学習の機会を提供しています。内容については各地区振興課と情報交換を行い講座内容の充実や、市民から要望の多い講座を開催することにより、そのときどきにあったタイムリーな講座を提供できるよう工夫しています。
また、スポーツの分野では「スカイクロス大会」を開催し、生涯スポーツの普及推進にも努めています。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。
(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

アンケートの値については多少ではありますが増加しており、今後も住民の満足できる教室の提供に努めたいと考えています。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

毎年好評いただいている各種学級・教室について地域住民の要望に応え計画できたと考えます。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

今後も幅広く住民の方に参加していただけるよう、開催回数や時期、教室の内容など精査していきたいと思います。

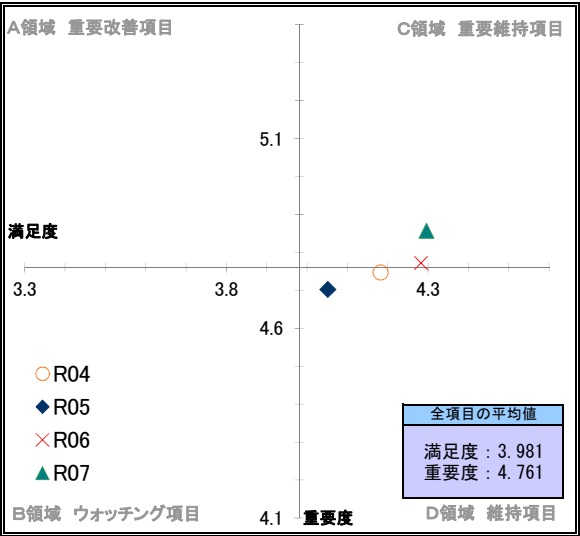
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月10日
課名	宝泉地区振興課②
所属長氏名	空井 智

総合計画 基本構想	施策分野	行政経営
	施策方針	-

設 問	問21	証明・届出業務のサービス向上について				
設 問 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	4.182	4.052	4.282	4.296	↓↑↑
	重要度	4.747	4.702	4.772	4.857	↓↑↑
市民認識		C領域		重要維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。

(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

宝泉行政センターの地域内人口は市内有数の多さです。太田市のほぼ中央に位置していること、駐車場が広いことから行政センターの中でも利用度が高く、各種証明書交付件数、届出受理件数、税金等の納付件数とも大変多く取り扱っています。各種手続きや証明書等の交付サービスが身近な行政センターで受けられるということで、特に地域住民にとっては「小さな市役所」としての意識づけがされているのではないかと思います。来所された市民に対しては親切・丁寧をモットーに笑顔でお迎えし、気持ちよく帰られるよう常に心がけています。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。

(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

市民の要望は年々高くなり、今回、満足度重要度共に上昇したものの、今までと同じ市民対応では満足度並びに重要度を維持は難しくなるのではないかと感じます。特に、行政センターでの窓口業務を広げてほしい、また休日開庁を要望する市民の方が多いようです。今後益々高まるであろう市民要望に応えるには行政センターで出来ること・出来ないことの周知徹底、また職員の資質の向上を図り、出来ることを市民に満足していただけるよう対応していく必要があると考えます。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

市民が来所された際には尋ねられる前にこちらから先にお声掛けし、お待たせすることがないようにしています。また、混雑時においては一声かけることにより「放っておかれた」と思わせないようにし、話す時にはゆっくりとわかりやすく丁寧に伝えることを心掛けています。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

常に市民目線に立って対応するよう心掛けています。ただし市民の中には、行政センターでの業務で自分の要望等が満たされない場合に不満を口にする方もいます。行政センターで対応できる業務には限りもあるので、来所された市民の方に無駄な時間を費やさせないよう、対応できない業務については担当課へ照会のうえ、必要なものを案内して、市民の方が担当課へ出向いた際にはスムーズに手続きが完結できるよう取り組んでいます。また、後になって「言った、言わない」「聞いてない」「教えてもらえなかった」等のトラブルの未然防止のため、「今伝えるべき情報は、漏れなく、漏らさず、全て伝える」よう努めます。事務処理については正確・迅速・親切・丁寧をモットーに、各種証明等交付業務においては個人情報の観点から、常に2人態勢で本人確認することを徹底します。さらに転出及び転入並びに転居届等、本庁処理の業務については担当課に処理状況を確認し、待ち時間をお知らせするなどして待ち時間を長く感じさせない工夫が必要だと思われます。

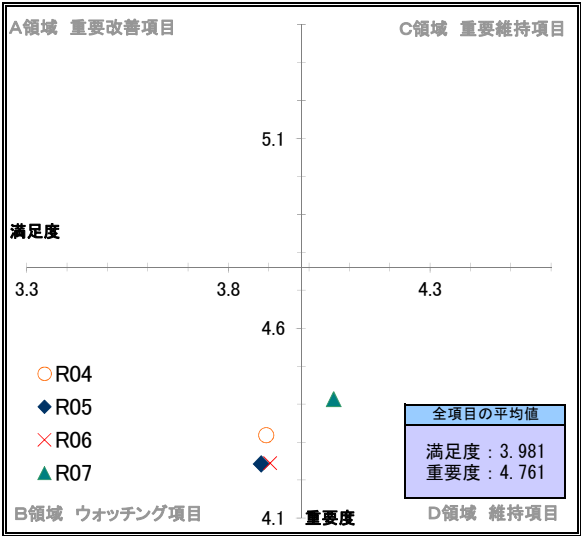
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月29日
課名	毛里田地区振興課①
所属長氏名	青木 邦治

総合計画 基本構想	施策分野	生涯学習
	施策方針	生涯学習機会の充実

設問	問20	生涯学習の推進について				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	3.894	3.881	3.904	4.061	↓↑↑
	重要度	4.318	4.243	4.245	4.413	↓↑↑
市民認識		D領域		維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。
(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

市民ニーズについて講座終了後のアンケートや事後検証、他施設、他市等の状況などの情報収集に努め、今年度の市民教室についてはすべての講座で定員を超える申し込みがあり、受講後のアンケートでも高い満足度を得ている。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。
(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

毛里田地区については満足度、重要度ともに今年度は平均値を上回っているが、生涯学習事業の参加世代である50代以上の満足度は低い傾向にある。各講座終了後のアンケート結果での満足度は高くアンケート結果を反映した講座を企画しているが、地区住民の満足度の向上には講座に参加していない市民のニーズの把握も必要と思われる。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

市民教室は前例にとらわれず、他施設等の状況の把握や世の中の流行をSNS等から情報収集し、魅力ある講座の開設に努めた。また、普段行政センターを利用しない子どもや親子を対象とした講座を夏休み中に開催したり、合同学級の講座に公開講座を設けることで、幅広い世代の参加を呼びかけた。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

アンケートの結果から市民教室等の充実を求める声が多かったことから、さらに情報収集に努め市民ニーズを把握し、幅広く市民が参加できるよう開催方法等に工夫を凝らしていくとともに、市ホームページや行政センター公式X等を活用して市民への情報発信に努めていきたい。

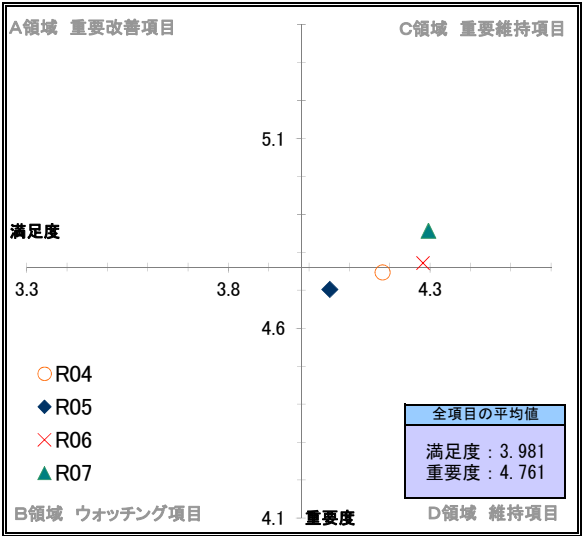
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月29日
課名	毛里田地区振興課②
所属長氏名	青木 邦治

総合計画 基本構想	施策分野	行政経営
	施策方針	-

設 問	問21	証明・届出業務のサービス向上について				
設 問 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	4.182	4.052	4.282	4.296	↓↑↑
	重要度	4.747	4.702	4.772	4.857	↓↑↑
市民認識		C領域		重要維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。

(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

市民が必要としている証明や手続きが何であるか相手の意図を汲み取り一度の来所で済むよう、わかりやすい言葉で常に市民の立場に立って窓口業務を行っている。また、来館者には率先して挨拶をし声をかけやすい雰囲気づくりに努めている。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。

(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

毛里田地区については満足度は全体平均を上回っており、市役所から遠い地区ではあるが行政センターの窓口等を利用し証明発行や届出にあまり不自由は感じていないようである。行政センター窓口等の拡大の意見に関しては、職員配置や各取扱業務を網羅した知識の習得等の問題があると思われる。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

職員全員ができるだけ専門用語を使わず「市民の目線」に立つ意識を忘れずに窓口対応を行った。また、行政センターは証明発行だけでなく各担当課の幅広い手続きを受け付けることになっているため、各業務の手順書等を確認したり、職員間での窓口受付対応の情報の共有を図るなど、知識の習得に努めた。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

担当課との情報共有、職員間でのOJTに努め、引き続き市民の立場に立った分かりやすい説明とスムーズで正確な対応が行えるよう努めたい。

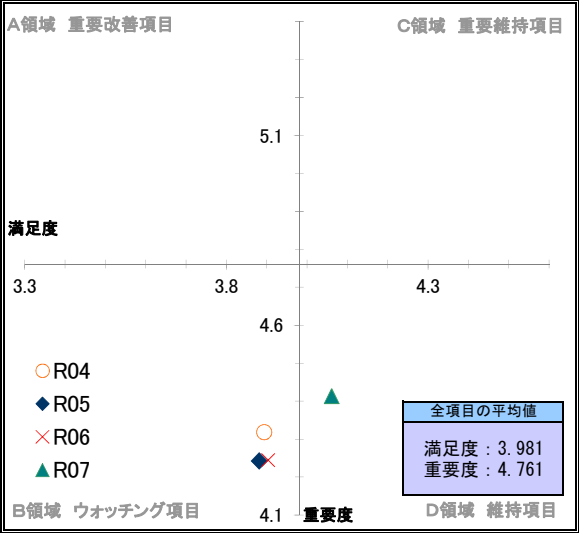
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月3日
課名	尾島地区振興課①
所属長氏名	加山 誠

総合計画 基本構想	施策分野	生涯学習
	施策方針	生涯学習機会の充実

設問	問20	生涯学習の推進について				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	3.894	3.881	3.904	4.061	↓↑↑
	重要度	4.318	4.243	4.245	4.413	↓↑↑
市民認識		D領域		維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。

(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

- ・生涯学習事業は、各地区に委託し地区の特色ある事業を展開している。また、館外研修や講演会では、社会の変化に伴い多様化する市民の学習ニーズを把握し事業を実施している。
- ・尾島・世良田小学校の児童を対象に地域の方々を指導者として文化、スポーツ、芸術等を通じて子ども達に自主性及び社会性を身につける機会を提供するため、おじま子ども週末クラブ事業を毎月第1、3土曜日の午前に実施している。
- ・市民教室では市民のニーズを取り入れた教室等を開催し参加者からの満足度は高い傾向にある。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。

(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

地区別の重要度について平均を上回っていることから、生涯学習について興味のある方が多いということが分かる。今後も既存事業にとらわれることなく市民ニーズを捉えた事業を開催し、市民満足度の向上を目指したい。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

- ・他行政センターの市民教室開催状況を聞き取りし、人気のある教室や開催回数などについて収集を行い当課において反映させ、新規教室の開催を実施した。
- ・また、尾島地区振興課の特色として児童向けの市民教室の開催を行った。
- ・市民教室等の開催場所については、尾島・世良田生涯学習センター両施設を有効活用し、地域の偏りの解消を図った。
- ・生涯学習事業については、地域の活動支援及び文化活動（講演会・館外学習）の一助を担った。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

- ・市民教室や生涯学習事業などでは既存事業にとらわれず市民ニーズの把握に努め、市民の興味ある新規事業を企画する。
- ・また、生涯学習事業を通して地域の活動を支援していく。
- ・市民教室等の開催については、尾島・世良田生涯学習センター両施設を有効活用し尾島地区の生涯学習の推進を図っていく。
- ・また、尾島地区振興課の特色として児童及び働く世代の受講できる講座を企画・開催し市民満足度の向上を図っていく。

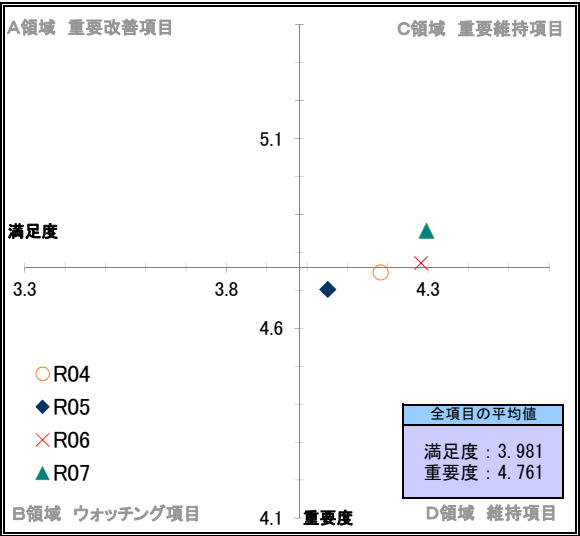
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月3日
課名	尾島地区振興課②
所属長氏名	加山 誠

総合計画 基本構想	施策分野	行政経営
	施策方針	-

設 問	問21	証明・届出業務のサービス向上について				
設 問 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	4.182	4.052	4.282	4.296	↓ ↑ ↑
	重要度	4.747	4.702	4.772	4.857	↓ ↑ ↑
市民認識		C領域		重要維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。
(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

市民の身近な市役所として、各種証明の交付や届出等を正確かつ迅速に対応できるよう、職員一丸となってサービス向上に努めている。また、当課では福祉関係の業務も一部取扱い、幅広い手続きに対応しているため、職場研修を実施して共通認識を持って業務のレベル向上を図っている。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。
(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

・市民の方が行政センターに求めるものは、必要な書類を待ち時間なく発行してもらえる身近で便利な市役所であると認識することができた。
・現在行政センターの窓口業務が広域に渡り、市民の方が行政センターの窓口で取得できる書類の周知が図れていないと感じる。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

・尾島・世良田行政センターが統合し、5年経過したが旧行政センターへ足を運んでしまう市民が多かったため、行政センターだより、HPなどで周知を図った。
・尾島地区振興課では市民の身近な市役所として、迅速・丁寧で間違いの無い業務を行うため、職場研修を複数回開催し職員の業務知識と能力の向上を図った。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

・地域の方に、当課（行政センター）で対応できる窓口業務を知っていただき、身近で便利な市役所であることを尾島だより、HPなどで周知を図る。
・職場研修を継続的に実施し、課の事業目標である「親切・丁寧・正確」を実践していく。

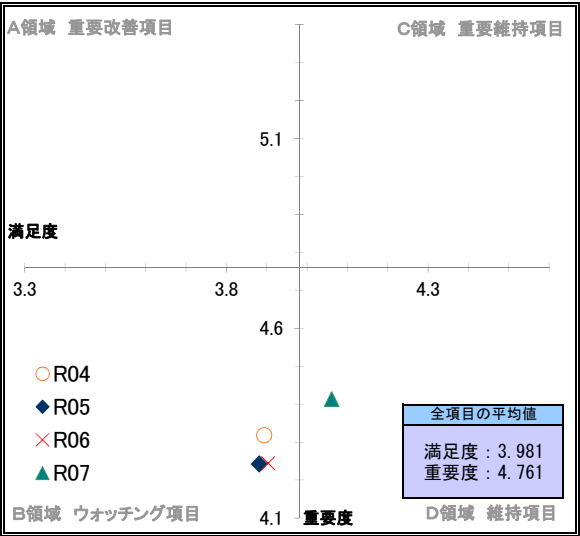
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月24日
課名	木崎地区振興課①
所属長氏名	長谷川和広

総合計画 基本構想	施策分野	生涯学習
	施策方針	生涯学習機会の充実

設 問		問20 生涯学習の推進について				
設 問 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	3.894	3.881	3.904	4.061	↓ ↑ ↑
	重要度	4.318	4.243	4.245	4.413	↓ ↑ ↑
市民認識		D領域		維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。
(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

地域の方に気軽に参加いただけるよう様々な事業を実施しました。
生涯学習推進事業では、役員が主体となり「木崎郷土かるた史跡巡りウォーク事前学習会」・「木崎郷土かるた史跡巡りウォーク」・「工場見学」・「グラウンドゴルフ大会」・「館外研修」の5件の事業を実施し、延べ313名の方に参加いただき、地域における生涯学習の推進に寄与しました。
また、市民教室では、人気のある料理教室や体操教室を継続開催し、令和6年度は体験型として蠟燭入門・ウクレレ教室などの教室を開催しました。
各事業の実施後にはアンケート調査を実施し、アンケート結果を踏まえた魅力ある企画となるよう努めています。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。
(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

市民ニーズを的確に捉えた教室の開催や、多くの事業が平日日中の開催のため、希望しても参加できない方もおり、事業内容に即した機会の提供も必要になっています。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

多様なニーズがあることを踏まえ、これまで実施したことのない市民教室を開催し、新たな参加者を募りました。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

市民教室開催について期待する意見を多数いただきました。引き続き市民ニーズを捉えた教室の開催に努めてまいります。

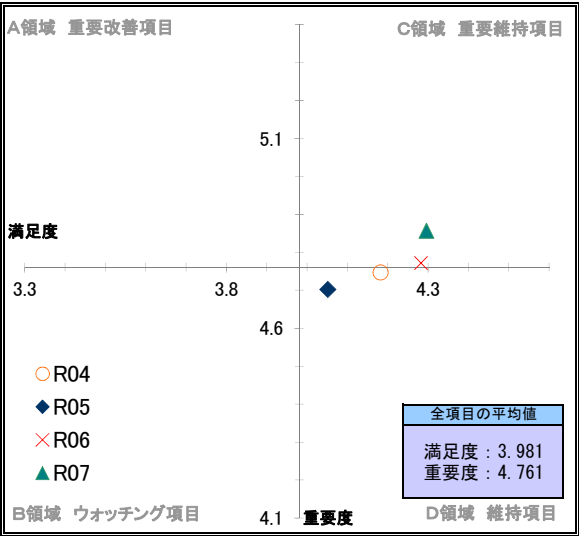
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月24日
課名	木崎地区振興課②
所属長氏名	長谷川和広

総合計画 基本構想	施策分野	行政経営
	施策方針	-

設 問	問21	証明・届出業務のサービス向上について				
設 問 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	4.182	4.052	4.282	4.296	↓ ↑ ↑
	重要度	4.747	4.702	4.772	4.857	↓ ↑ ↑
市民認識		C領域		重要維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。
(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

来庁者の要望を的確に把握し、丁寧な説明と迅速なサービスを提供するよう努めました。
市民課業務や税関係、福祉関係業務と多岐にわたる業務を扱っており、発行ミス防止のためダブルチェックを実施しています。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。
(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

木崎地区の満足度及び重要度は太田市全体の平均値より高い水準となっています。
更なる市民満足度向上のため、市民目線の対応を心掛ける必要があります。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

アンケート結果の水平展開を行い、様々な意見を念頭に置き業務にあたりました。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

丁寧な応対と迅速かつ正確な事務処理を行うため、職場研修等を通じ職員の力量向上を図ります。

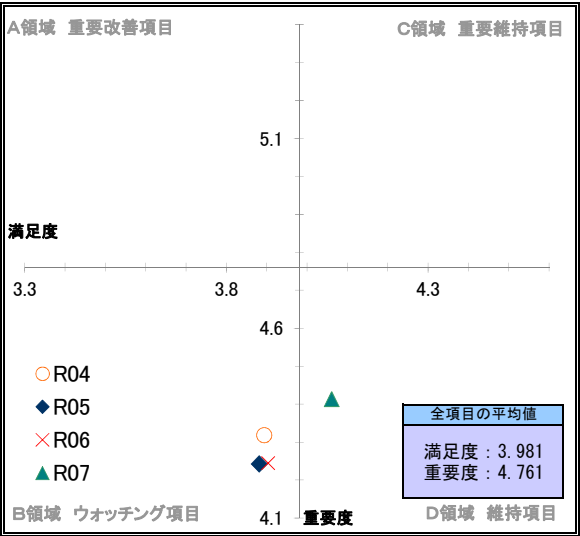
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月30日
課名	生品地区振興課①
所属長氏名	萩本 佳久

総合計画 基本構想	施策分野	生涯学習
	施策方針	生涯学習機会の充実

設問	問20	生涯学習の推進について				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	3.894	3.881	3.904	4.061	↓↑↑
	重要度	4.318	4.243	4.245	4.413	↓↑↑
市民認識		D領域		維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。
(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

生涯学習の推進について、生品行政センターでは、地域住民や各種団体、サークルへの貸館や市民教室や生涯学習推進事業を実施し、地域住民に対しての生涯学習活動の推進に努めている。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。
(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

市民教室などの充実への意見が比較的多いことから、市民ニーズを把握し、より魅力ある事業の提供を図る必要がある。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

市民教室等のアンケート結果を踏まえ、事業の提供を行っている。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

より魅力ある事業の提供することで、より多くの市民に参加してもらい、生涯学習の推進に努めたい。

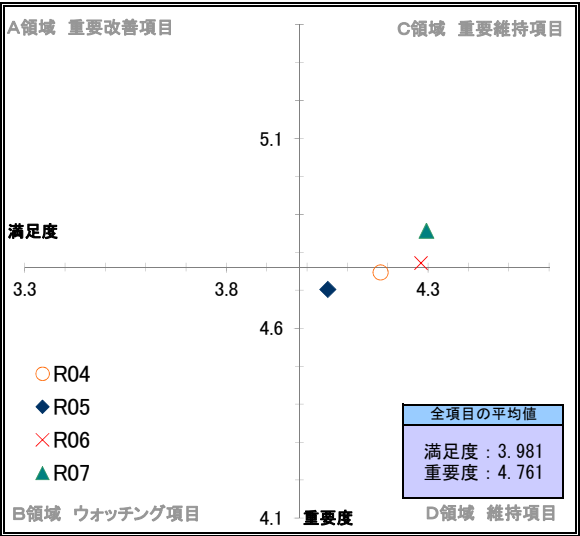
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月30日
課名	生品地区振興課②
所属長氏名	萩本 佳久

総合計画 基本構想	施策分野	行政経営
	施策方針	—

設 問	問21	証明・届出業務のサービス向上について				
設 問 果		R04	R05	R06	R07	4カ年推移
	満足度	4.182	4.052	4.282	4.296	↓ ↑ ↑
	重要度	4.747	4.702	4.772	4.857	↓ ↑ ↑
市民認識		C領域		重要維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。
(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

生品行政センターでは、市役所連絡所として、市民課、税関係及び福祉関係の窓口業務を取り扱っており、地域住民のサービス向上に努めている。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。
(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

窓口業務が多岐にわたることから、より良いサービスの提供を行うため、職員のスキルアップに努めたい。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

職員個々のスキルアップを図り、協力体制により、市民サービスの提供に努めている。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

来場者に対し、親切丁寧な対応と正確な事務処理を心掛ける。

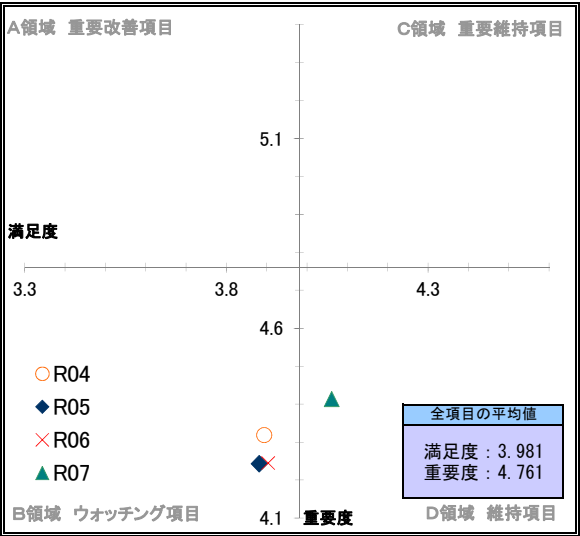
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月24日
課名	綿打地区振興課①
所属長氏名	参事 木部 憲二

総合計画 基本構想	施策分野	生涯学習
	施策方針	生涯学習機会の充実

設 問	問20	生涯学習の推進について				
設 問 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	3.894	3.881	3.904	4.061	↓ ↑ ↑
	重要度	4.318	4.243	4.245	4.413	↓ ↑ ↑
市民認識		D領域		維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。
(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

下記の事業を展開しながら生涯学習の推進につながるよう事業を実施している。
・貸館業務：貸出2,380回 利用人数32,828人
・市民教室、成人学級、高齢者学級、生涯学習事業、：29事業
成人学級を綿打学級、高齢者学級を綿打元気塾への名称変更を行い、男性の参加できるよう機会の拡充を図っている。
また、綿打生涯推進協議会の事業の一環として「綿打ふれあいまつり」の実施を行い、活動サークルの成果発表の場となっている。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。
(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

市民教室など各学級の実施後にアンケート調査を行いながら、実施した事業の改善を図りながら内容の検討を進めている。ニーズマッチしない事業もあるものの、満足度につながる事業展開ができています。今後は、新たな市民が参加できるようなPRなど検討を進めたい。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

市民教室や各学級など実施後にアンケート調査を行い、その結果を踏まえて次回開催する事業の参考としている。過去の好評を得た講座など取り入れながら、新たな市民が参加できるよう幅広く事業を計画している。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

引き続き市民教室や学級後にアンケート調査を行いながら、幅広くいろいろな教室や事業を開催しながら市民の文化教養を深められるよう進めたい。また、女性の受講者がほとんどとなっており、男性も参加しやすいように事業展開など進めて行きたい。

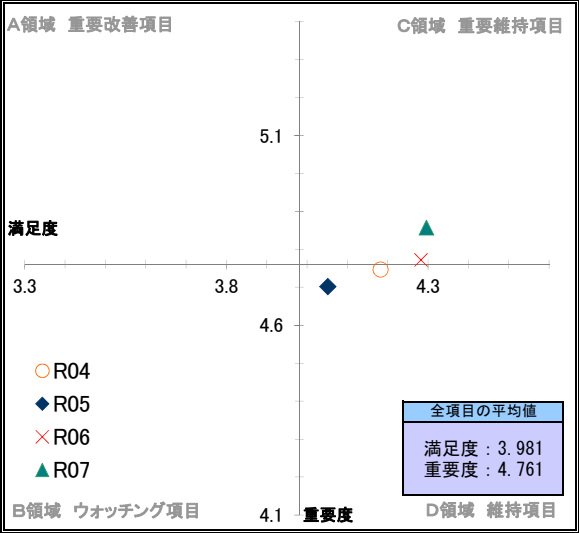
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月24日
課名	綿打地区振興課②
所属長氏名	参事 木部 憲二

総合計画 基本構想	施策分野	行政経営
	施策方針	-

設 問	問21	証明・届出業務のサービス向上について				
設 問 結 果		R04	R05	R06	R07	4カ年推移
	満足度	4.182	4.052	4.282	4.296	↓ ↑ ↑
	重要度	4.747	4.702	4.772	4.857	↓ ↑ ↑
市民認識		C領域		重要維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。
(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

親切、丁寧な窓口対応を心掛けながら、市民対応を行っております。窓口申請で来られる方は、はじめて利用される方が多くこちらから声掛けをしながら、分からない部分は説明しながら対応しております。福祉業務から市民課業務、税金の収納まで幅広く対応しているため間違いのないよう担当課と連携をとりながら業務を進めている。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。
(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

市民サービスのため幅広い窓口業務となっていることから、職員は多くの知識を持たなくてはならず負担が大きくなっているため、担当課との連携を強めながら効率的に窓口対応を図る必要がある。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

親切、丁寧な窓口対応を行っておりますが、手続きによっては待ち時間が長くなってしまう場合もあり、時間の短縮につながらない場合がほとんどとなっており、待ち時間のご案内を行っている。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

本庁舎から遠い位置にある地域であることから多くの市民が利用しています。これからも親切丁寧な窓口業務を実施しながら市民満足度向上につながるよう対応していきたい。

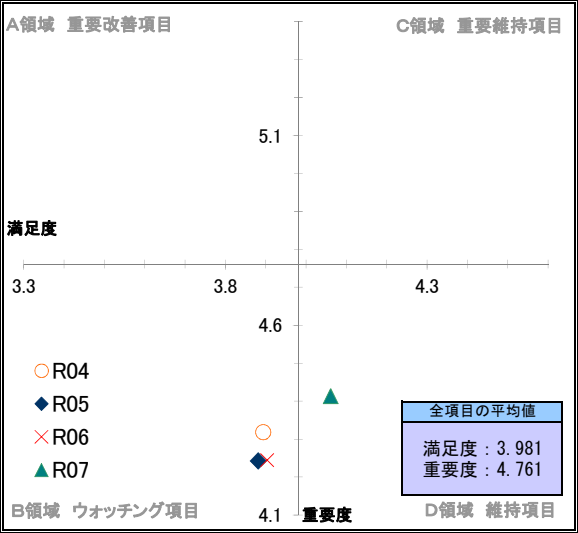
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月22日
課名	藪塚地区振興課
所属長氏名	伊藤 伸之

総合計画 基本構想	施策分野	生涯学習
	施策方針	生涯学習機会の充実

設問	問20	生涯学習の推進について				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	3.894	3.881	3.904	4.061	↓↑↑
	重要度	4.318	4.243	4.245	4.413	↓↑↑
市民認識		D領域		維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。

(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

主催事業及び市民講座は、開かれた生涯学習や社会教育活動の拠点として、地域住民をはじめ、市民及び様々な団体などに幅広く利用・活用されています。

例年、人気の高い「花の寄せ植え」「つまみ細工」等の教室を行い、健康増進のため「脳トレ体操&ストレッチ」「経絡体操でリフレッシュ」や若年者向けの「ラテンエクササイズ」などを企画しました。また、家庭教育学級や女性向けのセミナーも行ったり、音楽専門家を迎えての公開講座（コンサート）「歌っちゃおうコンサート」は、毎回参加者に好評を頂いております。

また、休み期間を利用し市内小学生を対象とした、「読書感想文・子どもクッキング教室・書初め」も好評です。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。

(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

開催講座などの参加者からのアンケート結果は、好意的なものが大部分を占めています。今後も、幅広い市民ニーズにあった生涯学習事業や社会教育活動を行っています。また、アンケート結果等で希望者の多い講座は、講師と調整をとりながら市民講座開催を企画します。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

市民が興味をひくような身近な項目・生涯学習事業や各種学級を企画をしていこうと考えます。講座参加者の反応は好評を得ていますので、より市民ニーズに合った、そして満足度の高い講座・教室等の企画を試みます。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

市民ニーズを把握した講座を継続しながら、タイムリーな講座を企画できれば良いと考えます。また、小学生の夏・冬休み中の教室開催時期を検討し、より多くの参加者が得られるような教室を開催します。

今後も市民ニーズが高く開催等が比較的容易な事業（講座・教室）の企画していきます。

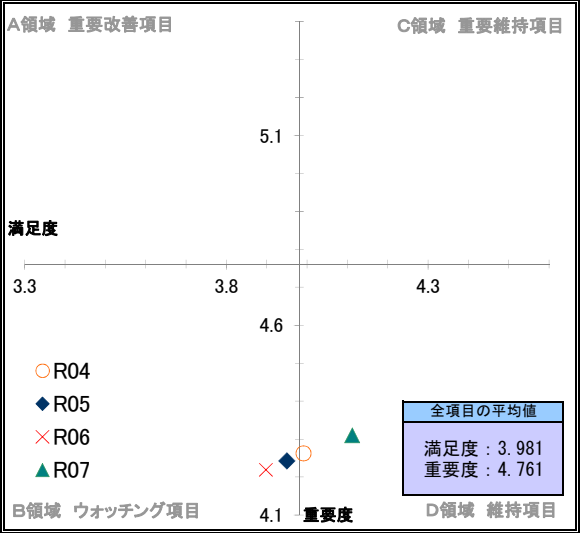
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月3日
課名	文化スポーツ総務課①
所属長氏名	守家 秀昭

総合計画 基本構想	施策分野	芸術文化
	施策方針	芸術文化活動の推進

設問	問18	芸術と文化の振興について				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	3.992	3.950	3.898	4.112	↓↓↑
	重要度	4.262	4.242	4.219	4.310	↓↓↑
市民認識		D領域		維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。
(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

本市の芸術文化振興の総務担当課として、一般財団法人太田市文化スポーツ振興財団へ各種文化振興事業等の業務委託を行うことにより多種多様な事業の開催を可能にし、幅広い市民に芸術文化に触れていただくことで芸術と文化の振興に努めています。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。
(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

満足度、重要度の数値は昨年と比較して、若干上昇しています。重要度については年齢別による傾向は見受けられませんが、満足度については30代までの年齢層において若干満足度が高い傾向にあると思われます。今後とも、一般財団法人太田市文化スポーツ振興財団と連携を強化し、あらゆる媒体を使用して事業のPRをしていくことで、市民はもとより市外、県外からもより多くの人々に本市の芸術文化事業に関心をもち参加していただきたいと考えており、本市の芸術文化を広く発信していく方法について、より一層の検討を重ねていくことが必要と感じております。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

多くの市民に事業内容を知ってもらうために、一般財団法人太田市文化スポーツ振興財団と連携し、チラシの配布やポスター掲示、広報紙掲載、ホームページ、SNS等での情報発信を行い、事業の周知活動を積極的に展開しました。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

一般財団法人太田市文化スポーツ振興財団と連携して、多くの市民が芸術文化に触れる機会を創出できるよう多種多様な事業を検討していくことです。また、事業の内容を広く周知できるようなPRの方法について、今まで以上にあらゆる媒体を通して発信できるように努めていきます。

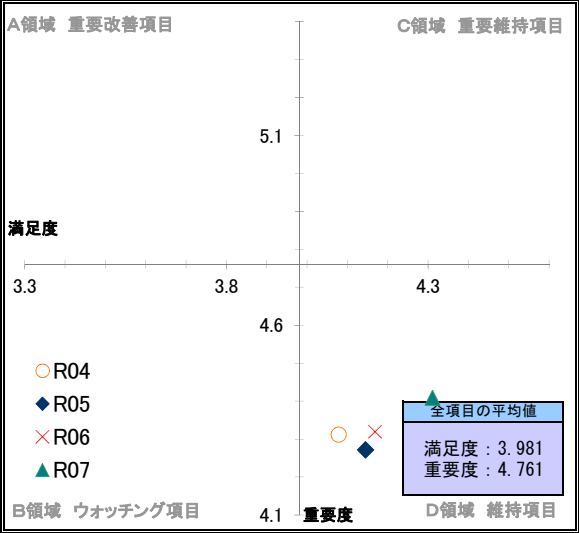
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月3日
課名	文化スポーツ総務課②
所属長氏名	守家 秀昭

総合計画 基本構想	施策分野	スポーツ
	施策方針	スポーツへの関心の持続

設問	問19	スポーツの振興について				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	4.078	4.145	4.168	4.311	↑↑↑
	重要度	4.311	4.272	4.319	4.409	↓↑↑
市民認識		D領域		維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。
(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

本市のスポーツ振興の総務担当課として、一般財団法人太田市文化スポーツ振興財団へ生涯スポーツや競技スポーツなどの各種事業の業務委託を行い、同財団と連携しスポーツの振興に努めています。昨年度は実施できませんでしたが、スポーツ振興の一環として、国際的なスポーツ大会に参加する選手団のキャンプ誘致等に取り組んでおります。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。
(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

満足度、重要度の数値は昨年に引き続き上昇傾向となっています。これは、群馬クレインサンダーズがホームタウンになりホームゲームが本市で多く実施されたこと、新アリーナが完成し利用が開始されたことに伴い市民の間に広くスポーツへの関心が高まり、自身も様々な形でスポーツイベントへ参加する機会が増えたことによるものと思われます。スポーツ事業に関して日本全体での盛り上がりを感じているなか、市民のスポーツに関する興味も高く、今後とも一般財団法人太田市文化スポーツ振興財団と連携して、本市のスポーツの振興に寄与していく必要があると考えます。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

国際スポーツキャンプの実施実現にむけ、継続的にオーストラリア女子ソフトボール代表チームと連絡を取り、令和7年度はワールドゲームズ事前キャンプとして2度の誘致に至りました。また、群馬クレインサンダーズのホームタウンにおける様々なスポーツ関連事業が契機となり、市民のスポーツに関する関心が向上しているなか、この機会を好機ととらえ、一般財団法人太田市文化スポーツ振興財団と連携し、本市のスポーツの振興を図ってまいりました。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

市民のスポーツに関する関心が、幅広くスポーツ全般において高まりを見せています。市民が様々なスポーツにふれあい、安心してスポーツを楽しめる機会を提供できるように、一般財団法人太田市文化スポーツ振興財団と連携していながら本市のスポーツの振興を図り、市民満足度の向上に努めたいと思います。

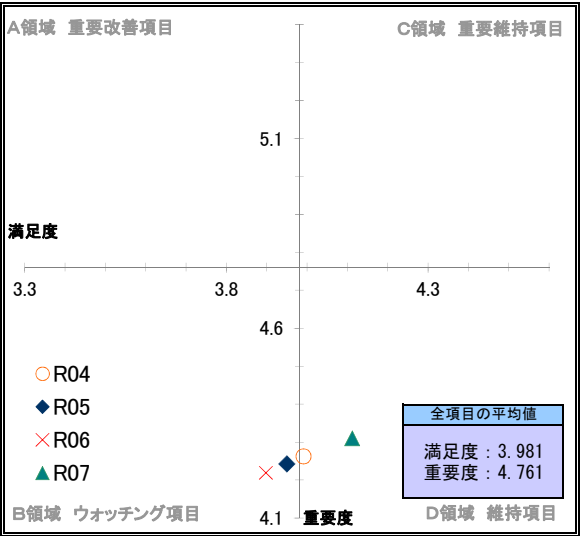
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月7日
課名	文化課
所属長氏名	天笠 裕嗣

総合計画 基本構想	施策分野	芸術文化
	施策方針	芸術文化活動の推進、芸術文化施設の運営・管理

設問	問18	芸術と文化の振興について				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	3.992	3.950	3.898	4.112	↓↓↑
	重要度	4.262	4.242	4.219	4.310	↓↓↑
市民認識		D領域		維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。

(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

文化課では、平成29年度より市民会館・新田文化会館・藪塚本町文化ホールという3つのホールを所管している。市民会館では令和3年度に新たに利用開始した市民会館広場を活用し、子供向けのイベントやジャズフェスタを開催するとともに、気軽に立ち寄れる「ラウンジピアノ音楽会」市民が100名近く参加する「市民ミュージカル」等を開催し賑わい創出に努めた。また、プロの演奏家が人の集まる場所へ出向き、普段クラシック音楽を聴かない方、聴きたくても聴きに行けない方のもとへクラシック音楽を届ける「100万人のクラシックライブ」を市内各所で開催した。その他、自主事業、共催事業の開催を通して、文化の発信地としての魅力を発揮できたと思われる。また、市民会館だけではなく、新田文化会館や藪塚本町文化ホールにおいても多数の団体に利用していただいた。市民に周知され実際に利用していただくことで、芸術文化の振興に大いに貢献していると考察する。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。

(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

前年と比較し、満足度及び重要度ともに上昇し、満足度はR07平均値を上回っている。今後も各会館の情報を詳細にPRしていくことや、多く市民へ貸し出せる機会を増やせるよう努力したい。
学校行事などで施設を使っていただくことが多く、市民に広く施設を使っていただくことができた一方、そのことで一般の方が借りられる機会が減ってしまった。もっと市民に発表の場所の提供をしてほしいという意見が寄せられているので、今後はその調整等も課題である。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

前年度のアンケートでは「若者向けのアーティストを市民会館に」「音楽や演劇などのイベント等が少ない」などの自由意見が寄せられていた。文化課では市民会館・新田文化会館・藪塚本町文化ホールの3館連携して多彩なジャンルの公演を数多く企画し、いろいろな世代の方に興味を持っていただけるよう努力した。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

今回のアンケートでは「ホールだけではなくスタジオを活用した小規模な公演など施設活用を改善した方がいい」「映画やドラマ等のロケ誘致を積極的にし、太田市の知名度や経済効果を上げてほしい」などの自由意見が寄せられている。
文化課ではR7年度からスタジオを利用したワンコインコンサートを企画・開催する。また、ドラマの撮影も積極的に受け入れており、これからも太田市の知名度アップに貢献していきたい。

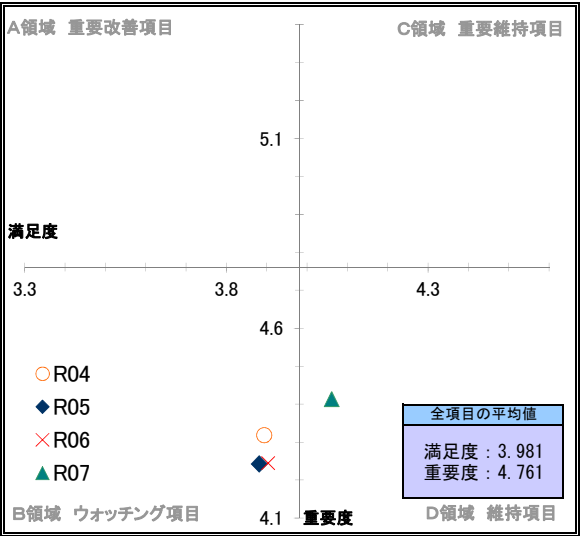
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月7日
課名	学習文化課
所属長氏名	田又 和久

総合計画 基本構想	施策分野	生涯学習
	施策方針	生涯学習施設の運営・管理

設問	問20	生涯学習の推進について				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	3.894	3.881	3.904	4.061	↓↑↑
	重要度	4.318	4.243	4.245	4.413	↓↑↑
市民認識		D領域		維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。
(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

【特色ある図書館運営】
各図書館(中央・尾島・藪塚本町)では、地域の特性を生かした特設コーナーを設置し、各館独自のイベント・本の特集コーナー・企画展示を実施している。○全館：新小学1年生向け「図書館へ行こう!」の配布、古本市、本の特集コーナー
○中央：図書館おしごと体験、「読書感想文の書き方」開催 ○尾島：利用者参加型企画展、なつやすみ読書チャレンジブック
○藪塚本町：他部署とコラボ企画の開催、アニメ上映会
【独自サービスの展開】
お年寄りや体の不自由な方等に図書を自宅まで届ける宅配サービスを実施している。
【継続した新規図書購入】
各図書館において、新規資料の蔵書の充実に努めている。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。
(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

1. 資料の内容をより豊富なものにする。
2. 学習席や閲覧席を増加し利用の充実を図る。
3. 生涯学習に対する市民の重要度は増加傾向にあり、そうした市民ニーズを捉えつつ、図書館運営を行う必要がある。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

利用者の方が自由に使えるスペースを増やすため、エントランスの椅子を増加し、廊下の空スペースに机、椅子を設置しました。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

生涯学習施設の充実に対する市民の要望があることから、利用者が快適に過ごせる施設管理や図書資料の充実を図りたい。

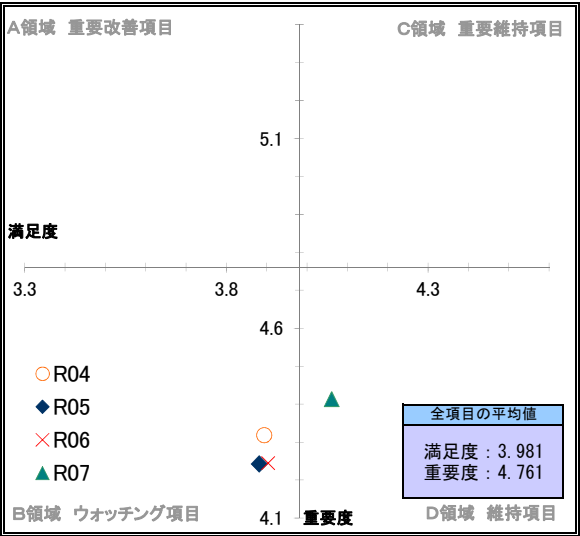
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月18日
課名	エアリスペース
所属長氏名	川田 智

総合計画 基本構想	施策分野	生涯学習
	施策方針	図書館利用の促進

設 問		生涯学習の推進について				
設 問 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	3.894	3.881	3.904	4.061	↓ ↑ ↑
	重要度	4.318	4.243	4.245	4.413	↓ ↑ ↑
市民認識		D領域		維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。
(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

新館オープンが目玉として、県内公立図書館では最多となる1万5千冊の漫画本を揃え、子どもからお年寄りまで幅広い年代の方、また、市外・県外からも多くの方に来館頂き、賑わいの創出につながっている。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。
(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

利用者のニーズにあった資料収集
利用しやすい施設の提供

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

令和6年度は対象外

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

幅広い年代の利用者にとって、居場所となるような魅力ある図書館づくり

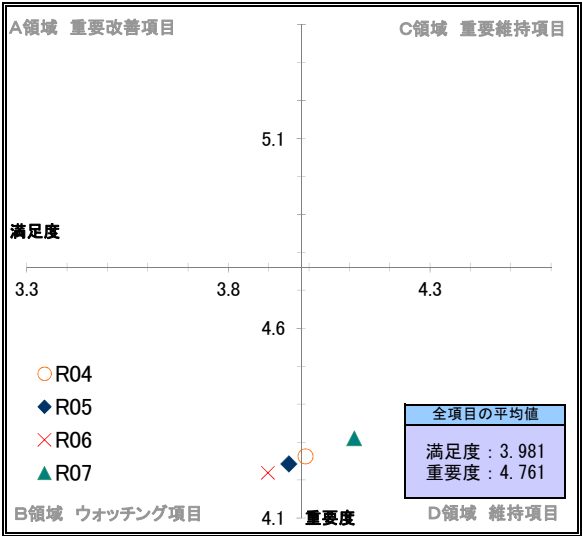
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月17日
課名	美術館・図書館
所属長氏名	富岡 久恵

総合計画 基本構想	施策分野	芸術文化
	施策方針	芸術文化施設の運営・管理

設問	問18	芸術と文化の振興について				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4カ年推移
	満足度	3.992	3.950	3.898	4.112	↓↓↑
	重要度	4.262	4.242	4.219	4.310	↓↓↑
市民認識		D領域		維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。

(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

まちに創造性と賑わいをもたらす芸術文化の拠点として、市民参加型イベントや芸術文化に親しめる機会となるワークショップの開催など、魅力ある活動を積極的に行いました。また、美術館と図書館の複合施設の特徴を生かし、「本と美術の展覧会」や「世界のバリアフリー児童書展」などの当館ならではの事業展開に努め、来館者数は昨年度を上回りました。

〈6年度事業実績〉◇美術展…(企画展3本) 観覧者5,634人
◇図書イベント…(本でつながるイベントvol.1～10) 参加者 2,122人
(おはなし会) 48回 参加者 883人
◇寄席… 12回 入場者 734人
◇映画上映会…17回 入場者 620人
〈6年度来館者数〉188,791人(月平均 15,732人) ※5年度 184,096人(月平均 15,341人)

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。

(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

全体の満足度と重要度が4カ年の推移で、一番高くなっている。年齢別満足度をみると、10歳代から40歳代は高く、50歳代以上の各年代で下がる傾向にあります。当館の図書館の特色として、2万冊を超える絵本・児童書を揃えていますので、親子を中心とした若い世代に満足度が高いことは喜ばしい点です。一方で、50歳代以上の年代層の満足度が低い傾向にある。今後は、全ての年齢層にとって魅力的な複合文化施設を目指し、図書館と美術館の特性を活かしながら、幅広い世代が楽しめる多彩な事業を展開していくことが課題と考えます。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

親子向けワークショップや美術展関連イベント、寄席、映画上映会等の好評をいただいている事業を引き続き開催しました。「あふれる、うごめく、のめりこむ。-絵本と原画とアートの空間-」では、美術館と図書館の複合施設である当館として、本と美術のかかわりをテーマとする絵本原画のオリジナル企画展を開催しました。

また、当館の取り組みや魅力を広く周知するため、SNSの活用の充実に努めました。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

- ・美術展の開催における学校連携事業の継続
- ・すべての世代が楽しめる美術展の開催
- ・複合施設の特徴を生かした事業展開
- ・情報発信手段の充実
- ・視察、見学、職場体験の積極的な受け入れ

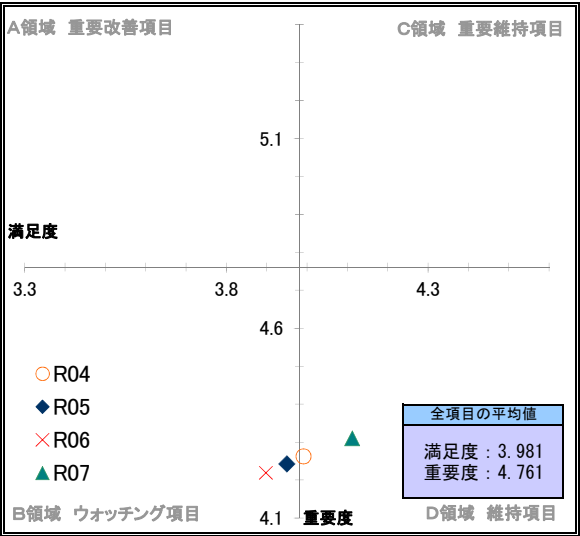
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年10月6日
課名	芸術学校担当
所属長氏名	萬年 宏之

総合計画 基本構想	施策分野	芸術文化
	施策方針	芸術文化活動の推進

設問	問18	芸術と文化の振興について				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	3.992	3.950	3.898	4.112	↓↓↑
	重要度	4.262	4.242	4.219	4.310	↓↓↑
市民認識		D領域		維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。

(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

おおた芸術学校は、平成8年度より、プロの講師による専門的な芸術教育を行っています。
本科5科（リトミック科、オーケストラ科、合唱科、演劇科、ソルフェージュ科）及び付属団体3団体（オーケストラジュネス、合唱団コールエンジェル、劇団松ぼっくり）が活動しています。
また、校外においては、市内の小学校を訪問し、オーケストラの生演奏を行う「ふれあい音楽鑑賞会」や市内幼稚園・保育園を訪問し、リトミック体験や音楽体験の機会を提供する「ポケットコンサート」を実施しています。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。

(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

おおた芸術学校の活動は、全体では満足度が上位、重要度は下位となっており、引き続き芸術と文化への関心を高めていく必要があると考えます。
今後も本市の芸術文化活動に対し、児童生徒の若年層だけでなく、保護者・祖父母世代にも関心を高めてもらえるよう、市民や関係者の意見に耳を傾け、充実した運営に努めていきたいと考えています。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

おおた芸術学校に通う児童生徒の保護者向けに、新規事業として実施した「大人のためのバイオリン教室」が好評であったことを受け、新たに「保護者のためのチェロ教室」を実施したほか、本校の活動を広く周知するための体験イベントを実施しました。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

市民ニーズだけでなく経済情勢なども考慮しながら事業を実施していくほか、イベント等に積極的に参加し本校の活動を周知していきたいと考えています。

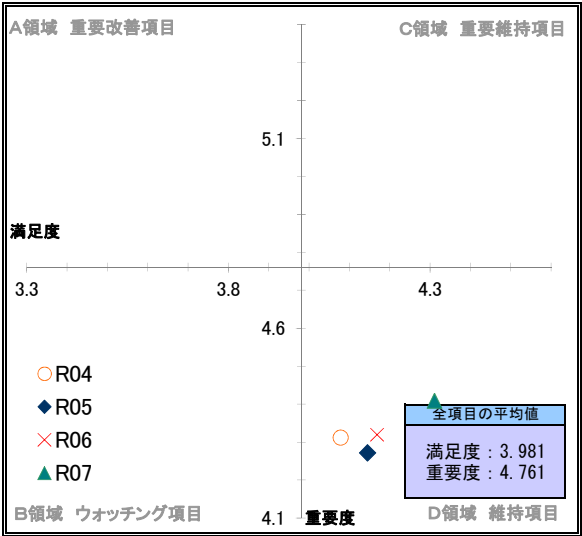
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月16日
課名	スポーツ振興課
所属長氏名	笠原 弘文

総合計画 基本構想	施策分野	スポーツ
	施策方針	スポーツを介した交流の促進

設問	問19	スポーツの振興について				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	4.078	4.145	4.168	4.311	↑↑↑
	重要度	4.311	4.272	4.319	4.409	↓↑↑
市民認識		D領域		維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。
(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

生涯スポーツの一大イベントとして、太田市スポーツ・レクリエーション祭を毎年10月に開催している。同時開催する上州太田スバルマラソンでは、距離区分を設け、合計で約3,700人のランナーが参加するなど、幅広い年齢層に対してスポーツに親しみ楽しめる事業を実施している。
太田市20周年記念事業として、太田市で初めてスローエアロビク教室を開催して、市内外から多くの参加者がありスポーツをする機会を設けることができた。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。
(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

プロバスケットボールチームと連携したまちづくりには一定の評価が得られているアンケート結果であるが、バスケットボール以外のスポーツに対する要望や、生涯スポーツやジュニアスポーツの振興を要望する意見が寄せられている。このことから、行政の支援や取り組みについて、特定のスポーツに偏ることなく実施していくことが必要とされている。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

多くのスポーツに接する機会を創出するため、プロ野球選手による野球教室、ソフトボールの公式リーグ戦の開催、スポーツ少年団の事業としてプロ女子バレーボールリーグの観戦等を実施した。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

プロバスケットボールチームのホームタウンであることを活かしつつ、スポーツへの関心を高め市民が自身にあったスタイル(する・見る・支える)でスポーツに親しめる様な事業の企画運営を実施する。

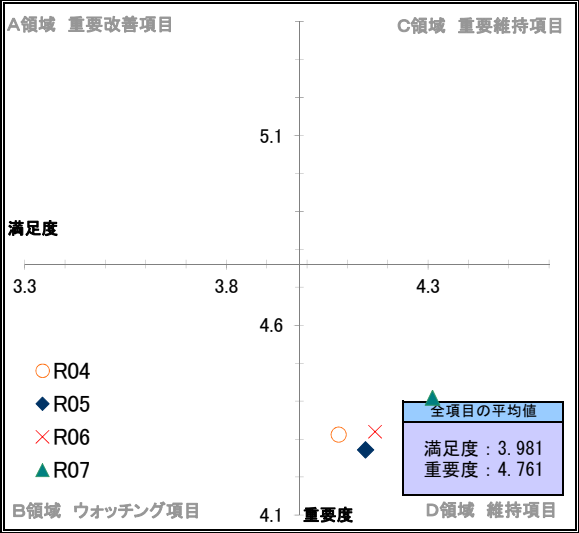
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月5日
課名	スポーツ学校担当
所属長氏名	青田 晃一

総合計画 基本構想	施策分野	スポーツ
	施策方針	ジュニアスポーツ活動の支援

設 問	問19	スポーツの振興について				
設 問 結 果		R04	R05	R06	R07	4カ年推移
	満足度	4.078	4.145	4.168	4.311	↑ ↑ ↑
	重要度	4.311	4.272	4.319	4.409	↓ ↑ ↑
市民認識		D領域		維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。

(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

- ・本市の特色の一つであるスポーツ学校では、多くの子どもたちがスポーツに親しむ場を提供できるよう関係機関と連携を強化しながら競技力向上やジュニアスポーツ人口の拡大を図っている。受講生も減少傾向にあるが体験教室やSNSなどを活用し、普及啓発活動を継続的に続けていく。
- ・卒業生では多種競技において国内外で活躍する多くのトップアスリートを輩出している。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。

(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

- ・部活動の地域移行については、主管である教育委員会と連携を図りながら子どもたちが安心してスポーツができるようにサポートしていく。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

- ・子どもたちが安心して受講できるよう関係機関や指導者と連携を図りながらジュニアスポーツの普及活動に尽力している。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

- ・スキー教室は、地域性や競技性の観点から、従来どおり協会が行うものとして捉え、協会主導で開催していただくのが適当である。

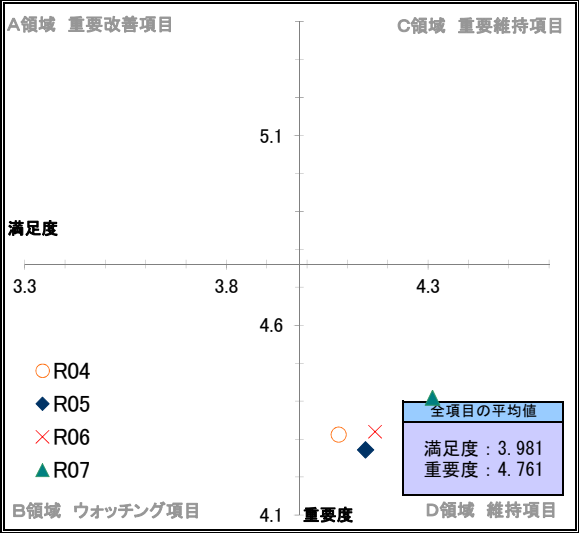
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月3日
課名	スポーツ施設管理課
所属長氏名	小此木 淳

総合計画 基本構想	施策分野	スポーツ
	施策方針	スポーツ環境の整備

設問	問19	スポーツの振興について				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	4.078	4.145	4.168	4.311	↑↑↑
	重要度	4.311	4.272	4.319	4.409	↓↑↑
市民認識		D領域		維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。
(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

国の補助金を有効に活用して弓道場の建設を行い、またスポーツ施設の照明改修工事を順次進めている。さらに今後は、プロスポーツの会場としても使われる太田市総合体育館を始めとした市内の運動施設を、指定管理者などと連携しながら有効活用を図る。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。
(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

重要度と満足度が近年共に上昇していることから、引き続き計画的に事業を遂行していくこととするが、運動公園における大規模なイベント開催時の周辺の交通状況が課題と認識している。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

体育館の空調設備設置について、実施計画に位置付けて順次整備に向けて事業を進めている。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

運動公園でのイベント開催にあたり周辺の交通渋滞などの意見が多かったことから、今後さらに誘導員の配置やシャトルバスの運行を主催者に促すほか、駐車場整備について引き続き調査・研究を進める。

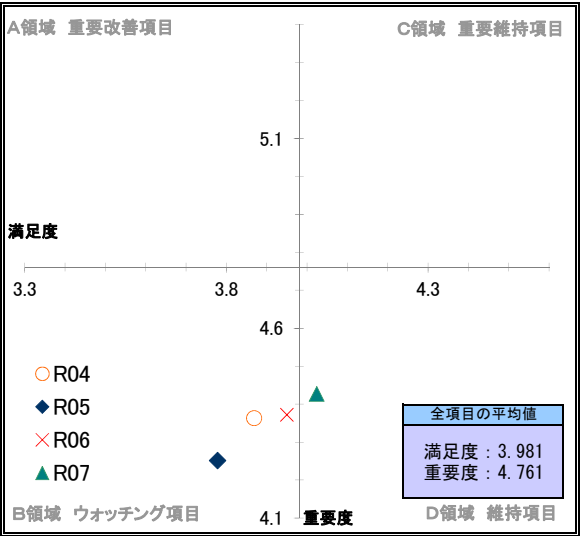
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月30日
課名	社会支援課
所属長氏名	塩原 秀一

総合計画 基本構想	施策分野	地域福祉
	施策方針	生活困窮世帯の自立支援の推進、地域福祉の推進

設 問	問22	市民参加によるまちづくりについて				
設 問 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	3.869	3.778	3.950	4.024	↓ ↑ ↑
	重要度	4.363	4.251	4.372	4.427	↓ ↑ ↑
市民認識		D領域		維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。
(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

- (民生委員)
- ・民生児童委員の活動を支援するため、民生児童委員の活動費を増額した。
 - (フードバンク事業)
 - ・市民の皆様が家庭で余っている食品を、より身近な場所で寄付することができるよう、市内郵便局4箇所と市内行政センター14か所の合わせて18か所を食品寄付受け入れ窓口として設定した。
 - ・寄付された食品は、生活困窮のため食料支援を必要としている人、連携しているこども食堂及び障がい施設等に配布した。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。
(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

- (民生委員)
- ・民生児童委員の活動を魅力あるものにすること
 - (フードバンク事業)
 - ・フードドライブ活動についての周知

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

- (民生委員)
- ・民生児童委員の活動内容を記載したリーフレットを作成し、市内世帯に回覧した。
 - (フードバンク事業)
 - ・広報おたやホームページを通して、食品の寄付を募った。
 - ・イベント会場において、フードドライブ活動を周知した。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

今後も、民生児童委員の活動支援及びフードドライブ活動の周知を実施する。

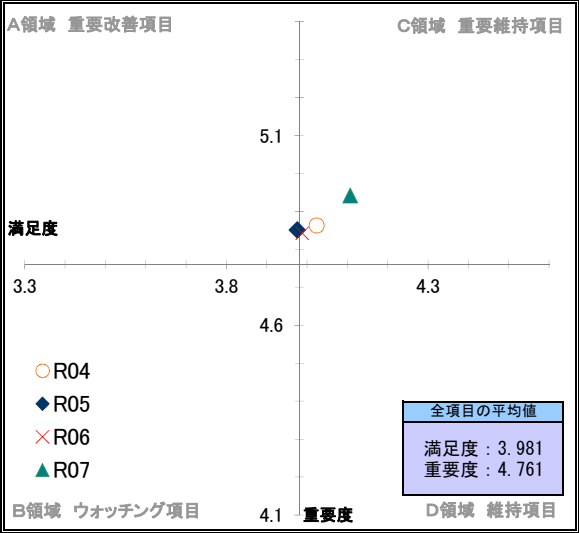
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月30日
課名	障がい福祉課
所属長氏名	近藤 敏彦

総合計画 基本構想	施策分野	障がい者福祉
	施策方針	障がい者の地域生活への移行促進、相談支援体制の充実強化

設問	問6	障がい者福祉の推進について				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4カ年推移
	満足度	4.024	3.975	3.988	4.107	↓↑↑
	重要度	4.863	4.851	4.843	4.942	↓↓↑
市民認識		C領域		重要維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。

（本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。）

障害福祉サービスは、法定サービスである自立支援給付事業とともに、障がい者のニーズに対応するため、地域生活支援事業や市単独事業にも取り組んでおり、一例として、「障がい児通所施設給食費助成金」では、令和5年度からは第1子より助成対象とし制度の拡充を図っています。

職業的自立の促進についても、社会福祉法人等と連携しながら、専門的な就労支援部会等で支援の充実に向けて検討し、障がい者が自立できる環境づくりに努めています。

「親亡き後」については、障がい者等が地域で暮らし続けることができるよう、令和元年度から「地域生活支援拠点事業」を開始し、アウトリーチの訪問を行っています。

また、障がい者の総合的な相談体制の強化については、相談支援センターを中心に積極的な支援に取り組み、いつでも速やかに障がい者の様々なサービス提供や悩みなどに寄り添った相談を受け付け、ともに問題解決を図っております。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。

（満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。）

アンケート結果では、昨年度に比べ、満足度及び重要度は、上昇しております。重要度も満足度も高い「C領域 重点維持項目」に分類されているため、特に「重要度が高い」点を認識しながら業務を遂行する必要があります。

自由意見では、障がい者の働く環境について、もっと充実させてほしいとの意見が多く寄せられています。

障がい者の雇用や就労に係る現状については、「ハローワーク」等の関係機関と連携し、状況把握に努め、併せて就労に係る支援機関である「わーくさぽーと」等、相談支援体制の充実を図ることに更なる支援強化が必要であると認識しました。

さらに、発達障がいに関する相談体制や支援のあり方について、意見を寄せられており、関係機関及び市の関係課との連携を強化し、体制の充実を図る必要性を認識いたしました。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

相談窓口（対応）や相談体制における「分かりにくさ（どこに相談したらよいか分からない）」に対して、丁寧に電話等での答えやホームページ等において市民への周知を図っております。

障害者手帳の交付に係る案内（説明文）について修正を加えるなど、これまで行ってきた窓口対応に係る事務の見直しを随時図りながら、職員への窓口対応研修を実施することで、サービス向上と周知徹底を行っておりますが、引き続き、その改善と充実に努めてまいります。

また、就労の相談に関する意見も多く見られることから、「太田市障がい者相談支援センター」「わーくさぽーと」等の相談支援機関等の周知も引き続き行ってまいります。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

市の窓口対応については、今後とも丁寧な説明に努め、時間をかけて理解を得ることを心がけていきます。

また、型とおりの説明だけでなく、相手の立場を理解したうえで、臨機応変な回答ができるように努めていきます。

そのため、積極的に接遇に関してOJTを行い、管理職は職員の特性により、指導を行っていきます。

障がい者の相談支援体制の強化を図るため、相談支援センターと情報共有を密に行い、連携を強化していきます。

障がい者の雇用に係る支援強化を図るため、職員のスキルを向上させるべく、研修の機会を捉え、積極的に学んでいきます。

「発達障がい」については、関係機関及び市の関係課との情報共有を行い、支援体制強化のために、障がい福祉課としても積極的に関わっていきます。

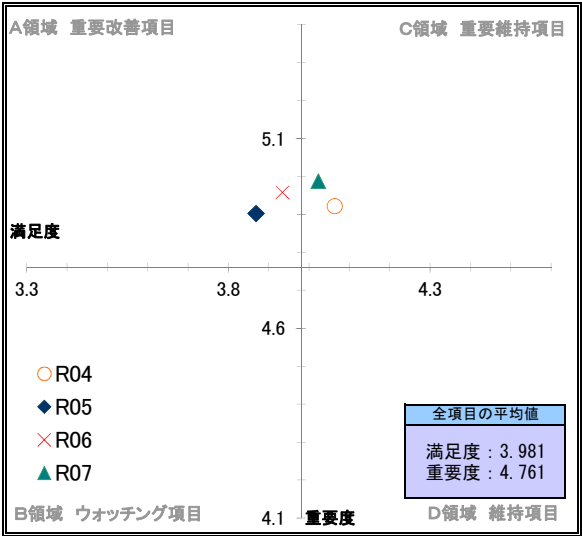
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月1日
課名	長寿あんしん課
所属長氏名	渡辺 幸雄

総合計画 基本構想	施策分野	高齢者福祉
	施策方針	高齢者福祉サービスの提供

設問	問7	介護・高齢者福祉の推進について				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	4.064	3.869	3.934	4.023	↓↑↑
	重要度	4.921	4.902	4.958	4.987	↓↑↑
市民認識		C領域		重要維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。
(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

- ・高齢者補聴器購入費助成事業
聴力低下により日常生活を営むのに支障がある在宅の高齢者に対し、補聴器購入費の一部を助成。
R6実績: 100件
- ・高齢者等特殊詐欺電話対策装置貸与事業
高齢者に対する振り込み詐欺等の特殊詐欺被害を未然に防ぐことを目的に、自動通話録音機を貸与。
R6実績: 266件 (申請者が設置: 176件、市が設置: 90件)

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。
(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

- ・満足度の平均値は4.023ポイント、重要度の平均値は4.987ポイントであり、両方とも高い数値を示している。
- ・重要度の数値は年々上昇傾向にあり、市民の高齢者福祉への関心は今後も同様の傾向が続くと想定されるため、市民ニーズに的確に対応していくことが課題であると考えられる。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

- ・高齢化社会の進展に伴い、ひとり暮らし高齢者の人数も増加傾向にあるため、R4年度より市独自で実施しているひとり暮らし高齢者調査で実態を把握し、見守りが必要な高齢者の発見と、ふれあい相談員、民生委員、おとしより見守り隊の連携による支援を行った。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

- ・満足度が前年度より上昇していることを鑑み、現在実施している事業に対して一定の評価を得られていると判断し、高齢者補聴器購入費助成事業や高齢者等特殊詐欺電話対策装置貸与事業等を継続して実施していきたい。
- ・老後の移動手段への懸念の声を多数いただいたため、当課で実施している通院支援サービスの他に、おなががい市バスやお買い物クラブ等、他課で実施している事業についても適宜把握し、市民に対して適切に事業を紹介できるように努めたい。

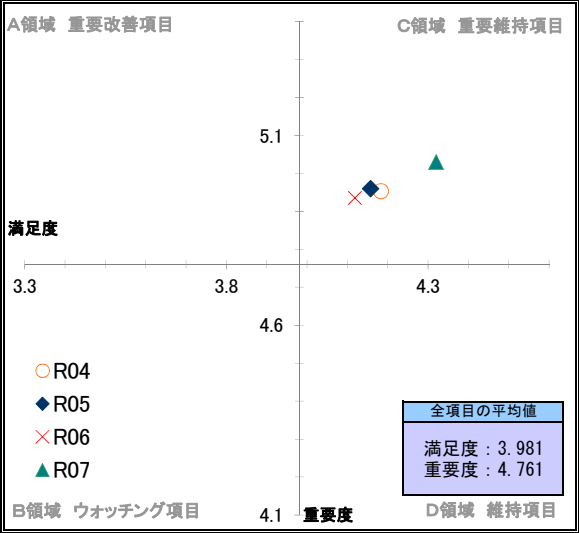
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月5日
課名	こども課
所属長氏名	武田 輝美子

総合計画 基本構想	施策分野	子ども・子育て
	施策方針	子育て支援の充実、就学前教育・保育の充実

設 問	問5	児童福祉の推進について				
設 問 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	4.183	4.157	4.118	4.320	↓↓↑
	重要度	4.953	4.960	4.935	5.030	↑↓↓
市民認識		C領域		重要維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。

（本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。）

本市は、国や他市に先駆けて様々な少子化対策事業を実施してきた。保育料を国基準や県内他市より低い水準で設定し保護者の経済的負担軽減を図るとともに、令和4年度に低所得世帯を対象とする給付事業を開始し、令和5年度からは給食費助成の対象を拡大、令和6年度はおむつ給付事業を開始するなど、毎年新規事業を展開している。また、保育士確保対策として就学資金貸付事業や奨学金返済支援事業を実施し、併せて保育施設支援策として、医療的ケア児支援や翻訳機購入等の各種補助制度の活用を推進するなど、多様なニーズに対応できる子育て環境の整備・充実に務めている。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。

（満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。）

満足度と重要度ともに上昇しており、おむつ給付事業への感謝の言葉など好意的な記述が多く見られることは、当課の施策が一定の評価を得ている結果と捉える。一方で、他市で導入の動きがある保育料の無償化や第1子からの経済的支援への意見も多く寄せられており、重要課題と捉えている。
日本全体の出生率が低下し続ける昨今において、少子化対策の重要性や緊急性について、子育て世代のみならず幅広い世代に理解してもらえるよう周知していきたい。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

子育て中の保護者のリフレッシュ、精神的不安・身体的負担軽減、出産・子育て環境整備を目的に、短時間から、また土日も利用できる新たな子ども一時預かり事業を令和7年度から開始した。また、分かりやすい情報発信のために、子育て支援に関する情報を集約したデジタルガイドブックを作成した。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

保育料無償化への声は相変わらず多く、実現に向けて検討していく。併せて、おむつ給付事業やベーシックサービスである給食費助成事業を充実させ、子育て世帯の経済的負担を着実に軽減していく。また、本市独自のサービスを含めた子育て支援事業をわかりやすく周知していくことで、子育て世帯の安心感や満足感を高めていく。

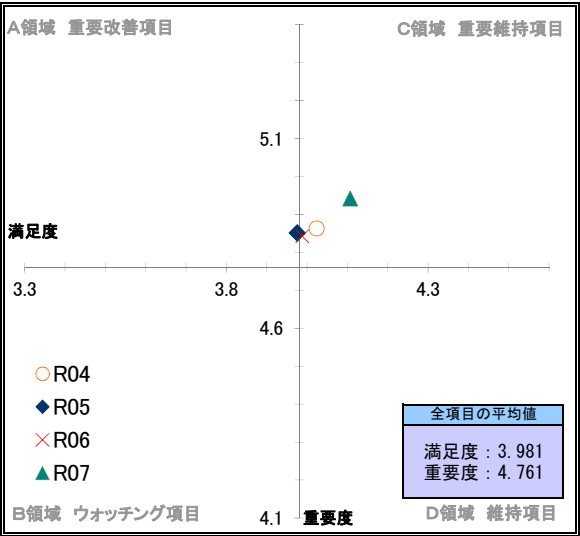
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月2日
課名	子育てそうだん課
所属長氏名	遠坂 真澄

総合計画 基本構想	施策分野	子ども・子育て
	施策方針	子育て支援の充実、母子父子福祉の推進

設 問	問6	障がい者福祉の推進について				
設 問 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	4.024	3.975	3.988	4.107	↓ ↑ ↑
	重要度	4.863	4.851	4.843	4.942	↓ ↓ ↑
市民認識		C領域		重要維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。

(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

心理士、言語聴覚士、教員、幼稚園教諭等の専門職を配置し、子どもの発達に関する相談に対応している。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。

(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

相談支援事業の周知が図られたことで認知度が上がり、相談件数は増加している。それに伴い、相談者の主訴も多様化、複雑化しているケースも増え、市単独の事業では対応しきれない事もある。
今回は満足度・重要度ともに上昇しており、必要な支援が受けられる為にも、連携可能な関係機関を増やしていきたいと考えている。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

子ども発達支援センターにじいろでは、相談の中で保護者が医療機関への受診を迷っている場合に、判断基準の1つとして活用できるよう、希望がある児童・幼児の発達検査を開始した。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

相談者の多様なニーズに応えられるよう、相談体制の強化及び機能拡充を図っていきたい。

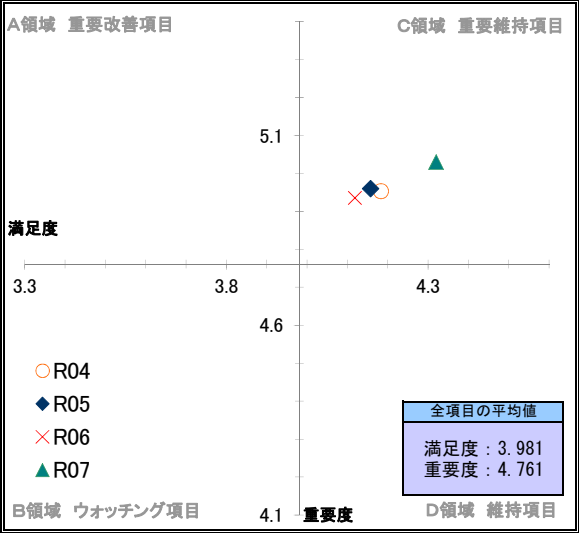
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月30日
課名	児童施設課
所属長氏名	小池 哲也

総合計画 基本構想	施策分野	子ども・子育て
	施策方針	子育て支援の充実、子どもたちの安全・安心な活動場所の確保

設問	問5	児童福祉の推進について				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4カ年推移
	満足度	4.183	4.157	4.118	4.320	↓↓↑
	重要度	4.953	4.960	4.935	5.030	↑↓↓
市民認識		C領域		重要維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。
(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

放課後児童支援では、放課後児童クラブ64クラブを委託と直営で運営している。利用児童数は3,345人。こどもプラッツは平成26年度から始まった太田市独自の事業であるが、現在小学校22校の余裕教室及び近隣市有施設を活用して実施しており、利用児童人数は1,224人である。クラブ、プラッツともに、利用児童数は年々増加しており、待機児童が長期間にわたって発生しないように努めている。児童館は直営9館、指定管理6館で運営しておりR6年度利用者延人数は217,968人と年々増加している。こども館では、絵本室や天体観測室を設け、R6年度利用延人数は12,769人とこちらも年々増加している。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。
(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

児童数は減少傾向にあるが、共働き世帯の増加により放課後児童支援のニーズは高く、場所の確保が難しくなっている。また、地域によって差があり、実情に応じた対応を求められている。児童館及びこども館を含め、必要な方に必要な支援が行き届くよう事業の充実と質の向上に努める。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

放課後児童クラブ及びこどもプラッツでは、利用希望者が特に増加している地域2ヶ所について増室を行った。また、支援員の質の向上を図るため、児童支援について専門的知識のある外部講師による講演会やスタッフ研修の開催、群馬県主催の放課後児童支援員認定資格研修の受講促進を行っていく。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

満足度の向上が継続するよう、放課後児童支援については地域の実情に合わせ、施設の拡充整備について継続して検討していく。児童館やこども館についても親子で楽しめるイベント開催を増やしていくなど、更なる満足度の向上に努めていく。

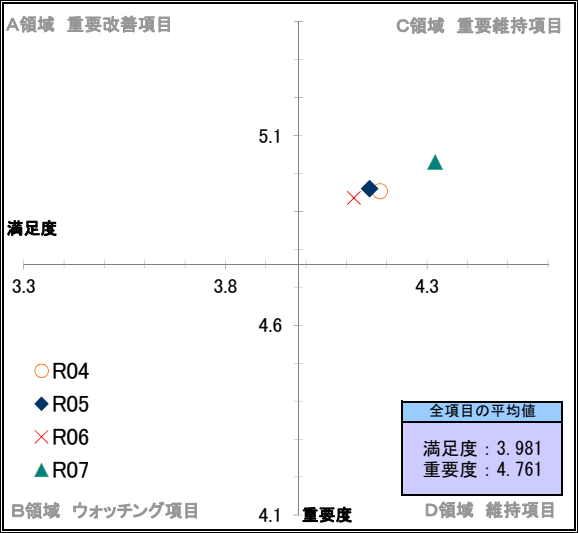
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月24日
課名	社会福祉法人監査室①
所属長氏名	伊藤 弘美

総合計画 基本構想	施策分野	地域福祉
	施策方針	地域福祉の推進

設問	問5	児童福祉の推進について				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	4.183	4.157	4.118	4.320	↓↓↑
	重要度	4.953	4.960	4.935	5.030	↑↓↓
市民認識		C領域		重要維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。

(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

社会福祉法人に対する指導監査業務については、適正な法人運営と健全な事業経営の確保を図ることを目的として、市が所轄する社会福祉法人に対し、主に社会福祉法を根拠法令として運営実態の確認を行う指導監査を実施し、法令等の基準が遵守されていない状況が確認された場合は、行政指導を行うことで改善を求めている。

実施した監査・指導の結果については、本市ホームページ上で公開し、改善が必要となった指摘事項の件数や実際の指摘事例の紹介と併せて、指摘のポイントや根拠法令等を掲載することで、法人・事業所等における自主点検資料としての情報提供を行っている。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。

(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

当課の指導監査業務が直接的に市民を対象にしたものではないことや、当課業務が直接対象としている法人（及びその法人が運営する事業所）への不満などは自由意見としてもほとんど見られないことなどから、当課として喫緊で解決すべき大きな課題はあまりないものとも考えられる。また、本アンケートの調査結果報告書にある「市民ニーズ」（＝重要度－満足度）を見ると、昨年度の0.817から今年度の0.710と減少しているが、全24問中の順位も昨年度11位から今年度17位と下がっており、市民ニーズの高まりが見える結果とはなっていない。満足度平均値そのものは例年上位に位置している（昨年度5位、今年度2位）ことから、本設問に対する市民ニーズは「更なる改善」よりは「現状の維持」を求めていると思われ、そうしたニーズに応える取り組みの一端を担っていくことは課題として捉える必要があると思われる。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

本設問分野においては、市役所の窓口で提供されるサービスだけではなく、民間法人が運営する事業所等により提供されるサービスの割合も大きい。事業所等からのサービスは直接市民と接する形で提供されるものであるため、事業所等の運営状況や提供サービスの質の良し悪しが市民満足度に大きな影響を与える可能性は高い。当課の指導監査業務は市民に対して直接サービスを提供するものではないが、本業務によって直接市民に接する法人・事業所の適正な運営とサービスの質の向上を図ることは、利用者である市民の満足度向上につながり、市民ニーズに応えるものになると考える。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

今後も事業所等の法令遵守の徹底や運営の適正化、サービスの質の向上を図るため、庁内関係課との連携や県等関係機関からの情報収集などを密に行いつつ、指導監査の質の向上に取り組んでいきたい。

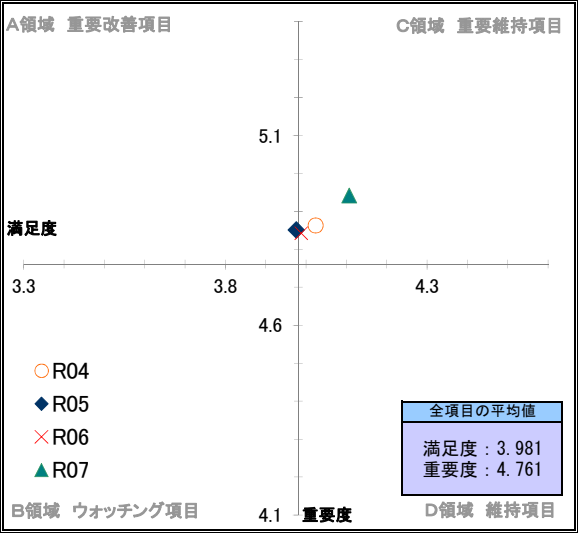
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月24日
課名	社会福祉法人監査室②
所属長氏名	伊藤 弘美

総合計画 基本構想	施策分野	地域福祉
	施策方針	地域福祉の推進

設問	問6	障がい者福祉の推進について				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	4.024	3.975	3.988	4.107	↓↑↑↑
	重要度	4.863	4.851	4.843	4.942	↓↓↓↑
市民認識		C領域		重要維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。

(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

社会福祉法人に対する指導監査業務については、適正な法人運営と健全な事業経営の確保を図ることを目的として、市が所轄する社会福祉法人に対し、主に社会福祉法を根拠法令として運営実態の確認を行う指導監査を実施し、法令等の基準が遵守されていない状況が確認された場合は、行政指導を行うことで改善を求めている。
実施した監査・指導の結果については、本市ホームページ上で公開し、改善が必要となった指摘事項の件数や実際の指摘事例の紹介と併せて、指摘のポイントや根拠法令等を掲載することで、法人・事業所等における自主点検資料としての情報提供を行っている。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。

(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

当課の指導監査業務が直接的に市民を対象にしたものではないことや、当課業務が直接対象としている法人（及びその法人が運営する事業所）への不満などは自由意見としてもほとんど見られないことなどから、当課として喫緊で解決すべき大きな課題はあまりないものとも考えられる。しかし、本アンケートの調査結果報告書にある「市民ニーズ」（＝重要度－満足度）を見ると、昨年度の0.855から今年度の0.835、全24問中の順位（昨年度9位、今年度12位）も微減となったが、順位は中央に位置することから、本設問分野に対する一定の市民ニーズがあることは見て取れ、そうしたニーズに応える取り組みの一端を担っていくことは課題として捉える必要はあると思われる。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

本設問分野においては、市役所の窓口で提供されるサービスだけでなく、民間法人が運営する事業所等により提供されるサービスの割合も大きい。事業所等からのサービスは直接市民と接する形で提供されるものであるため、事業所等の運営状況や提供サービスの質の良し悪しが市民満足度に大きな影響を与える可能性は高い。当課の指導監査業務は市民に対して直接サービスを提供するものではないが、本業務によって直接市民に接する法人・事業所の適正な運営とサービスの質の向上を図ることは、利用者である市民の満足度向上につながり、市民ニーズに応えるものになると考える。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

今後も事業所等の法令遵守の徹底や運営の適正化、サービスの質の向上を図るため、庁内関係課との連携や県等関係機関からの情報収集などを密に行いつつ、指導監査の質の向上に取り組んでいきたい。

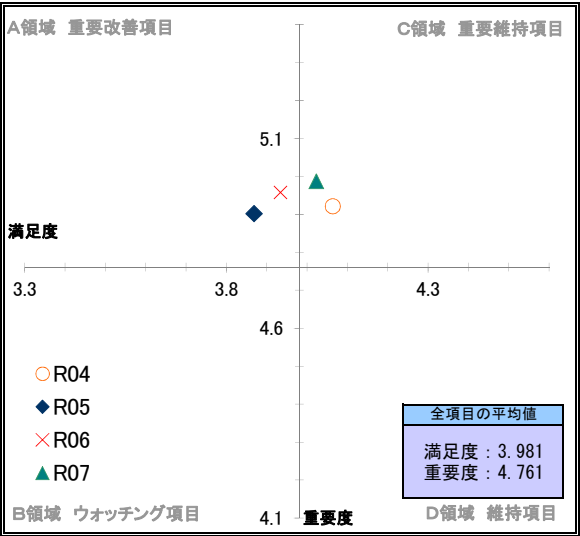
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月24日
課名	社会福祉法人監査室③
所属長氏名	伊藤 弘美

総合計画 基本構想	施策分野	地域福祉
	施策方針	地域福祉の推進

設問	問7	介護・高齢者福祉の推進について				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	4.064	3.869	3.934	4.023	↓↑↑
	重要度	4.921	4.902	4.958	4.987	↓↑↑
市民認識		C領域		重要維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。
(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

社会福祉法人に対する指導監査業務については、適正な法人運営と健全な事業経営の確保を図ることを目的として、市が所轄する社会福祉法人に対し、主に社会福祉法を根拠法令として運営実態の確認を行う指導監査を実施し、法令等の基準が遵守されていない状況が確認された場合は、行政指導を行うことで改善を求めている。
介護サービス事業者に対する運営指導業務についても、指導対象が市が指定権者である指定地域密着型（介護予防）サービス事業者及び指定居宅介護支援事業者であること、主となる根拠法令が介護保険法であることなどの違いはあるが、形式としてはほぼ同様の形で実施している。
実施した監査・指導の結果については、本市ホームページ上で公開し、改善が必要となった指摘事項の件数や実際の指摘事例の紹介と併せて、指摘のポイントや根拠法令等を掲載することで、法人・事業所等における自主点検資料としての情報提供を行っている。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。
(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

当課の指導監査業務が直接的に市民を対象にしたものではないことや、当課業務が直接対象としている法人や介護サービス事業所への不満などは自由意見としてもほとんど見られないことなどから、当課として喫緊で解決すべき大きな課題はあまりないものとも考えられる。しかし、本アンケートの調査結果報告書にある「市民ニーズ」（＝重要度－満足度）を見ると、昨年度の1.024から今年度の0.964と微減したが、全24問中の順位は引き続き上位である（昨年度2位、今年度6位）ことから、本設問分野に対する市民ニーズは高いと見て取れ、そうしたニーズに応える取り組みの一端を担っていくことは課題として捉える必要はあると思われる。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

本設問分野においては、市役所の窓口で提供されるサービスだけではなく、民間法人が運営する事業所等により提供されるサービスの割合も大きい。事業所等からのサービスは直接市民と接する形で提供されるものであるため、事業所等の運営状況や提供サービスの質の良し悪しが市民満足度に大きな影響を与える可能性は高い。当課の指導監査業務は市民に対して直接サービスを提供する形のものではないが、本業務によって直接市民に接する法人（及びその法人が運営する事業所）の適正な運営とサービスの質の向上を図ることは、サービス利用者の満足度向上につながり、市民ニーズに応えるものになると考える。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

今後も事業所等の法令遵守の徹底や運営の適正化、サービスの質の向上を図るため、庁内関係課との連携や県等関係機関からの情報収集などを密に行いつつ、指導監査の質の向上に取り組んでいきたい。

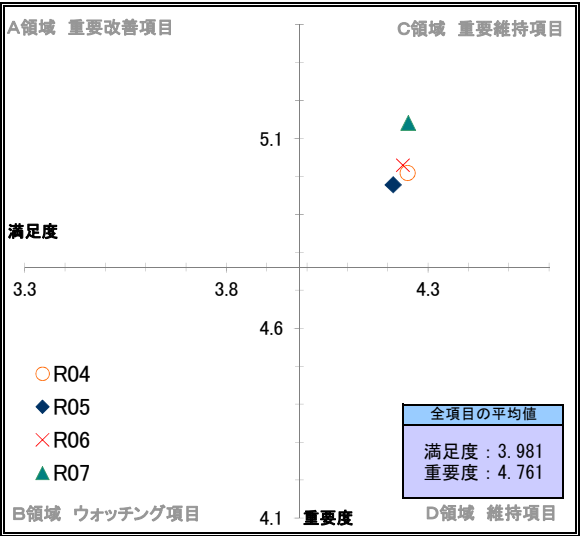
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月26日
課名	健康づくり課
所属長氏名	川田 聡美

総合計画 基本構想	施策分野	健康・医療
	施策方針	生涯を通じた健康づくりの支援、緊急医療体制の充実強化

設問	問8	健康増進と医療費補助について				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	4.249	4.214	4.238	4.251	↓↑↑
	重要度	5.009	4.978	5.029	5.141	↓↑↑
市民認識		C領域		重要維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。

(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

- ・太田市医師会を始め、6つの救急病院や太田市健診センターと連携を図りながら、休日及び夜間における救急患者の受入体制を整えているほか、太田記念病院におけるドクターカーの運用など、市民が安心して暮らせるよう救急医療体制の維持を図っている。
- ・受験生（中学3年生・高校3年生相当年齢）を対象としたインフルエンザの予防接種への助成を独自に実施している。
- ・带状疱疹ワクチン予防接種費用の一部助成を実施している。
- ・がん検診等の対象者全員に受診券を個別郵送、がん検診受診推進企画や企業との連携による普及啓発、けんしん未受診者への受診再勧奨ハガキ郵送など受診率向上対策を実施。また、受診しやすい環境づくりとして、LINE集団けんしん申込、子宮頸がんと乳がん検診同時実施、乳がんタ方検診と日曜検診、子宮頸がん検診託児実施などに取り組んでいる。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。

(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

- ・救急医療体制の充実、重要度が高く、引き続き市民が安心して暮らせるよう救急医療体制の維持が必要である。
- ・市民の健康増進に対する重要度、満足度とも上昇しているが、勧奨しても受診行動に繋がらないなど、自らの健康に興味関心のない人がまだまだ多い可能性がある。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

- ・地域の救急医療体制の充実を図るため、ドクターカーの稼働など引き続き救急病院等の連携や財政的支援に関して積極的に取り組んだ。
- ・けんしんの受診勧奨や健康意識向上のため、様々な情報媒体（HP、LINE、広報、行政センターだより等）で健康に関する情報提供を実施した。また、がん検診キャッチコピー募集や企業と連携したグッズ作成等による普及啓発、ヘルスチェックの年齢拡大、乳がんタ方検診と日曜検診などの受診しやすい環境づくりを実施した。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

- ・救急病院へ患者が集中しないように、休日当番医制、平日夜間急病診療所等をさらに広報等で周知し、病院へ患者が集中しないように対策をとっている。
- ・周産期医療設備を持つ病院へ補助を行うことにより、周産期医療を維持できるような対策をとっている。
- ・引き続き、様々な情報媒体により市民の健康意識向上に努める。10代～30代の重要度が高いことから若年層への健康に関する対策を実施して行く必要がある。

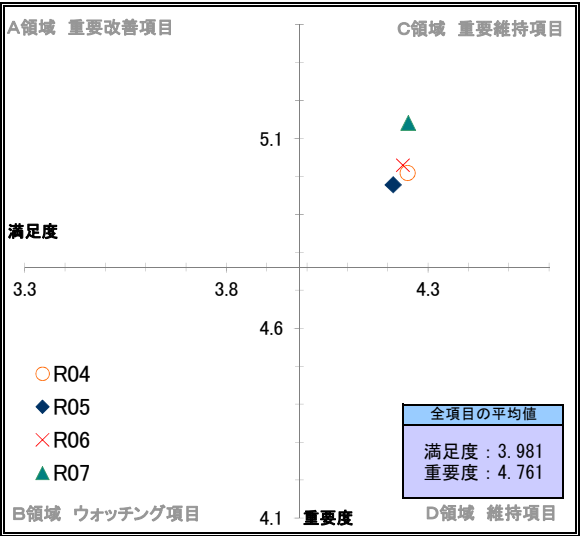
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月11日
課名	国民健康保険課
所属長氏名	山崎 弘子

総合計画 基本構想	施策分野	健康・医療
	施策方針	生涯を通じた健康づくりの支援

設 問	問8	健康増進と医療費補助について				
設 問 結 果		R04	R05	R06	R07	4カ年推移
	満足度	4.249	4.214	4.238	4.251	↓ ↑ ↑
	重要度	5.009	4.978	5.029	5.141	↓ ↑ ↑
市民認識		C領域		重要維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。

(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

令和4年度から太田市独自にて、19歳から39歳までの若年層の国民健康保険加入者の健康意識醸成など健康づくりに資するため、若年者特定検診を行っている。早い時期から健康維持増進に役立ててもらい、ひいては医療費の削減につながる事を目標にして取り組みをしている。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。

(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

・引き続きC領域に分類され、高い満足度をいただいていることがわかった。
・生品地区の満足度が高く、尾島地区の満足度が低いとの分析結果が出ている。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

受診勧奨通知の内容や方法などを工夫して、特定検診受診率が向上するよう図っている。
市独自の保険事業として、若年加入者の健康の保持増進のための機会を提供している。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

地区別の満足度を比べると、高い地区と低い地区で開きがあることがわかった。ポピュレーションアプローチ実施地区を決定する際の判断材料の一つとしたい。

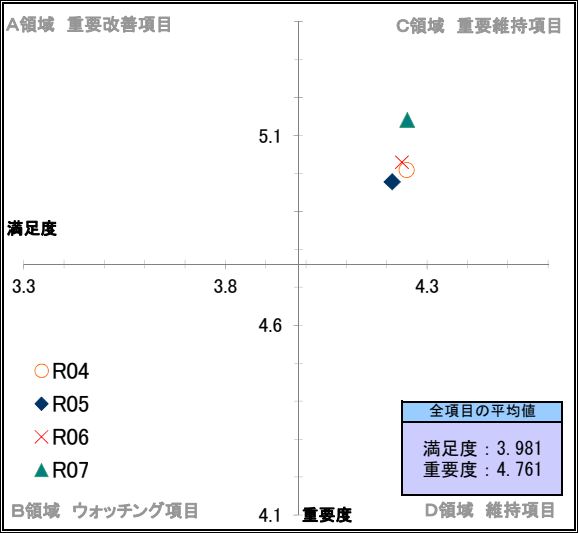
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月30日
課名	医療年金課
所属長氏名	飯塚 稔

総合計画 基本構想	施策分野	健康・医療
	施策方針	生涯を通じた健康づくりの支援

設 問	問8	健康増進と医療費補助について				
設 問 結 果		R04	R05	R06	R07	4カ年推移
	満足度	4.249	4.214	4.238	4.251	↓↑↑
	重要度	5.009	4.978	5.029	5.141	↓↑↑
市民認識		C領域		重要維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。

(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

医療年金課では、医療費助成の充実として後期高齢者への人間ドック及び特定健診の助成と、福祉医療制度の子どもの対象を令和3年度から高校生世代へ拡大して児童の健康管理の向上と保護者の経済的負担の軽減を図っています。また、医療保険の運営においては、ホームページや広報で周知し各種送付物にチラシを同封するなどわかりやすい対応に取り組んでいます。更に令和5年度からは、福祉医療及び後期高齢者医療の手続きの一部を電子申請で対応可能にし、令和6年度からは福祉医療の更新における電子申請の一部を拡大し、更に時間や場所を問わずに申請できるようになりました。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。

(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

後期高齢者の人間ドックの助成及び特定健診事業のほか、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施により、健康寿命の延伸に努めることで医療費の抑制につながるため、関係課と連携しながら取り組みます。
福祉医療制度は対象を高校生世代へ拡大することで、医療費助成による保護者の経済的負担の軽減を図られたが、福祉医療制度と他の公的医療助成制度についての正しい理解を得られるよう周知に努めます。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

ホームページの内容を全体的にリニューアルして、情報を集約して見やすいレイアウトになるよう変更しました。また、定期的に確認して新しい情報に更新し、周知したい情報は新着情報やお知らせにあげて、目にとまりやすい情報提供を実施しました。
福祉医療制度では、母子・父子家庭の更新申請において電子申請可能範囲を拡大し、より多くの対象者が市役所へ出向がなくても申請できるように工夫しました。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

後期高齢者医療制度においては、生活習慣病やフレイル予防等のためにも人間ドックの助成及び特定健診事業を継続するとともに、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施を推進し、今後も広報やホームページ等により周知を図って参ります。
福祉医療制度による医療費助成については、将来にわたって安定的に継続できるよう、適正な受診の促進や制度の内容について周知に努めていくと共に、国が推進している福祉医療受給資格等のオンライン化をはじめとした「規制改革実施計画」に基づき、県外医療機関等への福祉医療費支払い方法の現物給付化への対応等について、群馬県の主導するスケジュールに沿って進めていきたい。

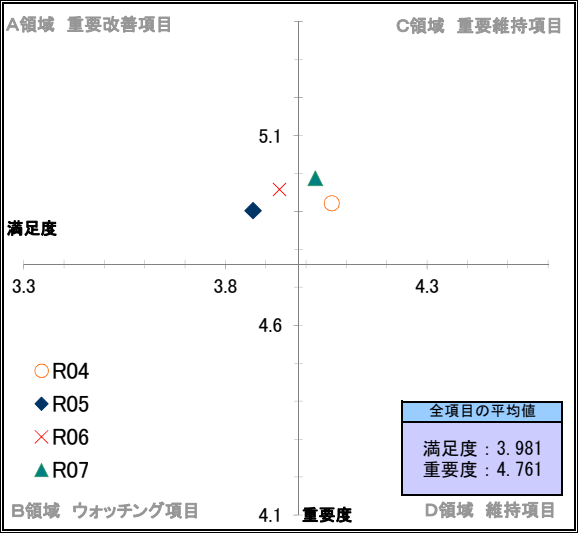
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月24日
課名	介護サービス課
所属長氏名	中島 崇行

総合計画 基本構想	施策分野	高齢者福祉
	施策方針	高齢者福祉サービスの提供、介護サービス基盤の充実、地域包括ケアの充実

設問	問7	介護・高齢者福祉の推進について				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4カ年推移
	満足度	4.064	3.869	3.934	4.023	↓↑↑
	重要度	4.921	4.902	4.958	4.987	↓↑↑
市民認識		C領域		重要維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。

(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

- ・65歳年齢到達時に送付する介護保険被保険者証に利用説明の小冊子を同封し、介護保険制度利用の周知を行っている。
- ・介護保険料普通徴収納付済通知書当初分に介護保険料のチラシを同封し、介護保険制度・保険料の周知を行っている。
- ・要支援1の方には特別給付を実施し、県内他市よりも月額利用上限を上げている。
- ・要介護認定申請時に介護サービスの利用方法の説明や地域包括支援センターの案内などを行っている。
- ・ノルディックウォーク教室の実施や介護予防自主グループの支援を行っている。
- ・認知症サポーター養成講座を開催し、本人や家族のサポート・認知症への理解促進を行っている。
- ・OTACOと連携した「太田わくわくポイント（わくポ）」を実施している。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。

(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

満足度、重要度とも平均値及び昨年度の数値を上回ったが、自由意見への記載（「（本人や家族を含む）老後の不安」「介護に係る相談窓口、相談機関へのアクセスや内容の充実」「介護施設の充実や介護に携わる職員の処遇改善」「地域包括支援センターへの期待」「申請から認定結果送付までの処理の迅速化」「介護保険料の軽減」等）からは、

- ・相談窓口や介護保険制度（介護保険料の徴収を含む）の周知・説明が不十分であること、
 - ・介護施設や職員を取り巻く環境の改善が必要であること、
 - ・地域包括支援センターの場所や機能等について周知が必要であること、
 - ・申請から認定までにかかる期間の更なる短縮が必要であること
- 等が読み取れる。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

- ・介護サービス課窓口（電話対応含む）で、介護保険制度の周知を図った。
- ・地域包括支援センターの周知と案内を行った。
- ・介護保険施設の空床や待機者数の情報を窓口で配布した。
- ・各地域包括支援センターに委託している介護予防教室の実施回数を増やした（224回⇒244回）。
- ・ノルディック・ウォーク教室の回数を増やした（12回⇒18回）
- ・「太田わくわくポイント（わくポ）」の周知・啓発を図った。
- ・介護認定に係る申請から認定までの期間短縮のための取り組み（認定調査員の増員による調査件数の引き上げ、主治医意見書に係る管理方法の見直し、新規申請における調査の割り振りを隔週実施から毎週実施へ変更）を行った。
- ・地域において、「介護保険制度の仕組みと申請に係る説明会」を開催した（尾島地区、藤久良地区等）。
- ・介護施設等に対し、物価高騰対策支援金を交付した（109施設：11,684,000円）。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

- ・介護保険制度や介護保険料に係るパンフレット（R7.4改訂版）等を利用した、制度の周知と分かりやすい説明及び関係機関へのパンフレット設置（高齢者宅等訪問時の配布を含む）。
- ・介護保険各種申請・利用方法について、親切で分かりやすい対応の励行。
- ・市民が必要としている情報（制度や窓口の周知）に係る提供媒体等の研究、制度や申請についての出張説明会の開催。
- ・介護予防教室（のびのび運動教室、ノルディック・ウォーク教室等）の実施機会の充実。
- ・「太田わくわくポイント（わくポ）」等、介護・認知症予防施策の更なる周知、啓発。
- ・要介護認定申請に係る申請から認定までの期間短縮のための更なる取り組みの実施。
- ・介護従事者の処遇改善については、地域における介護サービスの安定的な供給を確保する上で、重要な課題であることから、国や県の動向を注視しながら、適切に対応してまいりたい。

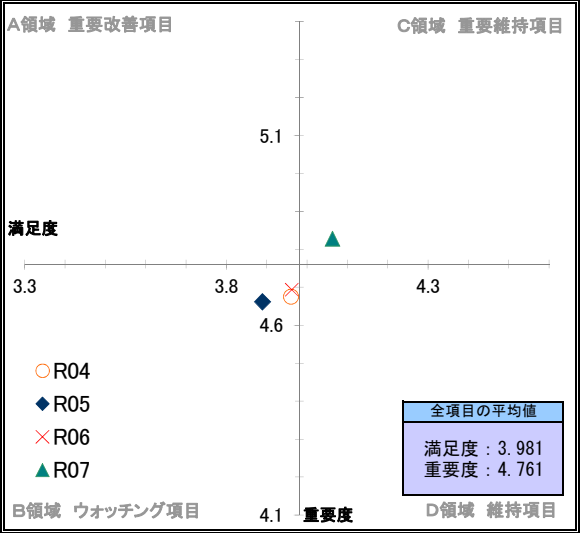
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	2025. 9. 25
課名	産業政策課①
所属長氏名	新井 慈典

総合計画 基本構想	施策分野	工業
	施策方針	企業誘致と産業支援、多様な人材が働ける環境づくり

設問	問10	工業の振興について				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	3.960	3.890	3.962	4.063	↓↑↑
	重要度	4.675	4.662	4.694	4.828	↓↑↑
市民認識		C領域		重要維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。

(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

・本市は製造品出荷額が3兆円を超えるなど、北関東一の工業都市として発展しており、市内企業との連携や補助金等による中小企業支援などに取り組んでいる。具体的には米国自動車関税対策として太田市経済戦略ネットワーク会議を開催し、関係機関との情報共有を図るとともに、中小企業支援策の周知徹底や新たな産業団地の整備に向けて事業を進めている状況である。

・女性を対象とした起業塾「おおたなでしこ未来塾」、卒業生を含めた活躍の場や繋がりを構築する場を提供するため「おおたなでしこマルシェ」、女性IT指導者養成講座等の太田市女性起業家ネットワーク支援事業を行うことにより、起業家支援の充実を図っている。また、障がい者の雇用促進等を図るため、障がい者のテレワーク雇用啓発セミナー及び特別支援学校との連携による障がい者雇用啓発セミナー、企業担当者交流会を実施し、多くの人々が働ける環境の整備に努めている。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。

(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

・今回満足度と重要度の数値が共に上昇しているが、中小企業支援が必要との意見や、米国関税・物価高騰・人手不足の問題を踏まえて、引き続き中小企業支援策の充実を図る必要があると認識している。

・アンケートの結果として、「若者、高齢者の働き場所、雇用の充実」との意見があった。また、10歳代、20歳代、30歳代での重要度が高いため、おおた子育て支援就職説明会や太田市合同企業説明会の充実を図っていきたい。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

・アンケート数値が上がっていることから、引き続き自社製品販路開拓事業助成金やぐんま技術革新チャレンジ補助金といった中小企業支援の充実を図るとともに、新規産業団地整備に伴う市内企業向けアンケート調査を実施し、産業団地進出希望がある市内企業の把握に努めた。

・多様な人材が働ける環境を作るため、障がい者の雇用を安定させる取り組みとして、企業担当者交流会を開催し、人事担当者や現場責任者が集まって、障がい者雇用に関する悩みや課題を共有し、意見交換できる場を設けた。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

・アンケート数値は上昇しているものの、米国関税・物価高騰・人手不足の問題もあることから、今後も市内企業との連携や課題に対する情報共有・意見交換、企業ニーズの分析等を行っていくとともに、関係部署と連携しながら新規産業団地の企業誘致を進めていきたい。

・今回のアンケート結果から、関係機関と連携し、企業と就労希望者を結びつける機会をつくることで、女性や若者の働く場の確保に努めるだけでなく、女性の起業家育成に積極的に取り組み、障がいの有無にかかわらず、多様な人材が働ける環境を創出できるよう取り組みたい。

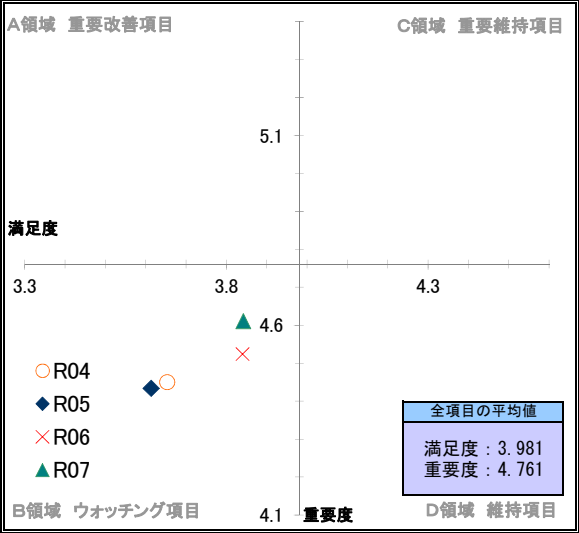
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月25日
課名	産業政策課②
所属長氏名	新井 慈典

総合計画 基本構想	施策分野	商業
	施策方針	中心市街地の活性化、魅力ある店舗づくりの推進

設問	問11	商業の振興について				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	3.654	3.614	3.840	3.842	↓↑↑
	重要度	4.450	4.434	4.524	4.611	↓↑↑
市民認識		B領域		ウォッチング項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。

(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

・地域経済の活性化対策として、商店リフォーム支援事業や空き店舗対策事業を実施した。昨年度の商店リフォーム支援事業では14,584,000円(24件)、空き店舗対策事業の空き店舗対策リフォーム支援事業補助金では5,019,000円(4件)の補助金を交付し、まちのにぎわい創出に貢献できたと思う。今年度も昨年度以上の申請を受け付けており、事業者支援事業として定着している。
・太田市デジタル金券(OTACO)では、物価高や円安の影響を受けている事業者及び生活者を支援するため、年末年始にキャンペーン事業を実施した。昨年度中は、キャンペーンも含め総額2,480,973,924円分のOTACOが市内の加盟店で利用され市内経済の活性化に貢献できた。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。

(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

・満足度及び重要度共に昨年度より数値が上回る結果となった。
・商店街の活性化につながるような個人商店に対する行政による支援の意見がある一方で、大型店や商業施設の誘致を望む意見があり、両極端に分かれる形となった。
・太田市デジタル金券(OTACO)については、ポイント上乗せキャンペーンの実施やカード利用の可能な店舗の充実を求める意見が多く見られ、市民の関心の高さを認識するとともに、今後の課題であることが認識できた。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

・商店リフォーム支援事業や空き店舗対策支援事業を実施するにあたり、申請開始日を前年度より早めることで申請者の利便性を図り、商店街の活性化やまちのにぎわい創出につながるよう取り組んだ。
・太田市、太田商工会議所、太田市新田商工会の3団体で立ち上げたおおた地域活性化推進協議会では、前年度同様に、飲食店の活性化対策として「おおたスマホD○グルメスタンプラリー」を実施した。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

・商店リフォーム支援事業、空き店舗対策支援事業による継続的な支援を実施しながら、より活用しやすい制度とすることで商店街の活性化やまちのにぎわい創出に取り組んでいく。
・太田市デジタル金券(OTACO)では、キャンペーンなど市内経済の活性化につながるような事業や利用者及び加盟店の拡大に取り組んでいく。
・市内経済活性化事業の実施に伴い、定额カードの全市民への配布に際し、OTACOの利用者が増大することが見込まれるため、カードが利用できる店舗が増えるよう、働きかけを行う。

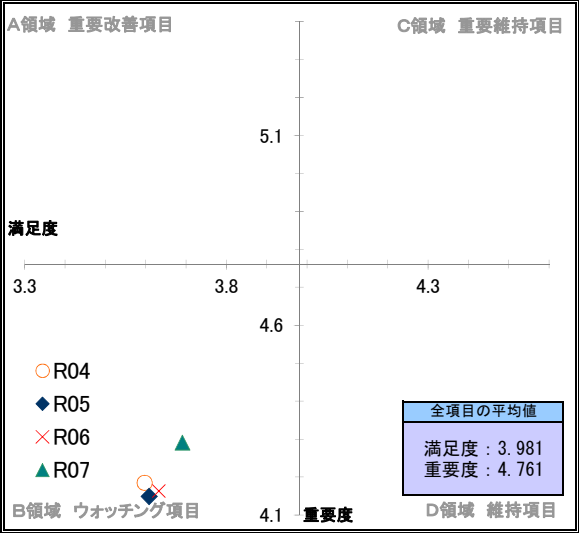
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月30日
課名	観光交流課①
所属長氏名	木部 久夫

総合計画 基本構想	施策分野	観光
	施策方針	観光資源の充実・活用、観光PR活動の強化

設 問	問12	観光事業の推進について				
設 問 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	3.598	3.609	3.633	3.691	↑↑↑
	重要度	4.185	4.149	4.163	4.291	↓↑↑
市民認識		B領域		ウォッチング項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。
(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

過去から続く数々のイベントを継承しながら、新たにサッカーJ3のザスバ群馬とタイアップし、前橋市の試合会場でねぶたまつりPRを実施したほか、太田駅構内の観光案内所ディスプレイを利用したまつりPRや観光物産協会主催の市民向け事業「おおた魅力再発見バスツアー」を年1回から年4回に拡充するなど、市内外にわたって観光PRを行いました。またねぶたまつりではまつり会場を延長・拡張し、花火大会では打ち上げ場所を変更・有料席を設けるなど、より安全に、より楽しく感じてもらえるよう提供し続け、本市の賑わいを創出してきました。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。
(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

本市が持つ観光資源をまだまだ十分に活かされていないと感じました。「おおた魅力再発見バスツアー」などの市民向けイベントをさらに拡充するとともに、今後も観光資源を管理、整備し、市民の方が太田市の魅力を知る機会を設けながら市外へもPRしていきたいと思いました。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

「おおた魅力再発見バスツアー」などの市民向けイベントをさらに拡充し、市民の方が太田市を知るための機会を数多く設けました。また、観光施設における樹木の伐採等を実施し、来場者が気持ちの良い雰囲気を感じてもらえるよう整備しました。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

大光院を中心とした金山周辺の魅力アップに力を入れ、スバルという産業資産も観光に組み入れながら新たなイベントの創設を進めていきたい。

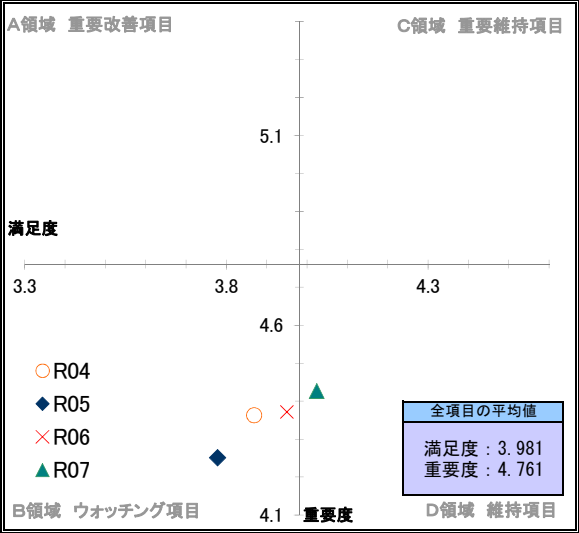
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月30日
課名	観光交流課②
所属長氏名	木部 久夫

総合計画 基本構想	施策分野	関係人口
	施策方針	国内外交流の推進

設問	問22	市民参加によるまちづくりについて				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	3.869	3.778	3.950	4.024	↓↑↑
	重要度	4.363	4.251	4.372	4.427	↓↑↑
市民認識		D領域		維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。
(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

姉妹都市の今治市、友好都市の弘前市をはじめ、太田市と交流する多くの自治体と主には職員間の行き来を通して実施するとともに、新田義貞に関係して初めて東京都東村山市、神奈川県鎌倉市、海老名市とも交流を行いました。交流先では太田市を積極的にPRし、「太田市」をより多くの方に知ってもらうとともに、これをきっかけに太田市へ来太するきっかけづくりができました。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。
(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

ねぶたまつりを通した弘前市への市民交流や群馬クレインサンダーズの活躍、オープンハウスアリーナおたでの試合効果等により、太田市との関係人口が増加した結果として、満足度、重要度がわずかばかり上昇したものと思いました。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

従来から続く交流都市に限定するのではなく、太田市とすこしでも関係のある自治体へは積極的にアプローチして、交流都市の幅を広げてきました。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

前年度に比べて重要度の率が上がっていることが読み取れます。引き続き都市交流の幅を広げていくとともに、市民レベルでの交流の機会を創出していけるよう図ります。

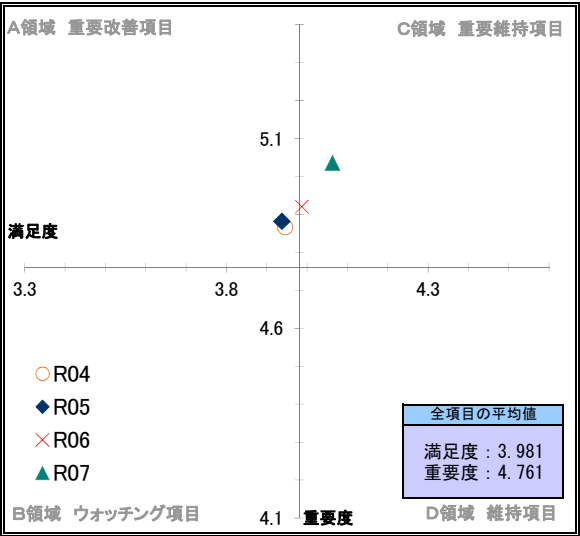
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月25日
課名	環境対策課
所属長氏名	中島 孝之

総合計画 基本構想	施策分野	エネルギー・自然環境
	施策方針	生活環境の保全

設問	問2	環境衛生の確保について				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	3.946	3.938	3.987	4.063	↓↑↑
	重要度	4.866	4.882	4.920	5.036	↑↑↑
市民認識		C領域		重要維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。

(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

- ・春と秋に市内一斉で行うクリーン作戦の実施。
- ・市内15地区に「ポイ捨て防止重点地区」を指定し、地域の清掃及びポイ捨てに関する啓発活動の実施。
- ・南一番街クリーンアップ作戦でのゴミ拾い清掃活動やポイ捨て防止キャンペーンの実施。
- ・地元区長や環境保健委員と連携した環境啓発看板の掲示。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。

(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

クリーン作戦や啓発活動の実施などを行った結果、設問に対する満足度・重要度の平均値は前年値を上まわった。アンケートの意見に対しては、クリーン作戦や飼い犬の糞尿に関することから、クリーン作戦の周知や犬の糞尿処理の啓発などを強化して行っていく。分類としては依然、満足度も重要度も高いC領域であることから、引き続き、各種の環境美化事業を推進し、C領域を維持していきたい。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

環境保健委員会正副地区長会議後にリサイクルプラザ及びクリーンプラザの視察を行い、委員へのごみの発生抑制に向けた啓発や資源化推進の必要性などを研修した。この研修を通じて、各地区の環境保健委員等への周知伝達を依頼した。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

市内一斉クリーン作戦や上記事業を継続しつつ、市民・企業と連携した環境美化運動や啓発活動を推進し、市民の健康と生活の質を維持できるよう生活環境の保全を図る。

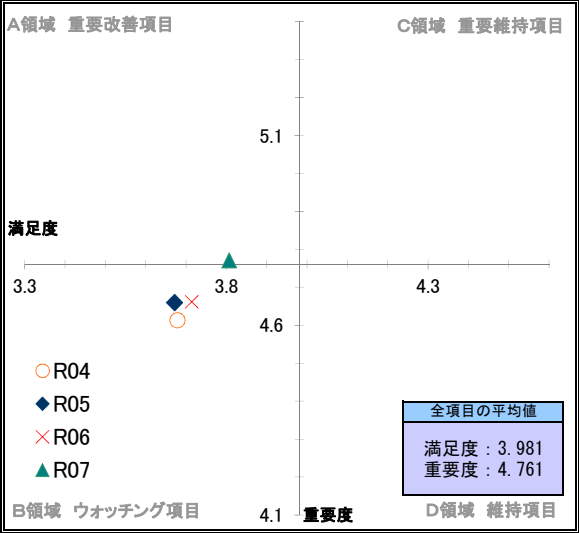
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月30日
課名	脱炭素推進室
所属長氏名	中村 浩史

総合計画 基本構想	施策分野	エネルギー・自然環境
	施策方針	脱炭素化の推進

設 問	問4	より良い生活環境づくりについて				
設 問 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	3.679	3.672	3.714	3.807	↓ ↑ ↑
	重要度	4.613	4.660	4.662	4.771	↑ ↑ ↑
市民認識		A領域		重要改善項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。
(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

- ・メガソーラーの運用（出力4.9MW）により温室効果ガスの削減に寄与した。
- ・市内2か所の電気自動車急速充電器を高出力のものへ更新し、電気自動車の普及促進を図った。
- ・太陽光発電システム、蓄電池システム、おひさまエコキュートを設置した市民を対象に住宅用再エネ機器導入報奨金を支給することで脱炭素への意識を高め、再エネ導入の促進を図った。
- ・太陽光発電システムを設置した市内事業者を対象に事業者用太陽光発電システム導入報奨金の支給し、事業者の再エネ導入の促進を図った。
- ・J-クレジット制度を活用したカーボン・オフセット都市ガスを、太田市役所、太田市民会館、エアリススペース、太田市美術館・図書館、太田市総合体育館（OPEN HOUSE ARENA OTA）に令和7年度から導入する手続きを行った。
- ・地域の電力会社である㈱おた電力と連携し、市民の卒FIT電力を活用することで、「電力の地産地消」を推進した。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。
(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

太陽光発電の導入に当たっては、防災面での安全性の確保や、景観・自然環境の保全に配慮し、地域住民への信頼を得ることが必要であると考えらる。
国や県等を通じて再生可能エネルギーの最新情報を得ると共に、脱炭素の必要性について市民・事業者が発信することが求められる。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

住宅用再エネ機器導入報奨金、事業者用太陽光発電システム導入報奨金に加え、J-クレジット制度を活用したカーボン・オフセット都市ガスの公共施設への導入を検討し、令和7年度から主要5施設に導入する手続きを行った。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

重要度も満足度も上昇傾向にあるので、個人向け及び事業者向けの再生可能エネルギー設備の設置促進を図り、市民・事業者へ脱炭素の必要性について情報発信する。

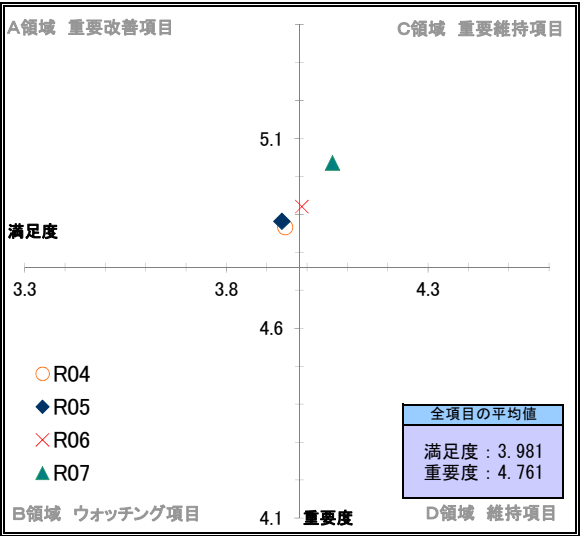
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月3日
課名	清掃事業課
所属長氏名	茂木 房士

総合計画 基本構想	施策分野	エネルギー・自然環境
	施策方針	ごみの減量・再資源化の推進

設 問	問2	環境衛生の確保について				
設 問 結 果		R04	R05	R06	R07	4カ年推移
	満足度	3.946	3.938	3.987	4.063	↓ ↑ ↑
	重要度	4.866	4.882	4.920	5.036	↑ ↑ ↑
市民認識		C領域		重要維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。
(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

本年5月より、紙資源ごみを回収するための施設「おおたストックヤード」の運用を開始した。行政センターでは回収を行っていない事業系の紙資源ごみの回収も行っており、順調に回収が進んでいる。
また、4月から、1辺が30cm未満の100%プラスチック製品の回収を、容器包装プラスチックと混載での回収をスタートし、プラスチック製品のリサイクルを進めている。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。
(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

満足度も重要度も高い領域であると考える。重要度、満足度とも上昇したが、引き続き満足度を上げていく必要がある。
自由意見(30件中)
・ごみ出しマナーが悪いことへの指摘(11件。うち外国籍の人に関する意見8件)
・ごみステーション、回収方法、回収への要望や意見(10件)
・ごみ減量に関すること(1件) ・その他(8件)
今回、ごみ出しのマナーに関する意見の中で、外国籍の人に関する意見が大幅に増えており、外国籍の人のごみ出しのマナーに関心が増えたと感じられた。ごみの減量、リサイクルの推進に関する意見については減ってきており、一定程度、取り組みが評価されているものと思われる。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

ごみの出し方の周知方法について、今年度、「情報発信伴走支援事業」により、様々な広報活動を広報課と連携しながら行っており、「市民課モニター」での情報掲載や、クイズ方式による情報発信を広報でシリーズ化するなど、様々な取り組みを行っている。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

「家庭ごみの分け方と出し方」リーフレットについて、令和8年度版から、さらに掲載できる情報量を増やせるよう、簡易的な冊子版に変更することを検討している。
また、指定ごみ袋のデザインについても、外国籍の人にも理解できるよう、ごみの出し方のイラストを使用したり、5カ国語(英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語、ベトナム語)による文字表記を進めていきたい。

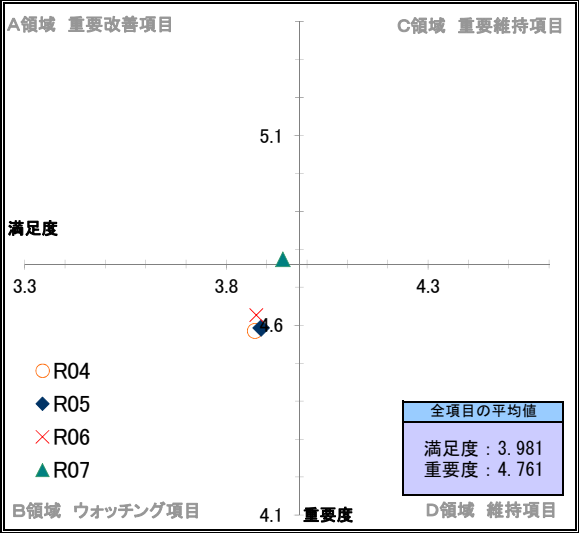
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月10日
課名	農業政策課
所属長氏名	恩田 俊久

総合計画 基本構想	施策分野	農業
	施策方針	農地の有効活用

設問	問9	農業の振興について				
設問 結果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	3.871	3.886	3.874	3.940	↑ ↓ ↑
	重要度	4.585	4.593	4.627	4.774	↑ ↑ ↑
市民認識		A領域		重要改善項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。

(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

本市の担い手への農用地利用の集積率は、群馬県全体で44.1%のところ、62.2%と高い水準である。全国有数の生産量を誇る「やまといも」や「ほうれんそう」をはじめ、「藪塚こだま西瓜」「ブリックスナイン」「モロヘイヤ」そして「上州和牛」など良質な特産農産物を数多く生産している。地産地消の取り組みとしては、道の駅おたを拠点として積極的に地場産農産物の普及促進を図り、また本市を本拠地とする群馬クレインサンダーズの公式試合会場において開催されたO T A マルシェ等において、市内外の多くの来場者に対して安全安心な太田市産農産物の販売促進を行った。太田市精米センターでは、100%市内産の安全安心な精米したての米を市内全ての小中学校に提供している。また、市内産のモロヘイヤや米を原材料とした「モロヘイヤ水団、米粉うどん」や、市内産の規格外トマトを活用した「トマトケチャップ」や「玉ねぎドレッシング」を開発して学校給食へ提供するなど、6次産業化商品開発にも積極的に取り組んでいる。有害鳥獣対策では、山林における下草刈りや竹林整備などの「生息環境管理」、有害鳥獣の侵入防止柵設置による「被害防除対策」、イノシシなどの捕獲駆除による「個体数調整」を3本柱として対策を実施している。このような対策を持続的に行うには「地域ぐるみ」の取り組みが必要であるため、被害地区による檻管理など、地域ぐるみの被害防止体制を推進している。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。

(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

耕作放棄地への対策、後継者不足、農業者への支援についての関心が高い。本市の特産農産物の魅力を市内外の幅広く多くの方に知っていただくための情報発信や良質で安全安心な地場産農産物を体感していただく機会を作る必要がある。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

農地中間管理事業の活用で、中心的担い手への集積を図った。魅力ある地場産農産物の各種メディア等を活用した情報発信や、道の駅おたを拠点とした地産地消の更なる普及促進に取り組んできた。有害鳥獣対策として、金山ほか被害地区周辺の下草刈りや、放任果樹の伐採など環境整備を行い、地域ぐるみの捕獲対策を補助した。また、防護柵設置補助の範囲を拡大し、鳥害対策にも対応した。アライグマやハクビシンなどの小型獣対策としては、捕獲檻を追加し、貸出回収等業務を業者委託することにより、小型獣捕獲に関する市民要望に迅速に対応できるよう改善した。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

地域での話し合い等により地域計画をブラッシュアップし、農地中間管理事業を利用した地域の中心的な担い手への農地集積の継続と、耕作放棄地の発生抑制に努める。地産地消の推進として、特産農畜産物のブランディングに取り組んでいく。また、道の駅おたにおいて、安全安心な地場産農産物を安定的に購入できるように地元出荷者の新規獲得と品揃えの充実を図り、市内外からの来客者に対してより一層の普及啓発に努めていく。有害鳥獣対策として、被害地区などで有害鳥獣の生態や防除・駆除に関する勉強会を開き、被害地区の自衛意識の強化を行う。また、防護柵設置補助の充実や「わな罠」免許の取得推進により、地域ぐるみの捕獲対策を実施する。アライグマなどの小型獣対策としては、捕獲檻を追加購入し、捕獲圧を高める。

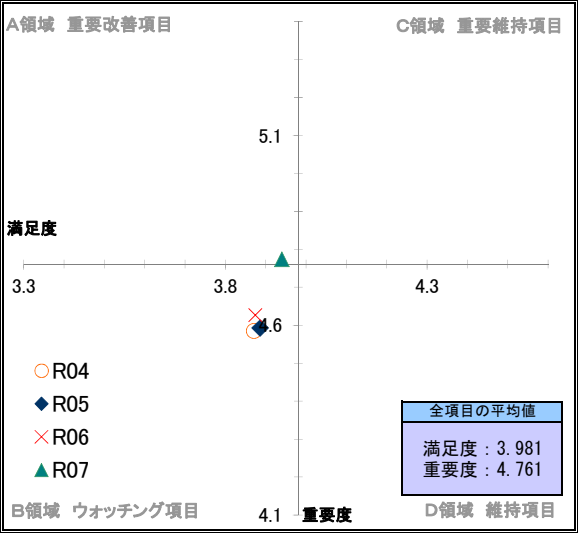
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月19日
課名	農村整備課
所属長氏名	川島 健久

総合計画 基本構想	施策分野	農業
	施策方針	農業生産基盤の整備

設問	問9	農業の振興について				
設問 結果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	3.871	3.886	3.874	3.940	↑ ↓ ↑
	重要度	4.585	4.593	4.627	4.774	↑ ↑ ↑
市民認識		A領域		重要改善項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。

(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

○農業経営の効率化及び担い手農家への農地集約を図るため、県営事業による水田地帯のほ場整備を推進しています。
○農業経営の効率化を図るため、水路築造・改修、水門等の補修を実施しています。
○近年、頻発する台風やゲリラ豪雨による溢水被害・内水氾濫対策のため、樋管樋門の定期的な点検、修繕を行い管理に努めるとともに、地元の管理者に対し操作上の勉強会等も行い、災害発生時の防災体制づくりを行っています。また、農地防災施設である遊水池や排水路を水管理システムにより適切に運転操作し地域を水害から守ることに努めています。
○地域住民協働による用水路等の農業施設の維持管理、農村地域環境の保全を支援するため、多面的機能支払交付金事業を推進しています。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。

(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

- ・農業経営者の高齢化や従事者の減少に伴う、耕作放棄地や遊休農地の増加。
- ・農業経営者を中心として行ってきた、用水路等の農業用施設の維持管理が困難になっている。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

○農業経営者等からの陳情、要望については迅速に調査を行い、緊急性が高くかつ簡易に実施できる案件については職員が即時対応し、工事が伴うものについても補助制度も活用しながら早急に対応してきました。
○県営事業による排水対策事業により、農地の湛水による作物被害を軽減するための排水路や調整池の整備を実施しています。
○多面的機能支払交付金事業を推進し、地域住民協働による用水路等の農業施設の維持管理、農村地域環境の保全を支援しました。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

○引き続き、農業経営の効率化を図るため、国・県の補助事業を活用した水路築造・改修、水門、落下防止フェンスの補修に取り組んでいきます。
○水害対策設備の強化対策として、排水機場の排水能力の増強を図るための更新工事と排水機場運転管理業務を行う地元組合員の高齢化の問題に対処するため、施設の自動化にも取り組んでいきます。
○多面的機能支払交付金事業がより多くの地区で実施できるよう周知を図っていきます。

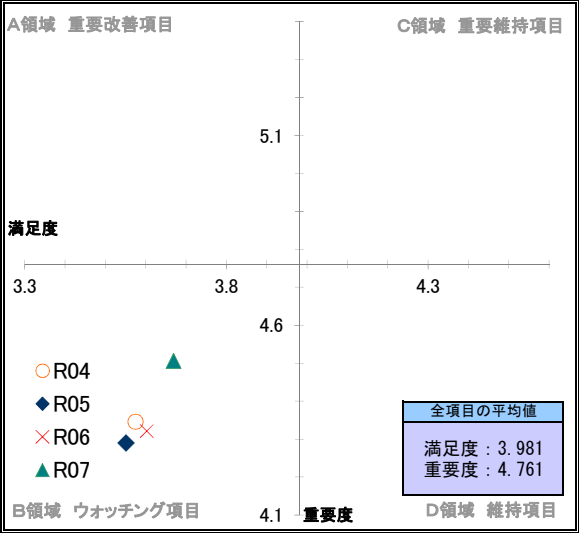
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月30日
課名	都市計画課
所属長氏名	石崎 達也

総合計画 基本構想	施策分野	土地利用 景観
	施策方針	地域の特性を活かした都市計画の推進 景観形成の推進、景観への愛着・誇りの醸成

設問	問13	都市計画の推進について				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4カ年推移
	満足度	3.575	3.551	3.602	3.669	↓↑↑
	重要度	4.346	4.290	4.321	4.506	↓↑↑
市民認識		B領域		ウォッチング項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。

(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

- ・土地利用については、太田市都市計画マスタープランに即し、工業用地の確保など本市における土地利用上の課題に対応するための都市計画変更手続きを進めました。また、多極ネットワーク型コンパクトシティの構築を目指すための立地適正化計画の改定を行いました。
- ・景観形成については、景観賞の表彰を行い、商業施設や公共施設で景観写真展や景観講演会を開催することにより市民意識高揚を図りました。また、定期的なパトロールや違反広告物への指導、景観ボランティアと連携して違反張り紙の除却を行い、屋外広告物の適正表示に努めました。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。

(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

- ・項目ごとの順位比較では昨年度に比べ満足度は1つ順位を下がり、重要度は2つ順位を上げていますが、数値的に見ると、満足度、重要度共に上昇しています。また、重要度の数値推移では1位となっており、前年度より重要と捉えられているとうかがえます。
- ・自由意見については地域特性に応じた様々な意見が出されていますが、土地利用については、都市施設や市街地開発事業と連動して検討していく必要があることから、これらに対応するためには関係部署等との密な連携が必要であると考えます。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

- ・都市計画変更などの際に周辺環境への負荷、交通渋滞、雨水排水など想定される課題に的確に対応できるよう、関係部署及び関係機関との連携を密に図りながら、土地利用計画の策定及び開発事業者への指導を行いました。
- ・景観に関するイベントの実施や違反広告物の指導を行いました。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

- ・引き続き、都市計画変更などの際には地域周辺住民などのニーズを十分把握したうえで、周辺環境への負荷、交通渋滞、雨水排水など想定される課題に的確に対応できるよう、関係部署及び関係機関との連携を密に図りながら、土地利用計画の策定及び開発事業者への指導を行います。
- ・景観については引き続き制度周知を行うとともに、啓発事業を実施し景観意識の高揚を図っていきます。また、屋外広告物の是正指導を行い、屋外広告物の適正な設置に努めます。

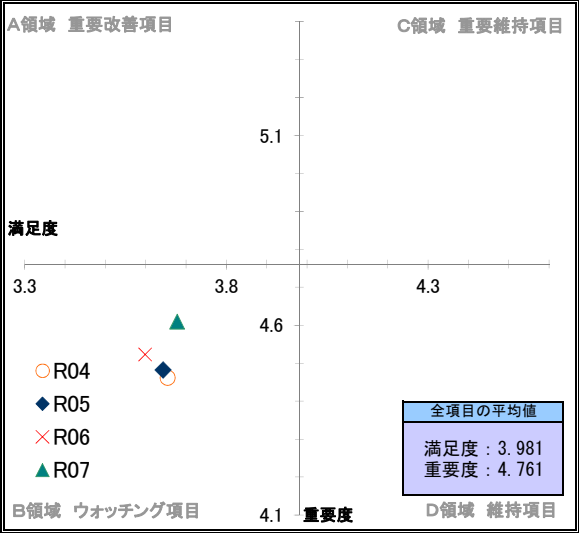
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月18日
課名	建築指導課
所属長氏名	井上 昭彦

総合計画 基本構想	施策分野	土地利用
	施策方針	建築物安全対策の推進

設問	問16	住宅対策の推進について				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4カ年推移
	満足度	3.655	3.643	3.599	3.678	↓↓↑
	重要度	4.462	4.482	4.523	4.610	↑↑↑
市民認識		B領域		ウォッチング項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。

(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

地震発生時における木造住宅の倒壊等による災害を防止するため、新耐震基準以前（昭和56年）の戸建て木造住宅に対して、耐震診断や耐震改修工事などに補助制度を実施しています。また、危険なブロック塀の除却に対する補助を実施しています。市が支援することにより、安全な住環境の整備を図り、災害に強いまちづくりを推進しています。

- 耐震診断・耐震相談：診断資格を持つ建築士を派遣
- 耐震改修工事：全部改修（費用の4/5 限度額100万円） 耐震シェルター（費用の1/2 限度額60万円）

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。

(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

満足度、重要度とも低水準ですが、重要度は年々上昇しています。大地震による倒壊等の危険性は、対象となる住宅にお住まいの方には特に重要な問題であり、対象者に直接情報を届けるために、引き続き対象者へのダイレクトメールによる周知を図ります。当課で実施している補助制度は、耐震性に危険性があると考えられる、昭和56年以前の木造住宅に限定されていますが、新耐震基準で建築された住宅への不安もあるようなので、群馬県建築士事務所協会など関連団体との連携もしていきたいと考えています。

近年地震が頻発しており問合せなどから関心の高まりを感じます。日ごろからの地震に対する備えは、災害防止と被害の軽減に繋がります。今まで以上に耐震制度の普及や啓発活動を工夫していく必要があります。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

HPの耐震に関するページを月1回程度更新するなど、最新情報の提供に努めました。

また、「太田市ブロック塀等撤去補助金交付規則」を改正し、申請者がより申請しやすくなりました。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

令和3年度から令和7年度までの5年間で計画期間として、第三期太田市耐震改修促進計画が策定され実施しています。地震に対する備えは、災害防止と被害の軽減に繋がります。耐震化の必要性を周知するため、更なる啓発活動の充実を図ります。

- ①耐震制度の普及や啓発活動を実施します。特に対象者への直接的な周知となるダイレクトメールによる周知は引き続き実施します。
- ②低コスト耐震改修工法や代理受領制度を活用することで申請者の負担の軽減が期待できるため「取組みやすい耐震改修」として制度を推進していきます。

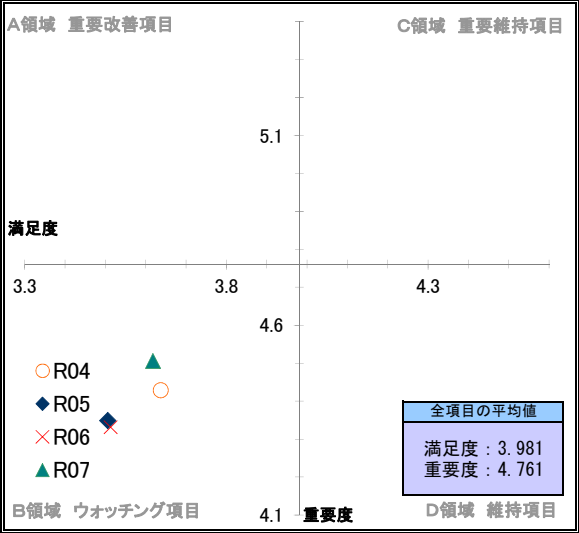
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月2日
課名	市街地整備課
所属長氏名	八木田 等

総合計画 基本構想	施策分野	土地利用
	施策方針	中心市街地の整備、周辺市街地の区画整理

設問	問15	市街地の整備について				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	3.638	3.506	3.513	3.618	↓↑↑↑
	重要度	4.429	4.349	4.331	4.506	↓↓↑↑
市民認識		B領域		ウォッチング項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。

(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

現在施行している4つの区画整理事業の進捗率は、①太田駅周辺土地区画整理事業が28.90%、②東矢島土地区画整理事業が98.84%、③宝泉南部土地区画整理事業が93.21%、④尾島東部土地区画整理事業が65.37%である。①太田駅周辺土地区画整理事業は、本町新井線の暫定供用開始。②東矢島土地区画整理事業は、換地処分(事業完了)に向けて事務処理を進める。③宝泉南部土地区画整理事業は、都市計画道路木崎尾島線のササガ橋が開通したことで利便性の向上を図った。④尾島東部土地区画整理事業は、尾島東部土地区画整理組合への技術的援助や助成金の交付を行い、事業進捗を図った。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。

(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

自由意見では「中心部だけやっても市民は喜ぶのか?」、「市長が変わったのだから北口いじめはやめて早く整備しましょう。」、「太田駅南口と北口での周辺の雰囲気がかなり違っている」等、やや否定的な意見はあるが、「太田駅周辺の開発・整備を進める必要があると思います。」、「中心市街地外へ目も向けて、都市計画などしてほしい。」、「小さなお子さんが遊べる公園を増やしてほしい。」等、期待する意見も多い。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

本町新井線の工事の実施による道路の利便性の向上とポケットパークの整備による美観の向上を行った。また、東矢島地区の事業推進のために清算係を設けた。宝泉南部地区及び尾島東部でも事業の進捗率はあがっている。地権者等の意見を交渉や調整等を通じながら傾聴し確実な事業を実施した。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

土地区画整理事業は事業進捗が緩やかであり、区域が限定されているため、効果を実感しづらい状況にあると考えられる。また、アンケートの設問の中で主な取組(中心市街地の整備(太田駅周辺土地区画整理事業)や周辺市街地の整備(各土地区画整理事業(東矢島、宝泉南部、尾島東部)))についての回答で、回収件数1,027件のうち、満足度「やや～非常に満足」回答計557件、全体の54%、回収件数1,180件のうち、重要度「やや～非常に重要」回答計971件、全体の82%となった。このことを踏まえて、太田駅周辺土地区画整理事業・東矢島土地区画整理事業では、地権者等説明会を行い、意見を取り入れていきたい。他2地区の事業については、一部の地権者等の問題を解決し事業を進めたい。

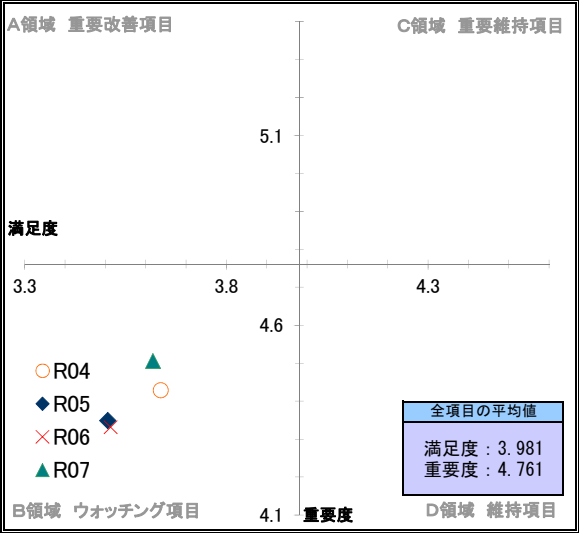
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月29日
課名	まちづくり推進課①
所属長氏名	平石 恵一

総合計画 基本構想	施策分野	土地利用
	施策方針	中心市街地の整備

設問	問15	市街地の整備について				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	3.638	3.506	3.513	3.618	↓↑↑
	重要度	4.429	4.349	4.331	4.506	↓↓↑
市民認識		B領域		ウォッチング項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。
(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

令和5年2月に本市における2ヶ所目の再開発事業である、太田市浜町第二地区市街地再開発事業の終了が認可され、複数の企業が入居し事業を行っております。また、令和5年12月に太田駅南口第三地区第一種市街地再開発事業、令和7年5月に太田駅南口第四地区第一種市街地再開発事業の施行が認可され、市の顔となる太田駅周辺の賑わいの創出に取り組んでおります。
令和7年地価公示においては、対前年変動率が4.4%と商業地として2年連続で県内1の上昇率を示しており、再開発事業の成果が出ていると思われます。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。
(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

太田駅周辺を太田市の顔としての役割があり、治安や景観の向上が期待されているため、美しい街並み形成と健全な高度利用による防災性の強化を目指して、民間活力を活かした建築物の再整備を誘導します。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

治安や景観に対する意見が多かったことから、子どもや女性が安全安心に過ごせる美しい街並み形成と昼間人口が増加するような再整備の誘導に努めてきました。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

引き続き景観・治安に関する意見が多く、美しい街並みや昼間人口の増加が期待できる再整備の誘導に努めます。また、一方で太田駅南口周辺の中心市街地に偏り過ぎているとの意見が多くあることも考慮して整備を進めていきたい。

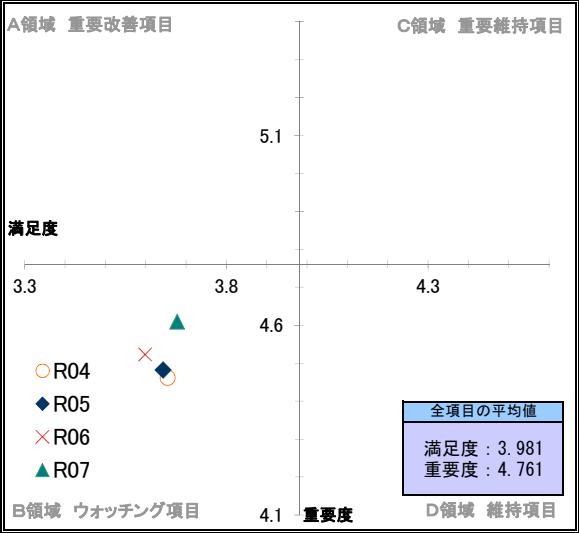
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月29日
課名	まちづくり推進課②
所属長氏名	平石 恵一

総合計画 基本構想	施策分野	住環境
	施策方針	市民の住環境の向上、安全な住環境の整備

設問	問16	住宅対策の推進について				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	3.655	3.643	3.599	3.678	↓↓↑
	重要度	4.462	4.482	4.523	4.610	↑↑↑
市民認識		B領域		ウォッチング項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。

(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

・令和6年度の個人住宅への支援について、住宅の内装・外装等の工事費用を補助する住宅リフォーム補助金は695件、一戸建ての空き家を除却する費用を補助する空家除却補助金は137件支援しました。

・管理不全な空き家の所有者や苦情が発生した空き家の所有者に助言指導を行うとともに、空き家所有者に空き家の解体費、更地の土地の売却価格、相続手続費用などの情報を提供し、空き家の処分を喚起しています。

・空き家の所有者に対して所有者ごとに対応した助言指導を行っており、空き家の処分（解体、中古流通、土地活用等）を促し、空き家の減少の促進を図っています。

・市で行っている空き家対策事業について、広報やホームページなどを活用し周知に努めています。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。

(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

・近隣にある空き家が増加傾向であることを市民が感じており、また、管理不全となっている空き家に対する不安を感じている人が多くあることから重要度は上がっていると認識していますが、中々改善されないことが満足度が上がり切らない要因になっていると感じました。引き続き空き家所有者に対して指導を継続していく必要があると認識しました。

・空き家問題に対する周知は行っているが、まだ認識をしてもらえていない状況がみられるため、継続して周知を行っていく必要があると認識しました。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

・管理されていない空き家が周知へ及ぼす影響を認識していない所有者に対して、適正な維持管理が必要であることを1度だけではなく繰り返し助言・指導し、所有者の当事者意識の醸成を図っています。また、相続放棄等で所有者が不存在であり周囲に影響を及ぼしている空き家について、相続財産清算人の申立てを行い、空き家の解消に繋げました。

・住宅リフォームの補助金は1度利用するとその後の10年は使用できなかったが、利用できない期間を5年間に短縮し、利便性の向上を図りました。

・市で行っている空き家対策事業を広報課の伴走支援事業を利用し、周知を図りました。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

・空き家に対して不安に感じている市民が一定数いると思われることから、市民からの相談や通報を行いやすくなるよう、通報フォームの導入を検討します。

・空き家所有者および空き家所有者予備軍の方に対して、空き家問題に意識を持ってもらうため、積極的な周知を行い、管理不全な空き家の発生抑制に努めます。

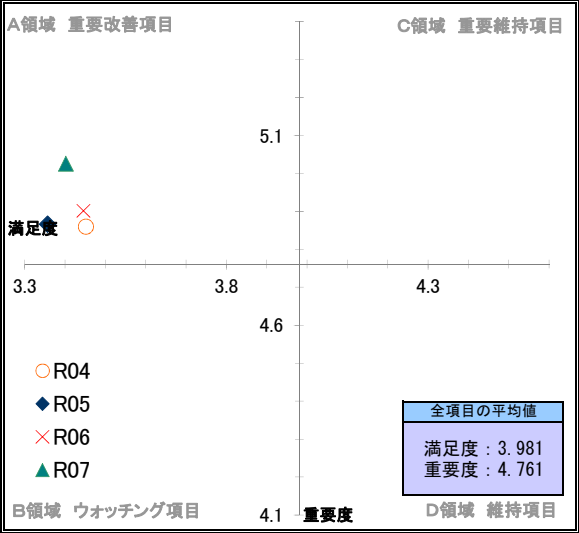
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月18日
課名	道路整備課
所属長氏名	山本 宗彦

総合計画 基本構想	施策分野	道路網
	施策方針	道路整備の推進、交通渋滞の緩和

設 問	問14	道路網の整備について				
設 問 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	3.452	3.357	3.446	3.402	↓↓↓
	重要度	4.859	4.866	4.902	5.026	↑↑↑
市民認識		A領域	重要改善項目			



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。

(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

- ・都市計画道路太田西部幹線の北進は、今年度から用地買収を進めている。高速道路との連携により、広域的な産業機能連携軸として期待される道路であるため、早期の実現を目指す。
- ・内ヶ島北交差点から飯田町東交差点までの区間において道路拡幅工事（4車線化）を完了した。
- ・国道345号線と市道2級45号線が交わる高林北町交差点部において、右折帯を設ける整備に必要な用地買収を終了し、工事発注に向けた関係機関との協議を進めている。
- ・幹線道路市道2級62号線の橋梁下部工事を実施中。
- ・沢野地区南部にて、高林南町、古戸町に排水ポンプ施設設置工事を実施中。また、事業完了に向け、排水路整備詳細設計業務を実施中。
- ・幹線排水路（由良地区）にて、道路改良工事を実施中。
- ・生活道路は、地域の陳情や実情に合わせた改良工事を実施中。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。

(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

- ・アンケートの回答が国・県道のことなのか、市道なのか判断できないものがある。
- ・渋滞、冠水、通学路の安全、生活道路が狭いとの意見が散見される。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

- ・都市計画道路の整備、幹線道路の整備を進めている。
- ・沢野地区南部排水対策事業、幹線水路整備事業（由良地区）を進めている。
- ・通学路指定の路線については、積極的に整備を進めている。
- ・陳情による生活道路の拡幅事業を進めている。
- ・休泊川流域内では、1000㎡以上の宅地開発等による雨水の浸透を阻害する行為を対象に、貯留浸透施設の設置等の対策工事を義務付けた水害対策を行っている。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

- ・都市計画道路の整備、幹線道路の整備を進めることで、渋滞緩和を図る。また、太田管内渋滞対策協議会にて県や警察と情報を共有し、右折レーンの設置などの交差点改良により渋滞緩和に努める。
- ・県等と連携し、沢野地区南部排水対策事業、幹線排水路整備事業（由良地区）を効果的に進めることで、冠水被害の軽減を図る。
- ・通学路の整備を積極的に進めることで、安全確保を図る。
- ・陳情案件を精査し、重要度・緊急度に応じて計画的に生活道路の拡幅整備を進めることで、利便性の向上を図る。

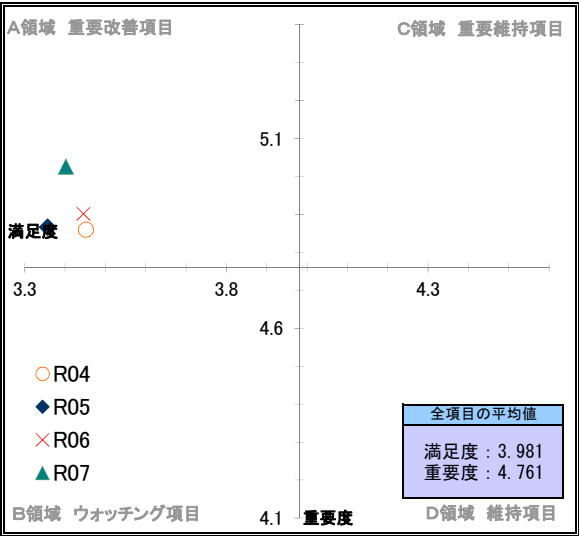
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月17日
課名	道路保全課
所属長氏名	課長 堤 義和

総合計画 基本構想	施策分野	道路網
	施策方針	道路・橋梁等の維持管理

設 問	問14	道路網の整備について				
設 問 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	3.452	3.357	3.446	3.402	↓↓↓
	重要度	4.859	4.866	4.902	5.026	↑↑↑
市民認識		A領域		重要改善項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。
(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

道路保全課では、各地区の区長からの要望や職員によるパトロールにより道路等の補修を実施しております。

令和6年度 要望処理件数

	要望による件数	パトロールによる件数	合 計
直 営	3,355件	3,819件	7,174件
工事・委託	510件	24件	534件
合 計	3,865件	3,843件	7,708件

※ 毎年、要望件数は増減しておりますが、要望については概ね処理できております。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。
(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

「道路網の整備」については重要度が高く満足度が低い状態が続いており、自由意見の件数も多数寄せられているのが現状です。
・市道の補修や穴埋めについては、舗装の穴や傷みなどの意見が多数あることから、市民からの通報や道路パトロールによる危険箇所の発見と、早急な補修の実施を行う必要があります。
・市道側溝の維持については、側溝の詰まりや大雨時の道路冠水等の意見があることから、定期的に道路冠水箇所のパトロールを実施して、溜まった汚泥を浚渫していく必要があります。
・区画線やカーブミラーなどの安全施設については、カーブミラーの設置希望や、外側線等の路面標示が消えている等の意見があることから、安全な道路の通行を確保するため、道路パトロールの実施と安全施設設置工事を進める必要があります。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

舗装の穴や段差等の危険な箇所については、市民からの通報や道路パトロールにより迅速な補修を実施しております。
令和5年度からは新たに太田市LINE通報システムにより、市民からの通報を増やす方策を開始し、令和6年12月から舗装の穴以外にも道路構造物の損傷情報が送れるように更新いたしました。また、このシステムを一部の高校生や学校関係者に広報を実施し周知を図っております。これらにより、より早期の情報を増やすことで、道路瑕疵による事故の発生を抑制し安心安全な道路環境を整えて行きます。路線としての舗装補修については、舗装長寿命化計画に基づき計画的な幹線の舗装補修工事を実施しており、幹線道路以外では、3年に1回の巡回舗装により地元の要望に基づいた補修工事を実施しております。市民に身近な生活道における安全施設の補修については、補修時期や方法について地元区長及び関係地権者の理解を得た上で工事を実施しております。側溝の維持管理については、排水能力が低下しないように堆積が著しい箇所については土砂の浚渫を実施しております。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

今年度のアンケート結果においても、道路の穴や段差についての意見が多数寄せられており、舗装に対する危険箇所の早期発見と迅速な補修を実施するためには、職員による道路パトロールを強化すると共に、市民からの通報も増やして頂く必要があります。
太田市公式LINEアカウントを利用した舗装の穴の通報システムについては、徐々に通報件数も増加しており、必要に応じて更新を実施して、更なる周知の拡大を図ることにより、電話やメールに続く3つ目の通報手段として早期の情報を得ることで、道路瑕疵による事故の発生を抑制し安心安全な道路環境に対応していきます。
その他今年度実施している改善策についても更なる強化を図って行きます。

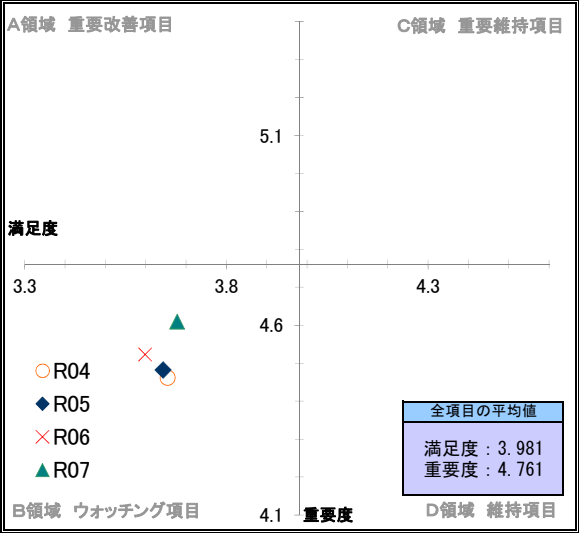
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月1日
課名	建築住宅課
所属長氏名	川出 直人

総合計画 基本構想	施策分野	住環境
	施策方針	市営住宅の適正管理

設問	問16	住宅対策の推進について				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	3.655	3.643	3.599	3.678	↓↓↑
	重要度	4.462	4.482	4.523	4.610	↑↑↑
市民認識		B領域		ウォッチング項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。
(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

・市営住宅の管理については、管理代行制度において可能な範囲の業務を公営住宅管理を専門とする群馬県住宅供給公社へ委託することで、多様化するニーズへのきめ細かな対応を行うとともに、人件費等の経費節減に努めています。
・老朽化した市営住宅は、太田市公営住宅等長寿寿命化計画に基づき、建替や改修を計画的に進めています。現在は、屋上防水、外壁・給排水管などの改修工事を進めるとともに、市内公営住宅集約促進事業にも着手しているところです。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。
(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

・設問16『住宅対策の推進』に対するアンケート結果の分析では、年々重要度が増していることから、市民の『住まい』に寄せる関心の高さが見て取れます。また、それに対する満足度も昨年に比べ、上昇したことは課員の励みにもなります。当課の事務分掌にあるとおり、住宅政策の推進を進めてまいります。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

・本来の一般入居を阻害しない範囲で、空き住戸の利活用として、国の許可を得て、目的外使用により若年カップルや外国人労働者向け住宅、社会福祉法人等によるグループホームとしての利用を進めています。
・太田市営住宅条例の一部改正を行い、来春から子育て支援の一環として、裁量世帯の拡充（同居の子の年齢を小学校入学前から中学校卒業まで引き上げる）を図るなど、市民に寄り添った住宅政策を進めています。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

・アンケートの自由意見で『公共住宅の空き室が多く危険性を感じる』や個別の団地（韭川南）に対する苦情が寄せられていました。その様な少数意見にも耳を傾け、より良い団地づくりを進めてまいります。

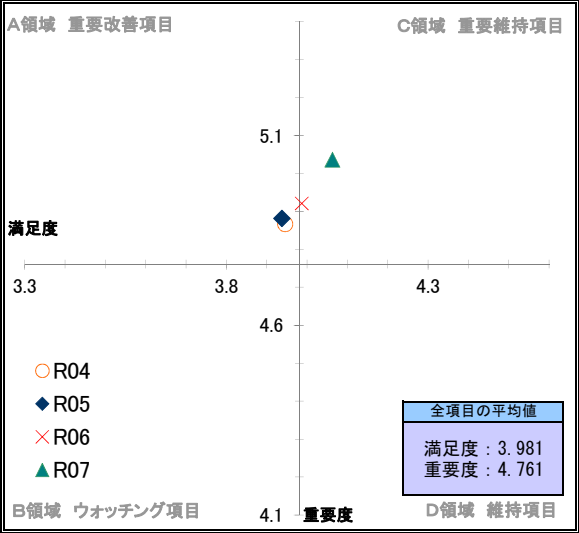
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月26日
課名	下水道課
所属長氏名	松島 正裕

総合計画 基本構想	施策分野	雨水排水路・下水道
	施策方針	効率的な下水道等の整備・管理

設問	問2	環境衛生の確保について				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	3.946	3.938	3.987	4.063	↓↑↑
	重要度	4.866	4.882	4.920	5.036	↑↑↑
市民認識		C領域		重要維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。

(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

- ・下水道使用料については、経費回収率80%を目指す段階的なものとして令和5年4月1日「太田市下水道条例」を改正し、1mにつき101円の単価使用料から汚水量に応じて使用料単価が変動する従量使用料に改定を行い、使用料の増収を図りました。
- ・下水道事業整備については、公共下水道事業の管渠新設工事において4,911.9mの延長、管渠更新工事において2,015.12mの更新延長を実施しました(令和6年度実績)。特に管渠更新においては太田市公共下水道事業ストックマネジメント計画に基づき、管渠の長寿命化及び持続可能な下水道事業の運営に向け着実な更新を行っております。
- ・下水道普及促進については、供用開始に伴う資料送付により、下水道接続及び受益者負担金への理解を促しております。また供用開始後、下水道の長期未接続となっている世帯に対して案内を送付し、下水道接続を促す取組を行っております。
- ・浄化槽設置整備事業については、344件(うち公共下水道事業計画区域内分29件)の合併浄化槽設置整備事業補助金を交付し、生活排水の水質保全及び生活環境の向上を図っております。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。

(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

- ・アクションプラン及び太田市下水道事業等経営戦略に基づいた公共下水道整備の着実な推進

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

- ・財源確保を図り、予算の範囲内での着実な公共下水道整備工事の実施
- ・アクションプラン及び太田市下水道事業等経営戦略のHP掲載による下水道整備計画の周知

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

- ・アクションプラン及び太田市下水道事業等経営戦略に基づき、公共下水道の整備面積拡大及び接続人口の増加を目指した着実な事業の実施

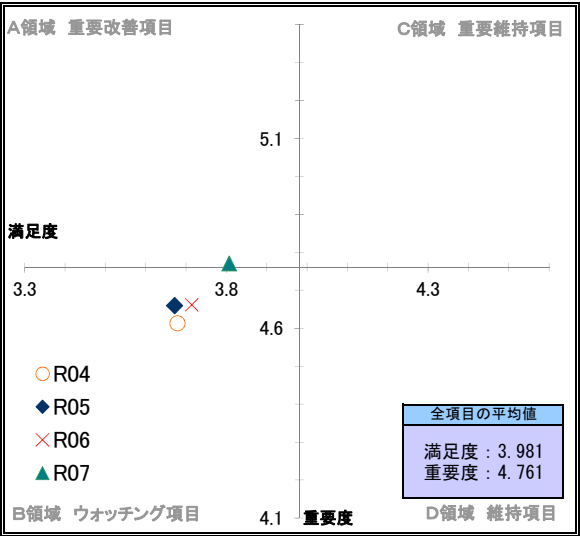
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月25日
課名	花と緑の課
所属長氏名	課長 高山 喜良

総合計画 基本構想	施策分野	公園・緑地
	施策方針	公園・緑地の整備、公園・緑地の維持管理

設 問	問4	より良い生活環境づくりについて				
設 結 問 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	3.679	3.672	3.714	3.807	↓ ↑ ↑
	重要度	4.613	4.660	4.662	4.771	↑ ↑ ↑
市民認識		A領域		重要改善項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。
(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

公園及び緑地の樹木及び街路樹の維持管理については、樹木の剪定や危険木の伐採等を行いました。遊具については、専門業者による点検結果や職員による巡回結果に基づいて修繕や撤去を行い、公園利用者の安全確保に努めました。また、公園等の整備については、トイレの建替、下田島町地内に公園を整備を実施しました。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。
(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

アンケート結果では、公園施設の充実、公園内樹木の管理、公園の雑草や落ち葉についてのご意見が寄せられました。遊具等の施設の充実については、地元区長より要望をいただき順次整備を進めております。公園内樹木や街路樹等の支障木、雑草や落ち葉対策については、今後より一層巡回の回数を増やし、早期発見に努め対応することが必要であると認識しました。また、全国各地で倒木の事故が起きていることから、市内街路樹の枯木調査を実施し、計画的に伐採を進めております。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

前年度のアンケート結果を受けて、今年度は公園施設の再整備としてトイレの建替や遊具の更新を順次進めました。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

公園の整備及び園内施設拡充の意見が多様多様であり、今後においては地元要望の内容を精査し、緊急性や必要性、利用頻度を検討し整備を進めていきます。

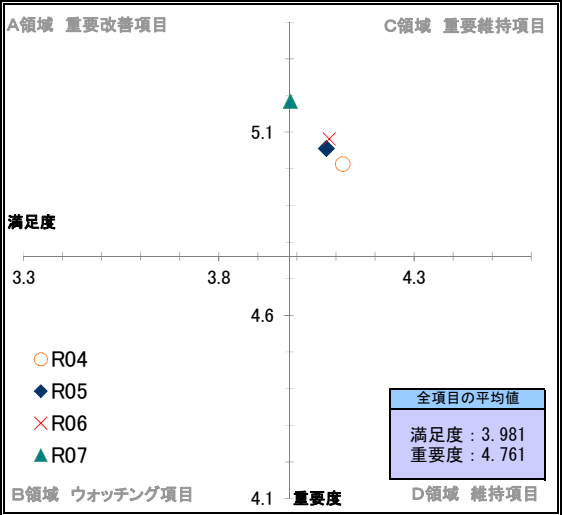
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月30日
課名	消防総務課・予防課・警防課・救急課・通信指令課
所属長氏名	尾花公司・鈴木俊弘・大橋憲一・岡田和也・今泉徹

総合計画 基本構想	施策分野	消防・救急
	施策方針	消防力の強化、応急手当の普及・啓発

設問	問1	安全・安心なまちづくりについて				
		R04	R05	R06	R07	4カ年推移
設問結果	満足度	4.118	4.075	4.082	3.983	↓↑↓
	重要度	5.013	5.055	5.081	5.184	↑↑↑
市民認識		C領域		重要維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。
(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的をお願いします。)

・火災予防対策の推進を図るため、防火対象物等の立入検査（1465件）を実施しています。また、住宅防火対策を推進するため、ふれあい相談員が担当する70歳以上のひとり暮らし高齢者宅に住宅用火災警報器の無償設置（12世帯・設置数13個）及び65歳以上高齢者宅の住宅用火災警報器の設置取り付け支援（6世帯・設置数14個）を実施、さらに住宅用火災警報器の普及啓発活動として、女性防火クラブ員が戸別訪問によりパンフレット配布及びアンケート調査、毎月10日を「ぐんま住警器の日」とし、消防車両により管内広報を実施しています。

・消防車両や資機材を更新して体制強化を図るとともに、各種委員会及び意見交換会を開催して活動計画や基準の作成、情報共有による災害対応能力の向上を図りました。

・医療機関と連携したドクターカーや、日中に需要が高まる救急要請に対応する日勤救急隊の運用により、救急対応能力の充実強化と市民サービスの向上に努めました。また予防課と共同し熱中症予防広報のため、ドクターカーを展示しての店頭PR活動を実施しました。

・通信指令課では、電話による緊急通報以外にNet119、FAX119、メール119、Live119など多様な119番通報の方法を採用しています。市民からの通報等に対し、24時間365日確実に受信できるよう機器の安定稼働に努めています。

・車庫詰所及び車両を整備し、地域防災力の充実強化を図りました。また、新たに創設した出勤報酬により、前年度に比べて、より多くの個人報酬を消防団員に対して支給することができ、処遇改善を図りました。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。
(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

・予防業務に関して今後も市民の安全・安心のため効果的な施策を考えます。

・市に対する意見の中に「防火用水の清掃をして欲しい」との意見があり、水利保全を実施して市民の安全安心を守り、満足度の向上を図る。

・救急体制に対する市民の期待は大きく、安全・安心なまちづくりのため、更なる救急業務の充実強化に努めます。

・消防団員は全国的に減少傾向にあり、本市においても同様に減少しています。消防団員数が減少することで消防力が低下し災害時の対応困難も予想されることから、消防団員の確保は重要課題として認識しています。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

・市民満足度向上のため消防力の強化と災害対応能力向上を図っている。

・「子供が熱性けいれんを発症した際に救急車を呼んだが1時間以上たらい回しで不安でした」との意見をいただき、関係部局及び救急病院と情報を共有し、救急の受入体制強化を図りました。

・今年度は加入促進等に更に力を入れ、広報課の情報発信伴走支援事業で採択された「消防団員確保支援プロジェクト」について、広報課によるサポートをうけながら、積極的に消防団員確保に取り組んでいるところであります。また、従来のイベント等のほか、市内の大学学園祭での消防団PRや団員募集活動などを実施しながら、消防団員の加入促進向上を図っています。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

・住宅防火対策を推進するため、ふれあい相談員が担当する70歳以上のひとり暮らし高齢者宅に住宅用火災警報器の無償設置及び65歳以上の高齢者宅の住宅用火災警報器の設置取り付け支援を継続実施するとともに、各種広報誌、ホームページ、コミュニティラジオ等を活用して防火広報を実施します。さらには今年度より新たに開設した消防本部のInstagramで幅広い年齢層に効果的な住宅防火対策が周知できるよう進めていきたいと考えます。

・市民の生命・身体・財産を守るために、車両、装備及び消防水利の充実と水利保全を図るとともに、各種訓練及び研修会を実施して組織力および災害対応力の強靱化を図ります。

・「救急車の充実」という意見をいただき、日勤救急隊を効率的に運用し、更に県の新規事業である救急安心センター事業「#7119」を広く市民に広報し、救急体制の充実強化を図ります。

・通信指令課は今後も指令センターの安定稼働に努めます。

・消防団員を確保するためには、先進地、人口及び地域の実情が同じような他市の状況を調査研究し、消防団と協力して加入促進を図ります。

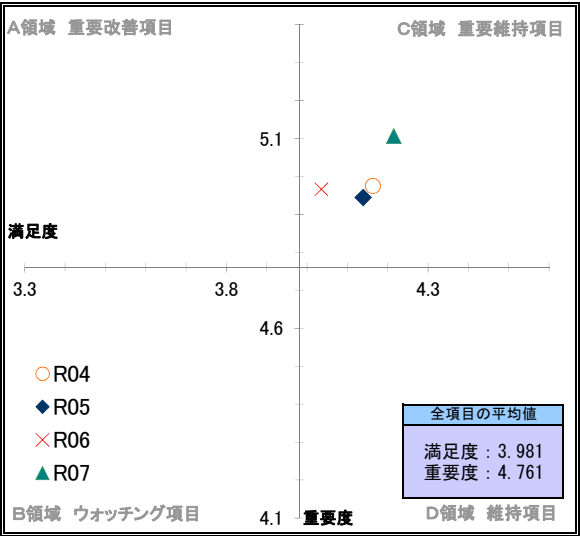
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月30日
課名	学校施設管理課
所属長氏名	山田 正和

総合計画 基本構想	施策分野	義務教育
	施策方針	学校給食の充実、学校施設の適切な維持管理

設問	問17	児童生徒の育成について				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	4.163	4.139	4.036	4.215	↓↓↑
	重要度	4.975	4.945	4.966	5.106	↓↑↑
市民認識		C領域		重要維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。
(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

- ・トイレ環境を改善するため、トイレの大規模改修工事を計画的に実施している。
- ・老朽化した校舎の劣化防止として、計画的に外壁改修及び屋上防水改修工事を実施している。
- ・教育環境改善のため、従来の蛍光灯からちらつきの少ない照明器具LED化工事を令和6年度から実施している。
- ・単独調理校に県費及び市費栄養職員を全校配置し、各学校の栄養士によるきめ細かな食育と栄養・衛生管理が行われている。
- ・学校給食を提供する市内公立小中学校の学校給食費を完全無料としたことと、学校給食費助成事業の受給要件を緩和し、保護者の負担軽減に繋げている。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。
(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

- ・施設の老朽化対策及びトイレの環境改善が望まれている。
- ・食料費高騰への対応が課題である。
- ・給食調理員の確保が課題である。
- ・老朽化した給食室の改築が望まれている。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

- ・トイレ大規模改修工事を継続して実施しているが、まだ道半ばである。
- ・老朽化した校舎の耐久性を高めるため、外壁改修及び屋上防水改修工事を継続して実施している。
- ・学校給食を提供する市内公立小・中学校の学校給食費を完全無料とした。また、学校給食費助成事業の受給要件を緩和し、保護者の負担軽減に繋げている。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

- ・学習環境整備のためトイレの環境改善、老朽化した校舎の屋上・外壁改修を行い施設の長寿命化を図る。
- ・学校給食への期待が増す中で、食中毒や食物アレルギー等の事故のない学校給食の提供が最も重要な責務である。このような安全で安心な学校給食の提供が、成長期である小中学校の栄養基準量を満たし、地場産食材の活用や魅力ある献立の充実も図り、心身の健康を支える食育のひとつとして役立つよう努めていきたい。

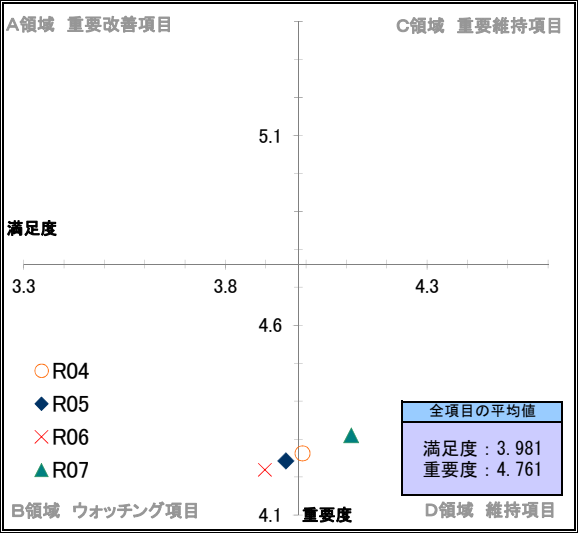
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月26日
課名	文化財課
所属長氏名	静野 勝信

総合計画 基本構想	施策分野	芸術文化
	施策方針	文化財の保存活用

設問	問18	芸術と文化の振興について				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	3.992	3.950	3.898	4.112	↓↓↑
	重要度	4.262	4.242	4.219	4.310	↓↓↑
市民認識		D領域		維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。

(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

文化財の保護として、次のような取り組みを行っている。
まず、文化財の保護では、日常管理として文化財管理者に委託し保護管理に取り組んでいただく一方、史跡や文化財施設の下草刈りを実施するなど日常管理に取り組んだ。
文化財の活用では、夏休み期間中に文化財スタンプラリーを実施し世代を超えた多くの参加者に太田市の文化財を訪れる機会をつくった。また、埋蔵文化財の発掘調査や遺物整理で得られた成果を「最新情報展」を開催することで広く市民に公開した。各資料館では、それぞれの施設で企画展や各種イベントを実施した。
令和6年9月からは千姫にゆかりのある自治体から構成される大河ドラマ「千姫」誘致の会に太田市が参加したことうけ、満徳寺資料館を中心に大河ドラマ誘致への署名活動を始めた。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。

(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

満足度・重要度の数値はともに前年度を上回り、満足度については平均値を上回ることができた。
令和6年度から文化財課独自のInstagramによる情報発信を新たに始め、その効果が出ていると思われる。
また、昨年東京国立博物館で行われた特別展「はにわ」では太田出土の埴輪が注目を浴び、埴輪に対する市民の関心も高まっていることが感じられ、埴輪を活用して文化財についての理解を深めるような取り組みを検討する必要があると感じた。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

昨年度から新たに始めたInstagramでの情報発信の他、OTAマルシェに文化財課のブースを出店し、スポーツイベントの来場者にも本市の文化財のことを知ってもらえるよう積極的な情報発信に努めた。
史跡の環境整備については自走式草刈機を導入し除草作業の効率化を図った。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

埴輪に対する注目が高まっていることを受け、埴輪を活用した企画の実施を検討する。またOTAマルシェへの出店を引き続き行い、普段文化財に興味を持たない層に対して少しでも関心を持ってもらえるような取り組みを実施する。
文化財課Instagramによる情報発信についても引き続き積極的に行い、太田市の文化財を広くアピールしていきたい。

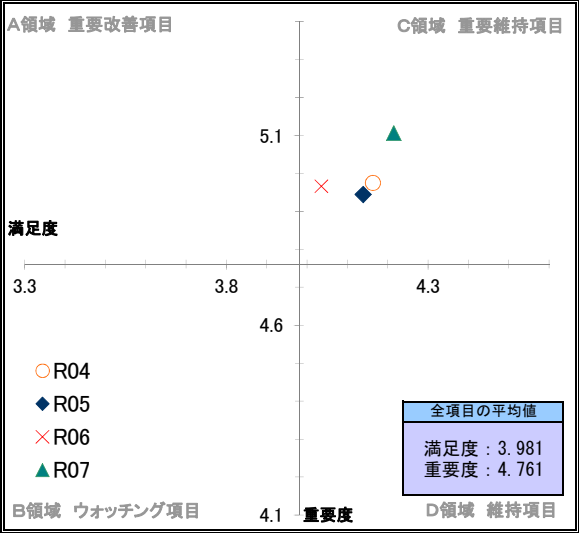
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月26日
課名	生涯学習課①
所属長氏名	小井土 健之

総合計画 基本構想	施策分野	青少年育成
	施策方針	心豊かでたくましい青少年の育成、非行防止対策の充実と健全育成

設問	問17	児童生徒の育成について				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	4.163	4.139	4.036	4.215	↓↓↑
	重要度	4.975	4.945	4.966	5.106	↓↑↑
市民認識		C領域		重要維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。

(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

青少年の健全育成のため、様々な事業を継続して行っている。北茨城市や弘前市との青少年交流事業では工夫を凝らしたプログラムにより、子どもたちの変容を図っている。また、オープンハウスアリーナ太田での成人式では、実行委員を中心に思い出に残るような式を企画・運営している。さらに、サイエンスアカデミーや中学生ボランティアなどの例年人気のある事業についても、講座内容の増設や実施方法の改善など、より一層魅力的な活動になるようにしている。

今後も、基本理念や目標に沿って充実させるとともに、市民ニーズを踏まえた上でより内容を改善することで、さらなる事業の発展を図っていきたい。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。

(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

自由意見欄に、サイエンスアカデミーや青少年交流事業に係る抽選についてのご意見があった。どの事業においても、定員を超える応募があった場合には、複数の人数が立ち会った中で抽選を行っているので、「市議会、県議会の子どもは抽選で落ちないのもおかしい」には当たらないと考える。また、「ぐんま国際アカデミーに通学している人が他県、他市で選ばれていることに納得ができない。人数が足りないならわかるが、市民税を支払っている親の子どもを優先させて欲しい」というご意見に対しては、GKAに通学している児童・生徒も太田市の良さを学び、将来太田市に貢献できる人材になることを意図しているため、他県・他市の生徒であっても応募できるようになっている。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

前年度のアンケートの自由意見欄に「毎日旗振りをしなくてもいいと思う」という意見があった。生涯学習課へも同様に意見が電話で寄せられることもあった。各地区で行われている旗振り等の交通安全対策は、児童・生徒の交通事故防止には非常に有効であると考えている。ただし、旗振りについては各地区の育成会等が中心となって行われているため、教育委員会が実施について意見を述べるができない。そこで、旗振り等で問題等があった場合には各地区子育て常任理事に相談し、各地区で解決を図るように促している。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

教育文化の向上に向けて、市民ニーズを的確に捉え、魅力ある事業を提供していくとともに、今までの生涯学習課（青少年係）の成果と課題を踏まえた上で、現代に合った、青少年の健全育成を図っていききたいと思う。

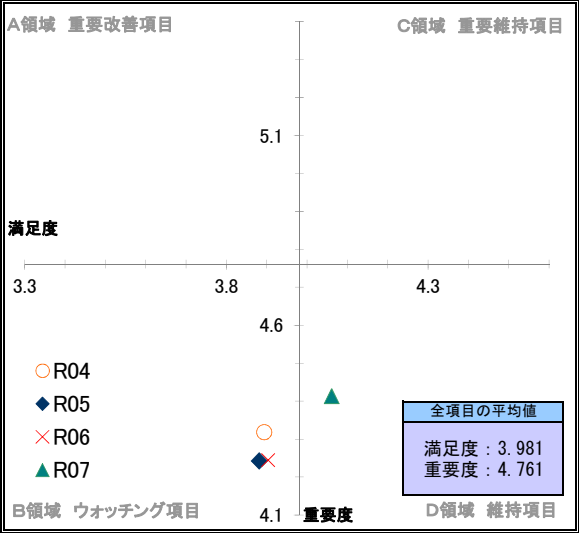
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月26日
課名	生涯学習課②
所属長氏名	小井土 健之

総合計画 基本構想	施策分野	生涯学習
	施策方針	生涯学習施設の運営・管理

設問	問20	生涯学習の推進について				
設 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	3.894	3.881	3.904	4.061	↓↑↑
	重要度	4.318	4.243	4.245	4.413	↓↑↑
市民認識		D領域		維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。
(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

社会教育施設としての社会教育総合センターについては、本市の生涯学習の拠点として、高齢者を中心に幅広い世代の多くの市民が利用し、様々な市民教室などの講座や各種事業を実施し、生涯学習の推進を図っている。また、各事業については、アンケート調査を実施し、市民ニーズを反映した事業の提供を行っている。
当施設は、昭和58年に建設され、施設の老朽化が進んでいるが、改修工事や修繕を行うなど良好な施設環境整備に努めている。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。
(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

アンケートの自由意見については、「市民教室の開催日時等について、平日の昼間ばかりなので、働いていると参加できない」、「仕事があるので夕方～夜にかけて受けられる講座が増えるとありがたい」という意見が毎年出ているが、その課題は認識しており、土日や夜間の講座実施を行っている。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

令和5年度以降、市民教室や家庭教育学級におけるいくつかの講座で土曜、日曜や平日の夜間の開催をしている。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

生涯学習活動を実施するにあたり、今後も市民ニーズを的確に捉え、魅力ある事業を提供していくとともに、生涯学習の拠点として、良好な施設環境整備を計画的に行い、本市の生涯学習の推進を図っていく。

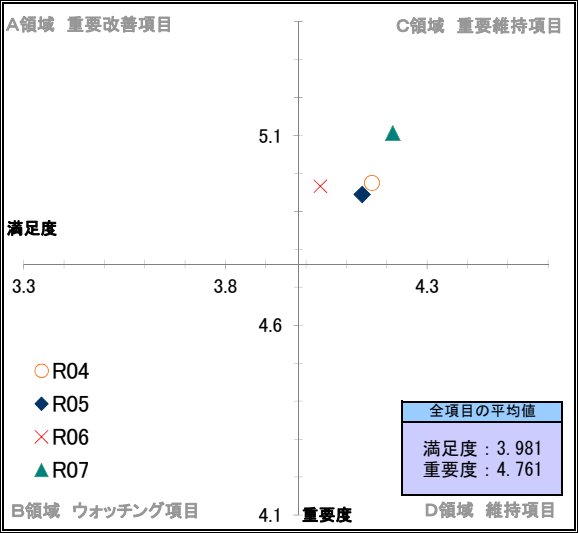
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月30日
課名	学校教育課
所属長氏名	岡根 康浩

総合計画 基本構想	施策分野	義務教育
	施策方針	学力の向上と心身の健全育成

設 問	問17	児童生徒の育成について				
設 問 結 果		R04	R05	R06	R07	4カ年推移
	満足度	4.163	4.139	4.036	4.215	↓ ↓ ↑
	重要度	4.975	4.945	4.966	5.106	↓ ↓ ↑
市民認識		C領域		重要維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。

(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

- ICTの効果的活用や小学校教科担当制の推進、「学力向上レポート」を踏まえた授業改善等を学校に働きかけている。
- おおたん教育支援隊や介助員、教育相談員、バイリンガル教員・日本語指導員等の会計年度任用職員を効果的に配置し、不登校対策や特別支援教育、外国人児童生徒教育の充実に努めている。
- 学校は、校長のビジョンの下「不登校対策重点」を作成し、組織的に未然防止・早期対応を行っている。また、ふれあい教室・教育研究所等と連携を図っている。
- いじめ対策については、全校で早期発見・対応に努めており、「いじめ一報制」を効果的に活用し積極的に認知している。
- 休日の部活動の地域移行（展開）に向けた環境の整備については、「太田市部活動の在り方検討委員会」で検討している。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。

(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

- 満足度
設問2・4問中6位（前年度7位）となっており、ポイントで見た場合、4.215ポイントと4カ年で最も高く評価されている。年代で見た場合、10代が4.595ポイント、20代が4.460ポイントと高く評価されている。しかし、小中学生がいる世帯では、4.276ポイントから4.137ポイント（-0.139）となった。地区別では、木崎地区が4.405と高く、尾島地区が3.889と低い。
- 重要度
設問2・4問中4位で昨年度と同じ、4.966ポイントから5.106ポイント（+0.140）となった。詳細では30代が5.388ポイント、6歳未満がいる世帯が5.481ポイント、小中学生がいる世帯が5.448ポイントと高くなっている。
- 自由意見
不登校対策や教職員の資質向上・増員、通学路に関することが、意見としてあげられている。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

- 各校の教職員が積極的に不登校対策に取り組み、防止対策を講じるためのきっかけとなるよう、不登校対策委員会で講演会を行ったり、校長会等で呼びかけたりした。
- 学校で病気以外の欠席があった場合は、早めに電話連絡・家庭訪問・ケース会議などを行い不登校を防ぐことを各学校に指示徹底した。
- 教職員に対する苦情・要望があったときは、速やかに学校の管理職へ報告を行い、指導を依頼した。また、夏季休暇中には教職員の研修等を行い全体の資質向上に努めた。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

- 学校訪問や校長会等を通じて、学力向上につながる資料や優れた実践（ICTの効果的活用を含む）等を紹介し、効果的な取組の水平展開を図る。
- 学校内でメンター研修、各種教育指導員による授業公開や研修会を実施し、ベテラン教員と若手教員が共に学び合う場を作ることで教職員の資質向上を図る。
- 各校の「不登校対策重点」に基づく組織的な対応の更なる推進と、早期対応マニュアルの作成・全教職員の活用を図る。
- いじめ対策については、引き続き「いじめ一報制」により、担任等が一人で抱え込まず、保護者への連絡を含め丁寧な組織的対応に努める。また、児童生徒を主体とした各校の「いじめ防止活動」等を推進する。
- 通学路の安全要望については、太田市通学路安全推進会議を開催し、警察や市の関係課と連携し安全確保のための対策を講じる。

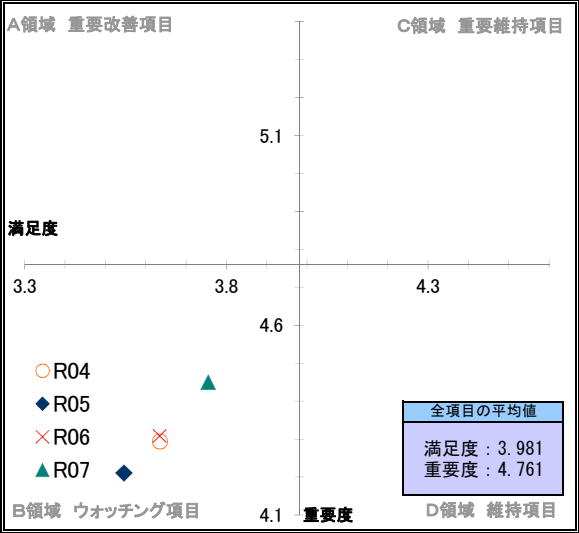
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月30日
課名	議会総務課
所属長氏名	秋庭 尚広

総合計画 基本構想	施策分野	行政経営
	施策方針	-

設 問	問23	開かれた議会づくりについて				
設 問 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	3.636	3.546	3.634	3.755	↓↑↑
	重要度	4.294	4.211	4.308	4.450	↓↑↑
市民認識		B領域		ウォッチング項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。
(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

開かれた議会への取り組みとして、議会の傍聴しやすくするため手続きの簡素化や、「児童・乳幼児」の傍聴制限の撤廃など子育て世代の方をはじめ、より多くの方に傍聴をしていただけるような取り組みを行っている。
また、本議会のライブ中継や録画配信を市議会ホームページを通じて実施するとともに、議会だよりを定例会毎に発行し周知を図っている。
さらに若年層の議会への興味関心を持たせる取り組みとして、議会改革推進特別委員会による高校生との意見交換会や、中高生対象の表彰式を議場で行うなど団体への議場貸出し事業を実施している。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。
(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

ここ数年、満足度・重要度とも数値は上がりつつあるが、満足度も重要度も低い、推移を注目していく「ウォッチング項目」に位置している。全体的に重要度の低さから議会への関心の薄さが窺える。
また、年代別の傾向としては、10歳代の満足度や重要度の高さが目立っており、若年層の議会への興味関心を持たせる取り組みの実施による成果があったものと思われる。
自由意見では、議員の仕事がわかりにくい、市民との距離感があるなど、更なる議会に関する周知や広報活動の必要性を感じている。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

引き続き若い世代を中心に市議会に対する理解を深めてもらうことを目的とした高校生との意見交換会や、議場に触れる機会を増やすために議場貸出し、議会見学ツアーを実施した。
また、例年実施している市民との意見交換会においては、各委員会ごとにテーマを決める際、市民にとって身近で関心の高い参加しやすいテーマを設定した。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

今回のアンケート結果において、若年層に対して一定の効果が見られたため、今後も引き続き若い世代に向けて議会への興味関心を高める取り組みを行っていくとともに、若い世代だけでなくより多くの市民に議会を知ってもらい、また身近に感じてもらえるよう開かれた議会への取り組みを実践し、満足度の向上に努めたい。

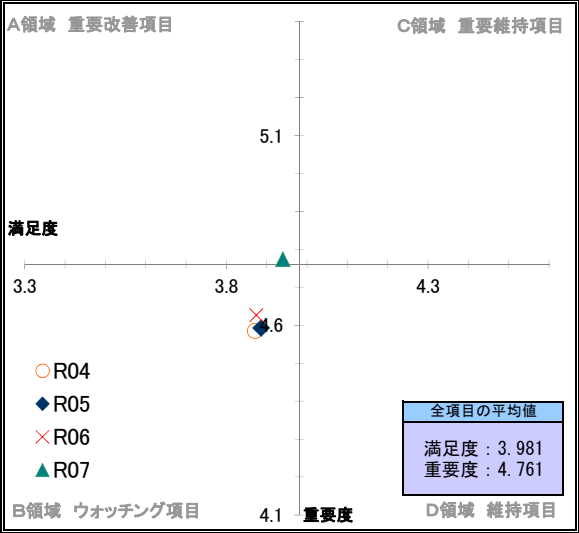
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月24日
課名	農業委員会事務局
所属長氏名	小此木 健

総合計画 基本構想	施策分野	農業
	施策方針	農地の有効活用

設 問		農業の振興について				
設 問 結 果		R04	R05	R06	R07	4カ年推移
	満足度	3.871	3.886	3.874	3.940	↑ ↓ ↑
	重要度	4.585	4.593	4.627	4.774	↑ ↑ ↑
市民認識		A領域		重要改善項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。
(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

農地の有効活用に関しては、農業委員会の主たる業務の一つである「遊休農地の発生防止・解消」が重要度を増している状況である。農業委員・農地利用最適化推進委員とともに、年々増加している遊休農地に関する苦情、あつせん事業に迅速な対応に努めた結果が今回のポイントアップに繋がったものとする。「農地の最適化活動」を重点的に継続して取り組んでいく。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。
(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

今年度、満足度・重要度の推移がポイントアップした結果を見ると、市民にとって遊休農地対策への関心が非常に高くなってきていると認識できます。農地が荒廃し交通への障害をきたしている状況が市内各地において多く散見されているため、農業委員・農地利用最適化推進委員と連携し、改善指導を行うとともにあつせん事業による貸借へ導き、農地の有効活用に繋がるよう努めていく。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

苦情や各種問い合わせに対して迅速に対応し、また近隣農地の利用者に事務局より声掛けを行うなど直接的な行動により農地の適正化に努めてきた。

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

農業従事者の高齢化・担い手不足等により遊休農地化の増加に歯止めが利かない状況が続いていくものと感じている。遊休農地対策には更なる行動が必要であることから、既存事業である「農地の最適化活動」を活用し、農地利用最適化推進委員による能動的な活動を行う事業として事務局職員との伴走型活動を展開することにより、遊休農地の解消と発生防止を目的に実施する。

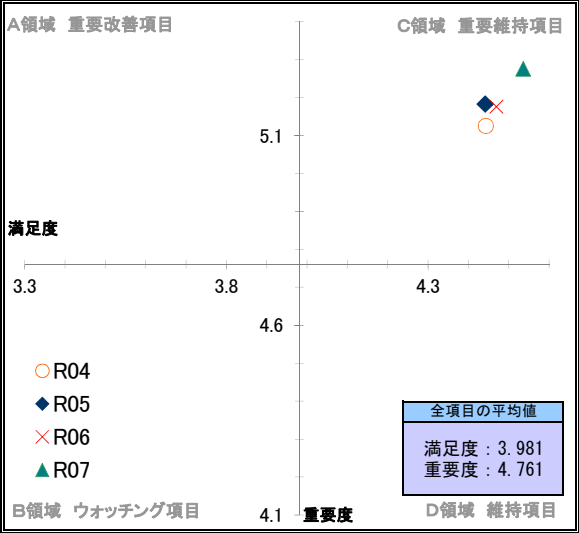
令和7年度「市民満足度アンケート」結果に係る各課の意向調査

の箇所に入力してください。

作成日	令和7年9月30日
課名	群馬東部水道企業団
所属長氏名	松森 則之

総合計画 基本構想	施策分野	-
	施策方針	-

設 問	問3	水道水の提供について				
設 問 結 果		R04	R05	R06	R07	4力年推移
	満足度	4.444	4.442	4.470	4.536	↓↑↑
	重要度	5.125	5.183	5.176	5.276	↑↓↓
市民認識		C領域		重要維持項目		



I この項目に対して、貴課で成果として主張できることは、どんなことですか。

(本市独自の取り組み、改善、他市との比較でも結構ですので、なるべく具体的にお願いします。)

太田市の水道事業は、太田市、館林市、みどり市、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町の3市5町で構成される群馬東部水道企業団により広域的に行っている。
広域化のメリットは、市町村単独で実施するのが困難な浄水施設の老朽化対策や水道管の更新事業を、広域化で得られる国の交付金を活用しながら計画的に整備することが挙げられる。また、浄水施設など施設を統廃合することで事業の効率化を進め、コストも削減することもできる。
また、災害で浄水場が被災した場合を考え、他の浄水場から安定した水道水を供給できるよう、水道管の再構築事業を進めている。

II アンケートの結果を受け、貴課で課題として認識したものはありますか。

(満足度、重要度の数値や、設問ごとの自由意見等から分析をお願いします。)

水道水の提供は市民のライフラインであるため、市民の認識も重要度が高い。特に近年は老朽化した水道管から漏水等の報道も多くあり関心が高いものになっている。
また、満足度も、昨年度の調査に比べると上昇し高い結果になっている。市民からは、水道管の更新や水質の改善についての要望や、激変緩和措置を設けて実施している水道料金の統一について意見が寄せられている。
今後も法律で定められた水質調査を行いながら、安全・安心な水道水を安定供給するために、健全な経営を維持していく必要がある。

III 前年度のアンケートの結果を受けて、これまでどのような改善策を実施しましたか。

安全安心な水道水を供給するため必要な更新工事を実施している。
・浄水場の浄水池増設工事など 約12億4,091万円
・配水管の布設替工事、送配水管の布設工事など 約50億9,888万円

IV 今回のアンケートの結果を踏まえ、どのような改善策を実施しますか。

「水道水の提供について」は、重要維持項目（C領域）であるため、引き続き広域化のスケールメリットを活かし、安全・安心な水道水を安定して供給できるよう努めるとともに、利用者目線の企業経営に取り組んでいきたい。
また、震災などの自然災害が発生した場合であっても、被害を最小限に抑えられるように令和5年度に策定した水道施設強靱化計画に従い事業を実施していくとともに協力体制等を再確認していく。